

増加ナリ資本ト等シク利益ヲ得ル爲メニ使用セラルヘキモノニシテ利益自身ニ非ス必ス資本ト共ニ貸借對照表中借ノ部ニ入レテ長ク保存セサルヘカラスト云フ者アルモ我商法ハ一定額迄ノ積立ヲ命スルノミナルヲ以テ其上ニ積立ツルヲ要セス故ニ利益ノ分配ト稱スルヲ得サルモ差額ノ拂戻トシテ分配シテ可ナリ之ヲ許ストキハ或ハ會社ハ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シ非常ニ有望ナル如ク見セ掛ケンモ之カ爲メニ弊害ヲ生セス差額ニテ直チニ法定準備金ヲ充實シ得ル會社ハ實際有望ナル會社ナリ

我商法ニ規定セル財源ハ以上ノ二種ナルモ獨逸商法ニハ此外ニ尙二三ノ財源ヲ規定セリ

準備金ノ實體ニ關シテハ商法ニ規定スル所ナシ故ニ獨逸學者ハ準備金トハ準備財産ナリ結局ハ貸借對照表ノ借方ニ記載スヘキ數額ニ歸スト云ヘリ商法ノ解釋トシテハ然リ法律上ノ準備金ハ實體ノ如何ヲ問ハサルヘシ然レトモ業務執行者カ實際ニ之ヲ積立ツルニ當リテハ能ク其主意ニ協フモノヲ選擇スヘシ經濟上準備金ニ適スル財産ヲ具備スヘシ準備金ハ専ラ損失ノ填補ニ備フルモ

ノナリ兼ネテ會社債權者ノ利益ヲ保護スル爲メニ存ス會社ニ財産アレハトテ必スシモ常ニ安心シ難シ會社ハ或者ニ對シテ債權ヲ有スルモ債務者ハ薄資者ニシテ辨濟期ハ遠キ將來ナルコトアリ又不動産ナルトキハ容易ニ適當ノ代價ニテ賣却スルコトヲ得サルヘシ此等ノ場合ヲ慮リ準備金ハ容易ニ換價シ得ヘキモノトスヘシ獨逸商法理由書ニ記載スル所ハ余ノ説ク所ニ近シ

以上ハ法定準備金ニ關ス會社ハ此外ニ任意ニ準備金ヲ積立ツルコトアリ定款又ハ株主總會ノ決議ニ依リテ之ヲ定ム重ナルモノハ減價償却準備金及ヒ配當平均準備金ナリ航海會社ニ在リテハ船舶ハ年々損消シ工業會社ニテハ機械ハ年々消耗スルヲ以テ何レモ之ニ備フル爲メ準備金ヲ積立ツルナリ曾テ此等ノ金額ニモ所得稅ヲ課スヘキカ否カノ問題ヲ生シタルトキ多クハ課セスト決セラレタリ又配當ノ平均ヲ得ルハ如何ナル會社ニモ望マシキヲ以テ會社ハ巨利ヲ得タル場合ニ其一部ヲ積立テ利益少ナキ場合ニ之ヲ補充シ以テ年々同額ノ配當ヲ爲スコトニ勉ムルハ可ナリ

資本額ノ四分一ニ達スルマテハ法定準備金ニシテ其以上ハ任意準備金ナリ會



社カ法定準備金ト稱シテ資本ノ二分一ヲ積立テ然ル後之ヲ半減シテ四分一ヲ法定準備金トシ殘額ヲ分配スルモ可ナリ法律ハ四分一マテヲ要スルニ止マルヲ以テ其以上ハ名稱ノ如何ヲ問ハス任意ノ準備金ナリ

### 第五節 社債

會社法ニ特ニ社債ノ規定ヲ爲スモノト否ラサルモノトアリ會社ハ金錢ヲ一人ヨリ借受クルト數人ヨリ借受クルトハ自由ナリ又其金額ノ大小借入及ヒ返還ノ時期ヲ隨意ニ定ムルヲ得ルハ明カナリ故ニ會社ハ此一般方法ニ依リテ必要ノ金錢ヲ得トシテ別ニ社債ノ規定ヲ商法ニ置カサル國アルナリ然レトモ會社カ巨額ノ資産ヲ要シ到處尋常ノ方法ニテハ之ヲ得サル場合アルヲ以テ我國ハ其際特別ノ方法ニ依リテ之ヲ得セシムル爲メ特ニ社債ヲ商法ニ規定シタリ恰モ國家、市町村等ノ公法人ハ普通ノ方法ニ依リテ金錢ヲ借受クヲ得ルモ此外ニ公債、市町村債等ヲ募集スルヲ得セシムル爲メ特ニ公債條例、市町村債條例等ヲ發布スルニ等シ

會社ハ普通ノ方法ニ依リテ金錢ヲ得ルト社債ニ依リテ之ヲ得ルトハ自由ナレトモ社債ヲ募集スルニハ商法ノ規定ニ從ハサルヘカラス商法ニ特殊ノ方法ヲ認ムル以上ハ必ス之ニ從フヘク最早類似ノ行爲ヲ爲シテ此規定ヲ潜クルヲ得ヌ又株式會社ニ關シテ之ヲ規定シ合名會社及ヒ合資會社ニ關シテ規定セサルヨリシテ此二會社ハ社債ヲ募集シ得サルモノト解スヘシ社債ノ本質ニ關シテハ種々ノ說アリ社債ニ應スルヲ賣買ト云フ者ト無名契約ト云フ者アリ賣買ト云フハ社債ノ應募者ハ會社ニ金錢ヲ貸與スルヨリモ寧ロ會社ノ發行スル債券ヲ買受クルモノナルヲ以テ債券若クハ之ニ表現セル債權ノ賣買ナリト云フニ在リエンデマン氏カ社債ニ應スル者ハ貸借ヲ爲ス意思ヨリモ會社ノ發行スル債券ヲ得ントスル意思ナリト云ヘルハ之ニ屬ス然レトモ債券又ハ債權ノ賣買ト云フトキハ既存ノ債權ノ移轉ヲ意味スル事ト爲リ應募ニ依リテ新ニ債權ヲ生スル事實ヲ說明シ難シ無名契約ト云フハ此契約ニハ名稱ナシ民法ノ貸借ハ特別當事者間ニ之ヲ爲シ一般募集ノ方法ヲ以テセス又借主ハ受取リタルト同額ノ金錢ヲ交付シテ債務ノ辨濟トスルニ社債ニ在リテハ



受取リタル以上又ハ以下ノ金額ヲ償還スレハ可ナルカ故ナリト云フニ在リ然レトモ民法ハ貸借ノ方法ヲ限定セサルヲ以テ募集ニ依ルモ貸借タルヲ妨ケス又元本ヨリ多ク返還スルハ返還ノ意義ニ合セスト假定スルモ利子ヲ併セテ同時ニ返還スルモノト解セハ可ナルヘク少額ヲ辨濟シテ債務ノ免除ヲ得ルコトハ普通ノ貸借ニ於テモ常見ル所ナリ故ニ余ハ社債ノ募集ヲ消費貸借ノ一種トシ商法ノ規定ニ足ラサル所アラハ先ツ民法ノ消費貸借ノ規定ヲ適用シ然ル後契約一般ノ原則ヲ適用スヘシト云ハン

會社ハ資本ノ増加ニ依リテ一時ニ巨額ノ金錢ヲ得能フモ之カ爲メニ株主ノ數ヲ増スヲ以テ之ヲ欲セサルコトアリ又資本ヲ増加スルトキハ其減少ハ困難ナルヲ以テ一時的膨脹ノ爲メニ營業資力ヲ増加セントスル場合或ハ會社ノ性質上外國人其他或種ノ資本家ヲ株主トスルコト能ハサル場合ニ社債ニ依リテ其目的ヲ達ス

社債ノ額ハ總額ニ於テモ各社債ノ金額ニ於テモ法律ニ限定セララル  
社債ノ總額ハ左ノモノノ中低キ額ヲ限度トスニ(一〇〇)

一 拂込ミタル株金額

二 最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産

社債ノ總額ノ標準ヲ拂込ミタル株金額トシタルハ若シ會社ニ他ノ債務ナシトスレハ拂込ミタル株金額ヲ以テ一切ノ社債ヲ償還シ得ルヲ參考トシタルナリ然レトモ株金ハ決シテ金錢ノ儘ニ存セス必スヤ他ノ財産ト化シ居リ而モ其財産ノ價格ハ變動スルヲ以テ此場合ヲ慮リテ現存財産ヲ社債總額ノ限度トシタルナリ若シ現存財産ノ額ニシテ拂込金額ヨリ多キトキハ現存財産ノ額ニ達スルマテ社債ヲ募集シテ可ナル理ナルモ此價格ハ變動常ナキヲ以テ其場合ニハ低キ拂込金額ニ止マラシム

商法ハ社債ノ總額ヲ制限シテ會社ノ普通債權者及ヒ社債權者ヲ保護セントスルモ未タ十分ナラス何トナレハ或者カ會社ニ對シテ債權ヲ有スル場合ニ會社ハ拂込額ト同額ノ社債ヲ募集スルトキハ普通債權者ト社債權者ノ債權額ハ合セテ拂込額ヲ超ユレハナリ或ハ此場合ニハ現存財産ヲ社債總額ノ限度トスル故可ナリト云フ者アルモ茲ニ現存財産トハ貸借對照表ニ表ハレタル現存財産



ニシテ現存財産ヨリ債務ヲ引キ去リタル殘額ナルカ否カモ既ニ問題ナリ假ニ  
 變額タル積極的財産ナリトスルモ此限度マテ社債ヲ募集シタル後ニ會社カ債  
 務ヲ負擔スルトキハ社債權者ハ如何トモスルヲ得サルヘク又會社財産ノ價格  
 カ減少スル場合ニハ擔保ハ減少スヘシ故ニ社債ヲ鞏固ナラシムルニハ特別ノ  
 擔保ヲ得セシムル必要アリ爲メニ社債擔保信託法ヲ生シタリ  
 社債ノ總額トハ各募集ニ於ケル總額ニ非スシテ會社ノ有スル總額ナルヲ以テ  
 第一回ニ法定ノ限度マテ社債ヲ募集シタルトキハ其後ニハ最早募集スルヲ得  
 ス第一回ニ半額マテ募集シタルトキハ第二回ニハ殘リノ半額ヨリ募集スルヲ  
 得サルナリ大體ニ於テ適當ノ規定ナリ然レトモ高利ノ社債ヲ低利ノモノニ變  
 更スル場合ニ困難ヲ感ス先ツ低利ノモノヲ募リ其募集金ヲ以テ高利ノ社債ヲ  
 償還セントスルモ高利ノモノニテ最高額ニ達セルトキハ最早低利ノモノヲ募  
 集スル餘地ナケレハナリ故ニ或規定ヲ設ケテ此場合ニ應ヌハシ  
 社債ノ總額ニ限度アルハ株式ト異ナル所ナリ株式ノ額ニハ制限ナシ  
 各社債ノ金額ハ二十圓ヲ下ルコトヲ得ス(二〇)一計算ノ便宜ヲ計リ又紙幣發行

類似ノ行爲ヲ爲シ得サラシムル爲メナリ株式ヲ五十圓又ハ二十圓以上ニ限り  
 無記名手形ヲ三十圓以上ニ限リタルト同主意トス  
 各社債ノ金額ハ二十圓ヲ下ルコトヲ得スト云フハ券面額ハ二十圓ヲ下ルコト  
 ヲ得ストノ意ナリ實際ノ拂込額ハ之ヨリ以下ニテモ可ナリ株式ニ在リテハ其  
 發行價格ハ券面額ヲ下ルヲ得サルモ社債ニハ此制限ナク會社ヲシテ隨意ニ社  
 債ノ發行價格ヲ定ムルコトヲ得セシム故ニ株式ニハ券面以上ノ發行及ヒ券面  
 額發行ノ二方法アルノミナルモ社債ニハ此外ニ券面以下ノ發行モアリテ合セ  
 テ三方法ト爲ル

### 社債ノ募集及ヒ償還

社債ヲ募集スルニハ株主總會ノ特別決議ヲ要ス(一九九)即チ總株主ノ半數以上  
 ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其議決權ノ過半數ヲ以テ決スルヲ要  
 シ若シ一定ノ圓數出席セサルトキハ出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ假決議  
 ヲ爲シ更ニ第二回ノ總會ヲ招集シテ之ヲ本決議ト爲スヲ要スルナリ何レニス  
 ルモ特別決議ヲ要スルナリ是レ社債ハ普通債權ト異ナリ巨額ニシテ多數人ヨ



リ得ルヲ通常トシ會社株主會社債權者等ニ及ホス影響大ナルニ由ル  
株式ノ募集ハ會社設立ノ際ニ爲スモノハ總會ノ決議ヲ要セサルモ社債ノ募集  
ハ必ス會社ノ成立後ニ爲スモノトシテ必ス總會ノ決議ヲ要ストシ此點ニ  
於テモ株式ト異ナレリ

社債ノ募集方法ニハ自己募集ト委託募集アリ自己募集ハ會社カ自ラ會社ノ名  
ヲ以テ會社ノ爲メニ社債ヲ募集シ應募者ヨリ拂込ヲ得ルモノニシテ通常ノ募  
集ナリ之カ爲メニ普通ノ代理人ヲ用ユルト否トハ自己募集タルニ妨ケナキコ  
ト言ヲ俟タヌ委託募集ハ銀行其他ノ資力者ニ社債ノ募集ヲ委託スルコトニ依  
リテ爲ス募集ナリ此場合ニ在リテハ受託者ハ受託者ノ名ヲ以テ會社ノ爲メニ  
募集シ應募者ヨリ拂込ヲ受クルナリ(二〇四ノ二)前ノ場合ニハ取締役ハ會社ノ  
機關トシテ社債申込證ヲ作り後ノ場合ニハ委託者ハ自己ノ名ヲ以テ之ヲ作ル  
ナリ

社債ノ募集アルトキハ之ニ應セントスル者ハ社債申込證ニ通ニ其引受クヘキ  
社債ノ數及ヒ住所ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス(二〇三)

社債ノ募集ニ關シテハ公告主義ト申込證主義アルモ改正規定ハ申込證主義ヲ  
採リタリ而シテ其手續ニ於テハ株式ノ募集ニ於ケルト殆ト等シ申込證ニ署名  
セシムルハ應募者ヲシテ義務ノ性質程度等ヲ熟知セシメ會社ノ爲メニハ良證  
據ヲ得ヒシムル爲メナリ統一ノ形式ヲ欲シ必ス取締役(又ハ受託者)ヲシテ之ヲ  
作成セシメ而モ形式證書トス住所ヲ記載セシムルハ通知又ハ催告ノ便ニ供ス  
ル爲メナリ(二〇七ノ二)

社債申込證ニ記載スヘキ事項左ノ如シ

- 一 會社ノ商號
- 二 社債ノ總額各社債ノ金額社債ノ利率社債償還ノ方法及ヒ期限數回ニ分  
チテ社債ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ其拂込ノ金額及ヒ時期
- 三 社債發行ノ價額又ハ其最低價額
- 四 會社ノ資本及ヒ拂込ミタル株金ノ總額
- 五 最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ノ額
- 六 前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其償還ヲ了ヘサル總額



社債發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ社債應募者ハ社債申込證ニ應募價額ヲ記載スルコトヲ要ス

社債ノ申込ニハ申込證ニ通ニ署名セシムルヲ通常トスルモ委託募集ノ場合ニ受託者カ其全部ヲ引受クルトキハ勿論一部ヲ引受クル際ニモ此ノ如キコトヲ爲スヲ要セス受託者ハ克ク募集ニ關スル事項ヲ知ル又彼ノ住所ハ會社ノ熟知スルトコロニシテ別ニ多數ノ記載及ヒ署名ヲ爲サシムル必要ナケレハナリ自己募集ノ場合ニ於テモ若シ契約ニ依リ社債ノ全部ヲ引受ケントスル者アルトキハ此ノ如キ方式ヲ要セサルモノトス蓋シ社債ノ總額ヲ引受ケントスル者ハ必ス社債ニ關スル事項ヲ豫メ詳細ニ調査スヘク其引受ヲ承諾スルニ當リ總テノ申込證ニ記載署名セシムル必要毫モナケレハナリ(三〇三ノ二)

社債ノ申込人カ總額引受ニ依リテ引受人ト爲ルモ委託引受又ハ割當引受ニ依リテ引受人ト爲ルモ拂込ノ義務ヲ負ヒ一般ノ取消方法ニ依ル外ハ之ヲ取消スルコトヲ得ス此點ニ於テハ株式引受人ト異ナル所アリ拂込ハ場合ニ依リテ異ナリテ全額拂込ノコトモアレハ一部拂込ノコトモアリ社債ノ募集力完了シタル

トキハ取締役ハ遲滞ナク各社債ニ付キ其全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス(二〇四)社債ノ拂込ニ關シテハ總額主義ト分割主義アリテ各一理アリ改正規定ハ社債ハ必スシモ目前ノ必要ニ迫リテノミ募集スルニ非ス利率ノ變動其他經濟界ノ情況ヲ察シ且手數及ヒ費用ヲ少クスル爲メ將來ノ爲メニモ募集スルコトアリトシ多クノ額ヲ募集シ必要ニ應シテ漸次ニ拂込ヲ請求シ得セシムルコトトス即チ分割主義ナリ而シテ同時ニ此主義ノ濫用ヲ防クニ意ヲ用ヒタリ全額拂込後ニ非サレハ債券ヲ發行スルコトヲ得ストシタルニハ其主意モアルヘク又會社ハ前ニ募集シタル社債ノ總額ノ拂込ヲ爲サシメタル後ニ非サレハ更ニ社債ヲ募集スルコトヲ得ストシタルニモ其主意アリ(二〇〇ノ二)應募者ハ必ス金錢ヲ以テ拂込マサルヘカラス金錢以外ノ物ヲ以テ拂込ニ充當スルヲ得ス然レトモ會社ニ對シテ金錢債權ヲ有スル者ハ社債ノ拂込ニ付キ相殺ヲ對抗スルコトヲ得株式ノ拂込ニハ相殺ヲ以テ會社ニ對抗スルヲ得スト云ヒナカラ(一四四)之ヲ社債ニ準用セサルニ依リテ此ノ如ク解ス立法ノ理由トスル所ハ社債ハ一ノ貸借ニ過キサルヲ以テ相殺ノ對抗ヲ禁スル必要ナシト云フ



ニ在ラン

三八〇

拂込ヲ請求スルモ應募者カ拂込マサルトキハ取締役ハ之ヲ強制スヘシ應募者カ拂込ミタルトキハ取締役カ其拂込アリタル日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ(一)社債ノ總額各社債ノ金額社債ノ利率社債償還ノ方法及ヒ期間(二)各社債ニ付キ拂込ミタル金額ヲ登記スヘシ又登記事項ニ變更ヲ生シタルトキハ之ニ伴ヒテ變更登記ヲ爲スコトヲ要ス外國ニ於テ社債ヲ應募シタル場合ニ於テ登記スヘキ事項カ外國ニ於テ生シタルトキハ登記ノ期間ハ通知ノ到達シタル時ヨリ之ヲ起算ス(二〇四ノ三)

社債ハ豫定ノ方法ヲ以テ豫定ノ期限ニ之ヲ償還スヘシ社債権者ノ權利ハ實ニ一定ノ利息ヲ得ルコト及ヒ社債ノ償還ヲ得ルコトニ在ルナリ利息ヲ得ル方法トシテ債券ニ利札ヲ附スルコトアリ償還ノ方法及ヒ期限ハ當事者ノ隨意ニ定メ得ルヲ原則トシ一ノ制限トスル所ハ償還スヘキ金額カ券面額ニ超ユヘキコトヲ定メタルトキハ其金額ハ各社債ニ付キ同一ナルコトヲ要スルニ在リ(二〇五ノ二)同額面ノ社債ニ異ナル金額ヲ償還スルトキハ何人ニ高額ヲ償還スヘキカラ

知ラス抽籤ヲ以テスルトキハ會社ノ射倖心ヲ激發スル虞アリ故ニ券面額ニ超ユルヲ許スモ各社債ニ付キ同一ナラシメタルナリ

社債権者ニ償還スヘキ金額ヲ券面以下トスルモ可ナリ而シテ其金額ヲ異ニスルモ可ナリ之ヲ許ストキハ同シク社會ノ射倖心ヲ生セシメ得ル理ナルモ此場合ニ於ケル金額ノ差等ハ券面額以上ノ差等ノ如ク大ナル能ハス又消極的ノ差等ハ人心ヲ激發スルニ至ラサルヲ以テ之ヲ禁セサルモノトス此説明ノ簡單ナル爲メ或ハ疑ヲ起シ券面額以下ノ償還ヲ定ムルトキハ之ニ應スル者ナシト思フ者アランモ然ラス利率ヲ高クスルトキハ之ニ應スルナリ百圓ノ社債ニテ年五分ノ利トシテ五年後ニ券面額ヲ償還スルモノトセハ應募者ハ元利百二十五圓ヲ得ルナリ償還額ヲ券面額ヨリ下シテ九十圓トスルモ年七分ノ利トスルトキハ應募者ハ元利百二十五圓ヲ得テ前場合ト爲ルヘク八分ノ利トスルトキハ百三十圓ヲ得テ前場合ヨリモ五圓ヲ多ク得ルコトト爲ルヘシ尙ホ償還期限ヲ長クスルトキハ僅少ナル利率ノ差異ニテ應募者ハ普通ノ場合ヨリモ多クヲ得ル理ナリ本例ニ於ケル償還期ヲ十年トスルトキハ利率ハ六分トスルモ



鐘淵紡績株式會社

第三號

鐘淵紡績株式會社

附利五厘五分

金五百圓

鐘淵紡績株式會社

第一 金五百圓也

右ハ當會社社債發行規定承認ノ上今般募集ノ社債總額金參百萬圓ノ内金五百圓也拂込レタルノ證トシテ本券ヲ交付スルモノ也

明治四拾參年四月壹日  
東京府南葛飾區隅田村千六百十二番地

鐘淵紡績株式會社  
取締役會長 日比谷平左衛門  
專務取締役 武藤山治

鐘淵紡績株式會社社債發行規定要領

一 明治四十年六月十七日開會ノ臨時株主總會ノ決議ニ基キ本規定ニ從ヒ當會社社債總額金參百萬圓ヲ募集ス

一 各社債ノ金額ヲ壹百圓トシ社債券ハ無記名式ニシテ五百圓券五百圓券及ヒ十圓券ノ三種トス

一 本社債ノ利子ハ年六歩五厘トシ毎年四月及ヒ十月ノ兩度ニ各前月マテノ分ヲ付拂フヘシ

一 本社債ハ明治四十六年三月三十一日迄附置キ明治四十六年四月一日ヨリ向六ヶ年ニ毎年貳回(三月九月)抽籤ノ方法ニ依リ其金額ヲ償還スルモノトス但毎回ノ償還額ヲ金貳拾五萬圓宛トス

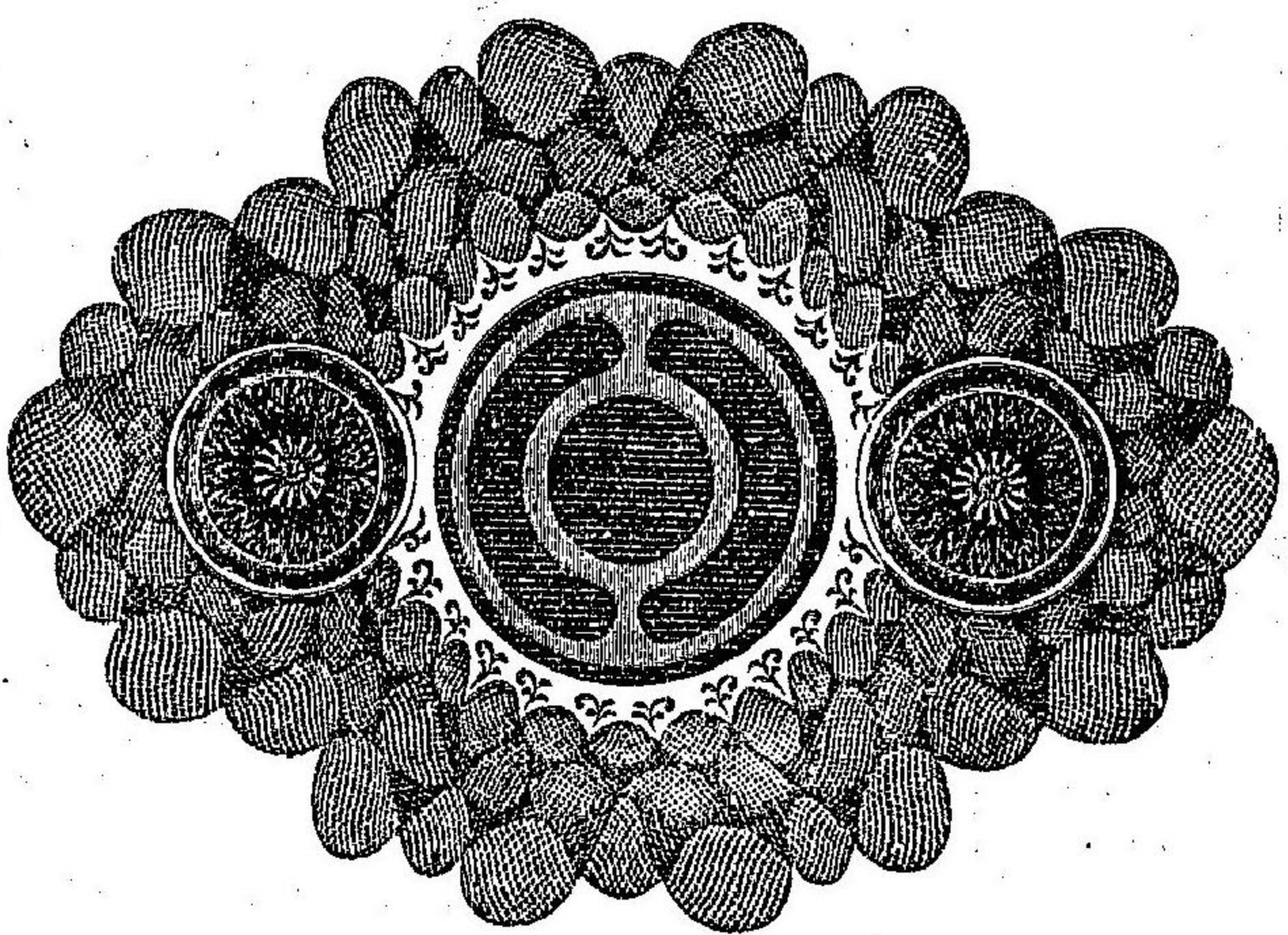
一 .....以.....下.....  
.....略.....ス.....

明治三十四年四月發行

債券

應募者ハ元利百五十圓ヲ得ルカ如シ





債券ハ社債全額ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス(三〇五)

一部拂込ノ場合ニハ領收證ヲ發行スルカ或ハ之ニ類スル證書ヲ出タヌニ過キ  
 スシテ實際ニ不便多カルヘシ故ニ若シ株式ニ一部拂込ニ對シテ株券ノ發行ヲ  
 許ストセハ社債ニモ之ヲ許スヘシト云フ者アルモ我國ハ此間ニ區別ヲ附シタ  
 ルナリ此ノ如クシテ成ヘク速カニ全額ヲ拂込マシムル主意モ在ラン又一方ヨ  
 リ云フトキハ全額拂込ノ後タリトモ必スシモ債券ヲ發行スルヲ要セス法律ニ  
 ハ明カニ其發行ヲ命セス然レトモ債券ナキトキハ債權ノ行使又ハ移轉ニ困難  
 ヲ感シ會社自身ニモ亦不便ナルヲ以テ實際ニハ必ス之ヲ發行スヘク商法亦其  
 發行ヲ豫期セリ而シテ債券ハ流通轉讓ノ頻繁ナルモノナルヲ以テ法ハ之ヲ形  
 式證書トシ其要件ヲ定ム

債券ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 會社ノ商號
- 二 債券ノ番號
- 三 社債ノ總額



四 各社債ノ金額

五 社債ノ利率

六 社債償還ノ方法及ヒ期限

尙記名社債ニ在リテハ社債權者ノ氏名ヲ記載スヘシ社債金額ノ拂込アリタルトキハ社債權者ハ其債券ヲ無記名式ト爲スコトヲ請求スルコトヲ得社債權者ハ何時ニテモ其無記名式ノ債券ヲ記名式ト爲スコトヲ請求スルコトヲ得(二〇七)

債券ニハ單ニ社債ノ利率ヲ記載スルヲ以テ足ルモ便宜ノ爲メ債券面ニ定期利息ノ金額ヲ記載シ期限毎ニ切放シ之ト引換ニ利息ヲ支拂フコトアリ償還期ハ豫メ一定シ定期ノ金額モ亦一定セルヲ以テ償還期マテハ利札ヲ附スルコトヲ得ルナリ

社債ハ債權者ノ隨意ニ之ヲ讓渡スコトヲ得記名社債ニ在リテハ讓受人ノ氏名住所ヲ社債原簿ニ記載シ且ツ其氏名ヲ債券ニ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス無記名社債ニ在リテハ債券ノ交付ヲ以

テ何人ニモ對抗スルコトヲ得讓渡以外ノ方法ニ因ル移轉ノ對抗ニ關シテ云フモ亦然リ(二〇六)

第六節 定款ノ變更

定款ハ會社設立ノ際ニハ設立行爲ノ要件ト爲リ會社成立後ニハ會社存續ノ要件ト爲リテ會社ノ形式的基礎ヲ爲スモノナリ故ニ其作成ニ關シテ特別ニ注意スルト等シク其變更ニ關シテモ特ニ注意セサルヘカラス定款ノ變更ニハ必ス株主總會ノ決議ヲ要ストシ恰モ會社設立ノ場合ニ於テ定款ノ是認變更等ニ創立總會ノ決議ヲ要スルニ等シ唯創立總會ハ新ニ會社ヲ設立スルモノナルヲ以テ如何ナル事項ニ關シテモ町重ノ決議ヲ要スルモ成立後ニ於ケル定款ノ變更ニハ輕易ノ方法ヲ認ムルコトアリ序テニ一言センニ株主總會ニ於テハ果シテ定款ヲ如何ナル程度マテ變更シ得ルモノナリヤニ關シ一九一〇年巴里ニ開キシ萬國株式會社ノ會議ニ於テ盛ニ討論シタルモ決定ヲ得ルニ至ラザリキ

株主總會ノ決議



定款ヲ變更スルニハ株主總會ノ決議ヲ必要トス總會ヲ招集スル手續總會ニテ爲ス決議ノ方法等ハ一般ノ場合ニ等シク既ニ株主總會ノ款ニ於テ説明シタリ唯招集ノ手續ニ關シテ通常ノ場合ト一ノ異ナル所ハ通常ノ場合ニハ招集ノ通知及ヒ公告ニハ會議ノ目的タル事項ヲ記載スレハ足ルヲ此場合ノ通知公告ニハ定款ノ變更ニ關スル議案ノ要領ヲ記載セシムルニ在リ要領ハ如何ナル程度ニ記載スヘキカハ事實問題ニ委シ現在ノ定ト其變更案トハ必ス知ラシムル要アリ(三〇八)

株主總會ノ決議ニハ通常決議及ヒ特別決議アリ通常決議ハ出席株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ決シ出席ノ員數及ヒ資本額ノ如何ヲ問ハス之ニ反シテ特別決議ハ總株主ノ半数以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其議決權ノ過半数ヲ以テ決スルモノトス而シテ定款ノ變更ハ重大ナル事ナルヲ以テ必ス特別決議ヲ要ス商法ニ第二〇九條ノ決議ト云ヘルハ學者ノ所謂特別決議ナリ特別決議ヲ得ルニハ半数以上ノ出席ヲ要ストシ數ヲ確知スル必要アルニ無記名株ヲ發行シタル場合ニハ其眞ノ數ハ到底知リ難キヲ以テ株主ヲシテ會日

リ一週間前ニ其株券ヲ會社ニ供託セシムルコトトシ供託セサル者ハ總株主ノ員數ニ之ヲ算入セス

特別決議ニハ絕對決議及ヒ相對決議アリ

絕對決議ハ其決議ニ必ス人員及ヒ資本ノ半数以上出席スルヲ要スルモノニシテ事業變更ノ決議及ヒ創立總會ニ於ケル決議(一三一)ハ必ス之ニ依ラサルヘカラス定數ノ出席ヲ要スルニ其出席ナキトキハ何等ノ決議ヲモ得ルコト能ハス幾度總會ヲ招集スルモ法定ノ出席ヲ得サルトキハ何事ヲモ爲シ得サルナリ或者ハ之ヲ評シテ法律ニ此場合ニ於ケル處分方法ヲ定メサルハ缺點ナリト云ヘトモ然ラス法律ハ此場合ニ會社ヲシテ現狀ヲ維持セシムル主意ナリ株主カ事業ノ變更ヲ爲スヘキ通知ヲ受ケナカラ出席セサルハ變更ヲ欲セサルモノト見テ可ナリ

相對決議ハ決議ヲ爲スニハ一應法定ノ出席者ヲ要スルモ一タヒ招集シテ之ヲ得サルニ際シ後ニ普通ノ方法ニ依リテ得ル決議ナリ定款變更ノ多クハ之ニ依リテ爲サル會社カ定款ヲ變更セントシテ株主ヲ招集スルモ定數ノ出席ナキト



キハ出席株主ノ議決權ノ過半数ヲ以テ假決議ヲ爲シ然ル後各株主ニ假決議ノ趣旨ヲ通告シテ更ニ第二回ノ株主總會ヲ召集シ出席株主ノ多少ニ拘ハラズ其議決權ノ過半数ヲ以テ假決議ノ認否ヲ決シ總會カ之ヲ認メタルトキハ本決議トスルナリ稱シテ假決議ノ方法ニ依ル決議ト云フ會社カ特別決議ヲ得ント欲シテ株主ヲ召集シ定數ノ出席ヲ得サル場合ニハ其儘ニ放擲スルモ可ナレトモ一旦假決議ヲ爲シタルトキハ既ニ一部ノ株主ノ意思表示アリタルモノトシ必ス之ヲ會社ノ意思表示トスルカ否カヲ決セサルヘカラス隨テ會社ヲシテ更ニ各株主ニ對シ其假決議ノ通知ヲ發シ且ツ無記名株ヲ發行シタルトキハ其趣旨ヲ公告シテ更ニ一ヶ月内ニ第二回ノ總會ヲ召集セシム假決議カ第二總會ニ於テ認メラレタルトキハ本決議ト爲リ其時ヨリ決議タル效力ヲ生ス本決議ハ假決議ノ追認ニ非スシテ假決議ハ本決議ニ至ル一ノ階段タリ第二總會カ假決議ヲ認メサルトキハ假決議ハ消滅シ會社ハ一度モ決議ヲ得スシテ止ムナリ

優先株ヲ發行シタル場合ニ定款ノ變更カ優先株主ニ損害ヲ及ホスヘキトキハ株主總會ノ決議ノ外優先株主總會ノ決議アルヲ要ス(二)(二)優先株ノ利率ヲ減

シ或ハ其消却方法ニ關シテ定款ヲ變更スル際ニ優先株主ハ其決議ニ付キ特別ノ利害關係アルモノトシテ議決權ヲ行フヲ得ス(一六)一議決權ヲ行フヲ得ストスレハ別ニ之ニ對スル手段ヲ取ラシムルヲ至當トシ其決議ノ有效ナルニハ更ニ優先株主總會ノ決議ヲ要ストスルナリ吾人ハ此種ノ決議ハ優先株主ニ特別ノ利害關係アルモノトシ優先株主ハ普通總會ニ於テ其決議權ヲ行フヲ得サルヲ以テ優先株主總會ニ於テ更ニ決議ヲ爲サシムル必要大ナリト云フナリ反對ノ解釋ヲ採リ優先株主ハ此決議ニ關シテモ普通總會ニ出席シテ議決權ヲ行フヲ得トスルトキハ此外ニ更ニ優先株主總會ノ決議ヲ要スル理由稍薄弱ト爲ルヘシ但優先株主總會ニハ普通ノ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

定款ノ變更ニハ特別決議ヲ要スルハ多數國ノ一致スル所ナリ獨逸商法ハ議決權ノ四分三以上ノ出席ヲ要ストスルコト屢アリ(獨二七四、二七五)我商法ハ稍寛ナルモ會社ハ任意ニ之ヨリ嚴ニスルモ可ナリ法定ノモノヨリ寛ニスルハ不可ナルモ嚴ニスルハ可ナリ故ニ定款ニテ會社ノ解散及ヒ事業ノ變更ニハ總株主ノ同意ヲ要シ合併ニハ員數及ヒ資本ノ四分三以上出席シ其出席者ノ四分三以



上ノ同意ヲ要ストスルモ可ナリ

會社ハ法律又ハ定款ニ定ムル方法ニ依リテ定款ヲ變更スルコトヲ得ト云フハ定款變更ノ形式ヲ云フナリ其實質ニ於テ會社ハ公益及ヒ會社ノ性質ニ反スル變更ヲ爲シ得サルヘシ如何ナル變更カ之ニ當ルカハ各場合ノ認定ニ依リテ決ス或株主ノ權利ヲ剝奪シ或ハ株主間ノ權利ヲ不等ナラシムルヲ得サルハ明カナリ會社ノ營業所ヲ移轉シ移轉地ノ株主ニハ便利ヲ生シ現在地ノ株主ハ不利益ヲ受クルコトアルモ止ムヲ得サルヘシ公告方法ノ變更ニ關シテ云フモ亦然リ此ノ如キ利害ハ偶然ニ生スルモノトシ之ヲ惹起スヘキ定款變更ハ有效ナリ

資本ノ増加(新株ノ發行)

會社ノ事業盛大ト爲リテ現在ノ資産ニテハ不足シ左リトテ社債其他ノ方法ニ依リテ營業資力ヲ増加スルヲ欲セサル場合ニハ資本ヲ増加ス之カ爲メニ定款ヲ變更スルヲ要シ而カモ定款變更中重ナル事項ナルヲ以テ法律ニ詳細ニ規定ス

會社ノ資本ハ株金全額拂込ノ後ニ非サレハ之ヲ増加スルコトヲ得ヌ(二一〇)未

タ全額ノ拂込ナク隨テ會社ハ之ヲ拂込マシメテ營業資力ヲ増加シ得ル途アルニ資本ヲ増加スルハ徒ラニ聲ヲ大ニシテ世人ヲ欺キ同時ニ株主ノ負擔ヲ重クシ會社ノ基礎ヲ危クスルモノト認メタルナリ之ヲ原則トシ保險會社ノ如キ必スシモ常ニ全額拂込ヲ要セサルモノハ特ニ例外トスルコトアリ獨逸商法モ大體ニ於テハ吾ニ等シク資本ヲ増加スルニハ豫メ全額拂込アルヲ要ストス而シテ實際ノ點ヲ慮リ極少ノ拂込カ未済ナルモ既ニ大部分ノ拂込アレハ足ルトシ何程ヲ極少ト見ルカヲ登記判事ノ認定ニ委シタリ便宜ナル所アルモ事實上ノ爭ヲ生スルヲ以テ我商法ノ如クスルヲ可トス

資本増加ノ方法ハ左ノ如シ

- 一 株金額ノ増加
- 二 株數ノ増加
- 三 前二者ヲ合セ爲スコト

會社ノ資本ハ株式ニ分タルヲ以テ株式ニ入ラサル資本ナク株式外ノ拂込又ハ寄附行爲ヲ以テ會社ノ資産ヲ増加スルモ之ヲ資本ノ増加ト云フヲ得ス



會社ハ一株ノ金額ヲ増加シテ其資本ヲ増加スルコトヲ得然レトモ之カ爲メニハ總株主ノ同意ヲ要シ決シテ定款變更ニ要スル特別決議ヲ以テ足レリトセス是レ株主ノ有限責任ヨリ生スル結論ナリ株主ハ或限度ノ株金額ヲ引受ケタルモノニシテ他人ノ意思ニ依リテ其以上ヲ負擔セシメラルコトナシ又何人モ或株主ヲシテ株主タルコトヲ止メシムルコト能ハス左リトテ金額ノ増加ニ堪ユル者ヲシテハ拂込マシメ堪ヘサル者ヲ其儘ニ存スルハ株主ノ平等及ヒ株式ノ均一ヲ破フルコトト爲ルカ故ニ何レモ多數決ヲ以テ此増資方法ヲ決行スルヲ得サルナリ

資本増加ノ方法トシテ最モ多ク行ハルルハ新株ノ發行ナリ  
 新株ノ發行ハ一時ニ多數ノ株主ト多額ノ資本ヲ得ル方法ニシテ其情況大ニ會社ノ設立ニ類スル處アルヲ以テ學者ハ之ヲ一部ノ設立ト稱シ法律モ亦設立ノ規定及ヒ其原則ヲ準用スル所多シ(二一二ノ三乃至二一九)何レノ場合ニモ同シク現物出資ヲ許シ株式申込證ニハ其者ノ氏名其財産ノ種類價格及ヒ之ニ對シテ與フル株式ノ數ヲ記載セシムルモ後ニ之ヲ調査變更スルコトニ關シテハニ

者著ルシク異ナリ設立ノ場合ニハ監査役ヲシテ其當否ヲ調査セシメ且創立總會ヲシテ株式ノ數ヲ減少スルコトヲ得セシムルモ増資ノ場合ニハ之ヲ爲サシムスシテ株主總會ニ於テ決議シタルモノヲ其儘ニ採用セシム是レ設立ノ場合ニハ此等ノモノハ發起人ノ定メタルモノニシテ衆人ノ批評ヲ受ケサルモ増資ノ場合ニハ株主總會ノ多數決ニテ定メタルモノナルヲ以テ再ヒ調査スル必要ナク之ヲ調査シ又變更スルヲ得トスルトキハ却テ煩雜ヲ増スノミナレハナリ(二一二ノ二)

新株ハ現在ノ株主ノミニテ引受タルモ可ナレハ新タニ株式引受人ヲ募集スルモ可ナリ何レノ場合ニ於テモ株式ノ引受契約ヲ成立スルニハ申込及ヒ承諾ヲ要ス而シテ株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ株式申込證二通ニ其引受クヘキ株式ノ數及ヒ住所ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス住所ヲ記載セシムルハ通知又ハ催告ノ便ニ備フル爲メナリ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ株式申込證ニ引受價額ヲ記載スルコトヲ要ス  
 株式申込證ハ取締役之ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス(二一二ノ三)



- 一 會社ノ商號
  - 二 増加スヘキ資本ノ總額
  - 三 資本増加ノ決議ノ年月日
  - 四 第一回拂込ノ金額
  - 五 額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ其旨
  - 六 前條ノ規定ニ依リテ決議シタル事項
  - 七 優先株ヲ發行スル場合ニ於テハ其種類及ヒ其各種ノ株式ノ數
  - 八 一定ノ時期マテニ資本増加ノ登記ヲ爲ササルトキハ株式ノ申込ヲ取消  
スルコトヲ得ヘキコト
- 株式ノ申込ヲ爲シタル者ハ其引受クヘキ株式ノ數ニ應ジテ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ株式總數ノ引受アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク各株ニ付キ株金ノ四分一以上ノ拂込ヲ爲サシメ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シタル場合ニハ第一回ノ拂込ト同時ニ其額面ヲ超ユル金額ヲ拂込マシムヘシ拂込ヲ請求スルモ引受人カ拂込マサレハ拂込ノ催告及不拂ニ伴フ失權ヲ通知シ尙拂込マサルト

キハ其株主ヲ失權セシメテ更ニ株主ヲ募集ス

株式引受人カ第一回ノ拂込ヲ爲シタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ヲ召集シテ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スヘク 監査役ハ新株總數ノ引受アリタルヤ否ヤ各新株ニ付第一回ノ拂込アリタルヤ否ヤヲ調査シテ報告スヘシ株主總會カ取締役及ヒ監査役ノ調査報告ヲ認ムルトキハ總會ハ之ニテ終結スヘク 若シ其調査報告ニ疑アルトキハ更ニ調査及ヒ報告ヲ爲サシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得調査ノ結果若シ引受ナキカ第一回ノ拂込ナキカ或ハ申込ヲ取消サレタル株式ヲ發見シタルトキハ取締役ヲシテ連帶シテ其株式ヲ引受ク又ハ拂込マシム(二一三、二一四、二一六)

株式引受ノ後會社カ株式申込證ニ記載シタル時期マテニ増資登記ヲ爲ササルトキハ株式引受人ハ株式ノ申込ヲ取消シ拂込ミタル金額ノ返還ヲ請求スルコトヲ得又増資ノ登記マテハ詐欺又ハ強迫ニ因リテ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ルナリ此等ノ點ニ於テハ總會ヲ設立ノ場合ニ於ケルト同シ(二一九)

株主總會ノ終結ニ依リテ新株ノ發行ニ依ル資本増加ノ手續ヲ完了シタルモノ



トシ會社ハ其日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記  
スルコトヲ要ス(二一七)

- 一 増加シタル資本ノ總額
  - 二 資本増加ノ決議ノ年月日
  - 三 各新株ニ付キ拂込ミタル株金額
  - 四 優先株ヲ發行シタルトキハ其種類及ヒ其各種ノ株式ノ數
- 新株ヲ發行シタルトキハ之ニ應スル株券ヲ發行スルコトヲ得其時期ハ増資登  
記ノ後ナリ之ニ先チテ發行シタル株券ヲ無効トスルコト設立登記ニ先チテ發  
行シタル株券ヲ無効トスルニ等シ而シテ設立ノ際ニ設立登記ヲ爲スマテハ株  
式ヲ讓渡シ又ハ其豫約ヲ爲スコトヲ得サルト等シク増資登記ヲ爲スマテハ新  
株ノ讓渡又ハ其豫約ヲ爲スコトヲ得ス
- 新株券ニ記載スヘキ事項ハ舊株券ニ記載スヘキ事項ト同一ニシテ此外ニ本店  
所在地ニ増資登記ヲ爲シタル年月日ヲ記載シ優先株ヲ發行シタルトキハ其株  
主ノ權利ヲ記載スルコトヲ要ス(二一八)

新株引受人ノ株主ト爲ル時機ニ關シテハ三説ヲ生ス

甲 株式引受人ハ株式ヲ引受ケタル時株主ト爲ルナリ株式ヲ應募者ニ割當テ  
株式申込人カ株式引受人ト爲リテ明カニ拂込ノ義務ヲ負フニ至レハ最早株  
主ナリト

非ナリ此説ニ隨フ時ハ未タ一度モ拂込ヲ爲ササル者ヲ株主トシ到底株主總  
會ニ招集シ得サル株主ヲ生スル不都合アリ又株式引受人ト株主ノ區別ナカ  
ラシムルハ法律ノ主意ニ協ハス且設立ノ場合ニ比シテ權衡ヲ失ス

乙 株式引受人カ第一回ノ拂込ヲ爲シタル時株主ト爲ルナリ引受人カ既ニ第  
一回ノ拂込ヲ爲シ株式引受人トシテ會社ニ對スル義務ヲ履行シタレハナリ  
ト

然レトモ第一回拂込ノ後ニモ監査役検査役等ノ調査アリ結果ノ如何ニ依リ  
テハ取締役ヲシテ連帶シテ或株式ヲ引受ケシムル場合ヲ生シ得ヘク總會ノ  
終結スルマテハ混沌タル情況ニ在ルヲ以テ其間ハ未タ株式引受人タルニ止  
マルト云フヲ可トス未タ資本ヲ増加シタリト稱スルヲ得ス又増資ノ登記ヲ



申請スルコトヲ得サルニ株式ヲ増加シタリ株主ヲ増加シタリト云フハ資本  
及ヒ株式ノ性質ニ反シ増資登記ノ時期ヲ總會ノ終結後トシタル主意ト矛盾  
ス

丙 余ハ株式引受人ノ株主ト爲ルハ第一回拂込後ニ開キタル株主總會ヲ終結  
シタル時ナリト解ス即チ設立ノ場合ニ於ケル創立總會ノ終結ニ相當スル時  
ナリ此總會ノ終ハルマテハ多クノ變動アラシキモ一タヒ之ヲ終結シタルトキ  
ハ最早殆ト變動ナク又會社ハ増資ノ登記ヲ申請シ得ルヲ以テ株式引受人ヲ  
株主ト爲シテ可ナリ會社ハ創立總會ノ終結ニ因リテ成立シ株式引受人ハ株  
主ト爲ルト等シク増資ハ増資總會ノ終結ニ因リテ完成シ株式引受人ハ株主  
ト爲ルナリ法律カ此總會ヲ株主總會ト云フカ故ニ株式引受人ハ既ニ株主ト  
爲リ居ルト云フハ文字ニ拘泥スル者ナリ増資ノ場合ニ於ケル株主總會ハ株  
主及ヒ株式引受人ノ總會ナリ長名ヲ厭ハサレハ株主株式引受人總會ト云フ  
ヘキヲ株主總會ト略稱シタルナリ  
増資ノ株主總會ニ出席シ得ル者ハ株主及ヒ株式引受人ナリ或者 此總會ヲ

株主總會ト云フヨリシテ之ニ出席シ得ル者ハ株主ニ限り株式引受人ハ出席  
スルコトヲ得スト云ヘトモ然ラス株主總會ト略稱スルモ株主及ヒ株式引受  
人ヲ會合セシメテ新株ノ募集、引受、拂込等ニ關スル決議ヲ爲サシムルナリ増  
資總會ニ於ケル決議ハ定款ノ變更ノ決議ナルヲ以テ特別決議ヲ要ス

### 優先株

會社ハ其資本ヲ増加スル場合ニ限り優先株ヲ發行スルコトヲ得(二一一)  
株式ニ普通株ト優先株アルコト及ヒ優先株主ノ爲メニハ優先株主總會アルコ  
トハ既ニ述ヘタリ茲ニハ優先株ノ何タルコト及ヒ其發行ノ時機要件等ニ關シ  
テ述フヘシ或ハ株式ノ節ニ於テスルヲ適當トセンモ優先株ノ發行ハ資本増加  
ノ場合ニ限り商法モ亦本節ニ規定スルヲ以テ之ニ從フ

優先株ハ株式平等ノ原則ニ特例ヲ爲スモノナリ株式ノ權利義務ノ内容ハ總テ  
ノ株式ニ同一ニシテ一人ノ株主ノ權利義務ハ他ノ株主ノ權利義務ト同一ナル  
ヲ原則トスルモ或場合ニハ異種ノ株式ノ發行ヲ許スナリ會社カ其事業ヲ繼續  
スル爲メ新株ヲ發行シテ資本ヲ増加セントスルモ株主ノ權利小ナルカ株式ヨ



リ得ル利益少ナキカ爲メ從來ノ株式ニテハ應スル者ナキ場合ニ優先株ヲ發行スルコトヲ得セシム

優先株トハ普通株ニ對スル際ニシテ之ニ包含スル權利若クハ利益ハ普通株ニ包含スルモノヨリモ優先ナルヲ意味ス量ニ於テ大ナルカ數ニ於テ多キカ質ニ於テ優ルカ確實ノ點ニ於テ優ルモノナリ優先株主ニハ普通株主ニ倍スル利益ヲ與フルコトアリ先ツ一部ノ利益ヲ配當シ殘餘ヲ總株主ニ平分スルコトアリ、會社解散ノ場合ニ普通株主ヨリ多クノ分配ヲ與フルコトアリ、總會ニ於ケル行爲ニ關シテモ亦或權利ヲ認ムルコトアランモ通常ハ利益ノ配當ヲ多クスルナリ利益ノ配當ニ關シテ如何ナル權利ヲ與フルモ可ナレトモ總收入ノ幾分ヲ與フト稱シテ損失ノ填補ニ先テテ配當スルヲ得ヌ又必ス一定ノ利益ヲ與フト云フヲ得ヌ

優先株ニ包含セル權利ヲ多大ナラシムルヲ得ルモ優先株ノ拂込金額ヲ額面ヨリ少ナラシムルヲ得ヌ此ノ如キハ株式ノ本質ニ反ス又優先株ノ額面ハ普通株ノ額面ト異ナルヲ得ヌ法律ハ額面ノ均一ヲ株式ノ特質トセルヲ以テ優先株ニ限リテ之ニ異ナルコトヲ認メサル以上ハ均一タラシメサルヘカラス總シテ優先株ヲ認ムルハ已ムヲ得サルニ出テタル特例ナルヲ以テ嚴正ニ解釋スヘシ  
優先株ニハ多クノ種類アリ得ヘシ第一回増資ノ場合ニ或優先株ヲ發行シ第二回増資ノ場合ニ更ニ別種ノ優先株ヲ發行シ得ルノミナラス改正規定ハ同時ニ數種ノ優先株ヲ發行スルヲ得トシ其主意ヲ所々ニ示セリ然レトモ立法論トシテ云フトキハ同時ニ數種ノモノヲ發行セシムルハ不可ナリ之ヲ許ス必要ナク之ヲ許ストキハ種々ノ煩雜ヲ生シ又詐害行爲ヲ増加スヘシ  
優先株ノ發行ハ株主ニ大關係アルヲ以テ其發行ヲ定款ニ記載スルコトヲ要ス  
(三二二)

### 資本ノ減少

會社ノ事業衰ヘテ現在ノ資本ヲ要セサルニ至ルカ或ハ事業ハ隆盛ナルモ資本額大ナルトキハ配當率小ナルカ故ニ之ヲ減少スルコトアリ資本ノ減少モ亦定款ノ變更ナルヲ以テ株主總會ノ特別決議ヲ要ス

株主總會ニ於テ資本減少ノ決議ヲ爲ストキハ同時ニ其減少ノ方法ヲ決議スル



コトヲ要ス(二二〇)資本増加ノ場合ニハ増加方法ヲ決議スルコトヲ要セサルニ減少ノ場合ニ之ヲ要スルハ資本ノ減少ハ其増加ト異ナリテ會社ノ債權者其他ノ者ニ影響ヲ及ホスコト大ナルヲ以テナリ資本減少ノ決議ノミヲ爲シナカラ其方法ヲ示ササルトキハ人心ノ不安ヲ來スコト亦大ナリト認メタルナリ

資本減少ノ決議ト同時ト云フハ必スシモ一議案トシ一舉ニ議決セヨトノ意味ニ非ス同一ノ株主總會ニ於テスレハ可ナリ先ツ減少ノ決議ヲ爲シ次テ其方法ヲ決議スルモ可ナリ或學者ハ異ナル株主總會ニ於テスルモ可ナリトカ此規定ハ資本減少ノ決議ノミニテハ效力ナク必スヤ減少方法ノ決議ヲ伴ハサルヘカラスト云フニ過キスト解スルモ是レ餘リニ同時ノ文句ヲ無視スルモノナリ

資本減少ノ方法左ノ如シ

一 株金額ノ減少

二 株數ノ減少

三 前二者ヲ合セ爲スコト

會社ノ資本ハ株式ニ分タルヲ以テ株式ニ變動ヲ來サスシテ資本ヲ減少スルコ

トヲ得ス資産ノ減少ハ株式ニ變動ヲ來ササルモ資産ノ減少ト資本ノ減少トハ全然別觀念ナリ

株金額ノ減少ニ依リテ全額拂込ノ場合ニ其半額又ハ三分之一ヲ拂戻スコトアリ未タ半額ヨリ拂込マサル際ニ之ヲ株金額トシ後半ハ最早拂込マシメサルコトアリ然レトモ此方法ニハ制限アリ漸次拂ヨリ成ル五十圓株ニハ適用スルヲ得ス百圓株ニハ適用シ得ルモ而モ減少シテ三十圓株ノ全額拂込ト爲スヲ得ス漸次拂ノ株式ハ五十圓ヲ下ルコトヲ得サレハナリ又同シク百圓株ヲ減少シテ五十圓株トシ而カモ欠損七十圓ヲ切り捨テ三十圓拂込ノモノト爲スヲ得ス此ノ如クスルトキハ株主ハ更ニ二十圓ヲ拂込ムヘキコトト爲リ百圓ノ株式ニ對シテ百二十圓ノ拂込義務ヲ負ヒ株主ノ有限責任ニ反スレハナリ之ヲ爲サントスルニハ全員ノ同意ヲ要ス

株數ノ減少方法ハ株式ヲ併合スルカ或株式ヲ消却スルニ在リ

株式ノ併合ハ從來ノ一萬株ヲ五千株ト爲シテ資本ヲ半減スルカ如シ例ハ各株主ノ有スルモノハ悉ク偶數ナルトキハ各自半減スル如キモノナリ株式ノ併合



ハ凡テノ株主カ其併合ニ適スル數ノ株式ヲ有スルトキハ容易ニ之ヲ爲シ得ル  
 モ此ノ如キコトハ絶無ニシテ必ス併合ニ適セサル株式ヲ存ス其場合ニ法律ニ  
 何等ノ規定モナキトキハ如何トモスルヲ得サルヘシ株主總會ノ決議ヲ以テ少  
 數者ヲ壓シテ其者ノ株式ヲ剝奪スルヲ得ス蓋シ之ニ關シテハ何國ニモ議論ア  
 リ獨逸ニ於テハマコーヴ、ベルレンド等ハ可能トシスタウブ、リング等ハ不  
 能トシ佛國ニ在リテハターレルハ可能トシリオンカンハ不能トス但リ氏ハ豫  
 メ定款ニ其旨ヲ定ムルトキハ可能ナリト云フナリ此ノ如ク種々ノ議論アルヲ  
 以テ獨逸商法ハ明文ニテ強制併合ヲ許シ不提倡若クハ不適合ノ株式ハ其株主  
 ノ計算ニ於テ賣却スルコトトシタリ(獨二九〇)我國ニテモ亦議論アリテ余ヲ初  
 メ多數者ハ之ヲ不能ト解セルヲ以テ改正規定ハ特ニ之ヲ可能トスル明文ヲ置  
 キ同時ニ強制併合ニ關スル手續ヲモ定メタリ

會社ハ株式ヲ併合セントスルトキハ株主ニ對シ一定ノ期間内ニ株券ヲ會社ニ  
 提供スハキ旨及ヒ其期間内ニ之ヲ提供セサルトキハ失權スヘキ旨ヲ通知シ株  
 主カ提供セサルトキハ失權セシメ提供シタル株券ノミニ付キ併合ヲ試ミ併合

ニ適スルモノハ併合シ新株券ヲ作成シテ之ヲ其株主ニ交付ス而シテ失權株及  
 ヒ不適株ハ之ヲ競賣シ株數ニ應シテ代金ヲ從前ノ株主ニ交付ス此場合ニ問題  
 ト爲ルハ此等ノ株式ハ一旦會社ノ有ニ歸シ會社ハ自己ノ株式ヲ競賣シテ取得  
 シタル自己ノ金錢ヲ從前株主ニ分與スルモノナルカ或ハ株主ノ株式ヲ其株主  
 ノ爲メニ競賣シテ代金ヲ交付スルモノナルカ失權株ニ在リテハ會社ノ金錢ヲ  
 分與シ不適株ニ在リテハ株主ノ代金ヲ交付スルモノナルカノ點ニ在リ株金拂  
 込催告ノ場合ニ於ケル失權株ノ競賣代金ニ關スル點併合ノ場合ハ法文ニテ代  
 金ヲ交付スト云ヘル點獨逸商法ニ株主ノ計算ニ於テ株式ヲ賣却スト云ヘル點  
 等ヲ參照スレハ何レニモ說ハ立ツナリ然レトモ此場合ニハ拂込催告ノ場合ト  
 異ナリテ會社ハ常ニ從前株主若クハ株主ノ爲メニ賣却シ代金ハ初メヨリ株主  
 ノ有ニシテ會社ハ之ヲ占有スルニ止マリ後ニ交付スルニ止マルト解スルハ立  
 法者ノ意ニ協ハン

會社カ株券提供ノ通知ヲ爲ストキハ其事項ヲ公告シ株主ノ債權者其他ノ利害  
 關係人ヲシテ權利ノ保護及ヒ其他ノ手段ヲ探ル途ヲ講スルヲ得セシム其外尙



株主カ其株券ノ不提供若クハ不適合ノ爲メニ失權スルトキハ其株主ノ氏名、株券ノ番號等ヲ公告セシム

會社カ必要ノ通知ヲ爲シタルニ株主カ株券ヲ提供セサルトキハ直ニ失權スルカ(二二〇ノ三)曰ク然リト云フ者ト否失權ニ要スル手續ハ通知ノミニ非ス公告モ入ルナリ然ラサレハ拂込催告ノ場合ニ於ケル失權ノ必要條件ト權衡ヲ失ス又第二二〇條ノ四ヲ以テ公告ノコトヲ準用スルカ故ニ此場合ニモ公告ヲ失權ノ必要條件ト解セサルヘカラスト云フ者アリ

株式併合ノ規定ハ記名株ヲ主トシテ爲スモノナリ會社カ無記名株ヲ發行シタルトキハ同シク併合スルコトヲ得ト云フ者ト否ラスト云フ者アリ前者ハ會社カ株券ヲ提供スヘキ旨ヲ公告シタルトキハ株主ハ之ヲ供スヘク提供セサルトキハ失權ス而シテ失權スルモ株主ノ氏名ヲキテ以テ其場合ニハ株券ノ番號ヲ公告スレハ足ル提供シテ併合ニ適スルモノハ悉ク併合シテ新株券ヲ提供者ニ交付シ失權株主ニ競賣代金ヲ與ヘス不適株主ニノミ其株數ニ應スル代金ヲ交付スト云ヘリ

株式併合ノ場合ニ於テ從前ノ株式ヲ目的トスル質權ハ併合ニ因リテ株主カ受クヘキ株式及ヒ金銭ノ上ニ存在ス(二二〇ノ五)此規定ノ實質ハ既ニ民法ニ規定セルヲ以テ其適用ヲ以テ足ルト云フ者アルモ然ラス民法ノ適用ニテハ足ラス又彼ト此トハ稍内容ヲ異ニシ而シテ株式ノ質權者ハ特ニ此ノ如クシテ保護スヘキ必要アルヲ以テ此規定ヲ置クナリ

資本ノ減少方法ノ如何ナルヲ問ハス苟モ資本減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ會社ハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り其債權者ニ對シ一定期間内ニ異議ヲ述フヘキ旨ヲ催告公告シ異議ヲ述ヘタル者ニハ辨濟ヲ爲スカ擔保ヲ供スヘシ催告公告又ハ辨濟ヲ爲サスシテ資本ヲ減少シタルトキハ之ヲ受クル權利アル債權者ニ資本ノ減少ヲ對抗スルコトヲ得ス(二二〇)

### 株式ノ消却

我商法ハ株式アホルガチオンノ消却ニ關シテ特ニ規定スル所ナキヲ以テ消却ノ何タルコト及ヒ消却ノ方法ハ學理ニ依リテ説明スルヨリ外ナシ

株式ノ消却トハ會社カ自己ノ株式ヲ消滅セシムルコトナリ學者ハ株式ノ消却



ハ株金ノ拂戻ナリ、會社ノ貸借對照表中ノ株金ノ項目ノ減少ナリ、會社カ株式ヲ取得シテ株式ノ權利義務ヲ混同セシメテ消滅ニ歸セシムルコトナリ等ト云ヘリ此等ハ何レモ株式消却ノ一部ヲ示スニ足リ殊ニ最後ノモノハ完全ニ近キモ株式ノ消却ニハ一旦其株式ヲ會社ニ取得スルヲ要ストカ必ス混同ノ法理ニ依ラサルヘカラストスルハ狹隘ナリ故ニ余ハ廣ク會社ノ爲ス株式ノ消滅行爲ナリト解ス株主ノ方面ヨリ見ルトキハ特別方法ニ因ル株主權ノ消滅ナリ株式消却ノ方法ハ對内對外ノ二關係ヨリ觀察セサルヘカラスト對内關係トハ如何ニシテ或株主ノ株式ヲ消却スルヤニ在リ對外關係トハ消却ニ當リテハ會社ハ會社債權者其他ノ第三者ニ對シテ如何ナルコトヲ爲スヘキカニ在リ株主ニ對スル消却方法トシテ強制手段ヲ用ユルハ非ナリ株主總會ニ於テ或株主ノ株式ヲ漫リニ消滅セシムルコトヲ決議スルモ其效ナシ其株主ニ反對給付ヲ爲スト否トヲ問ハヌ又抽籤ノ方法ハ總株主ヲ平等ノ運命ニ置クモノト假定スルモ抽籤ニ同意セサル者ニ強テ抽籤セシメ落籤者トシテ其株式ヲ喪失セシムルハ不法ナリ獨逸商法ニハ或者カ株主ト爲ル際ニ定款ニ此等ノ消却方法ヲ

定メアルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ルモ然ラザルトキハ之ヲ爲スヲ得スト云ヘリ余ハ定款ノ有無ヲ問ハヌ株式ノ消却ニハ其株主ノ同意ヲ要スト解ス株主カ其株式ノ消却ニ同意スルトキハ如何ニシテ消滅セシムルモ可ナリ獨人ノイカムブカ株式ノ消却トハ會社カ其株式ヲ消滅セシムル爲メニ之ヲ取得スルコトナリト云ヒシハ多クノ場合ニ相當スレトモ之ニ限定スルハ誤ナリ或學者ハ消却ニ強制的ノモノアルヲ認メ而シテ強制的ノ場合ニハ直チニ消却セシメ得ルモ任意ノ場合ニハ一旦會社ニ取得セサルヘカラスト云ヘリ多クノ場合ニハ一旦之ヲ會社ニ取得スルナラン株式及ヒ株券ヲ一旦會社ニ取得スルトキハ計算等ニ便宜ナレハナリ左レト之ヲ消却ノ必要條件ト思惟スヘカラスト株式消却ノ對外關係ノ規定ハ主トシテ會社債權者ノ利益ヲ保護スルモノナリ株式ヲ消却スルトキハ必ス會社ノ資本ヲ減少シ又多クノ場合ニ其資産ヲ減スルヲ以テ此場合ニ會社債權者其他ノ第三者ヲ保護スル爲メニ特別ノ規定ヲ設ク(一五一)

甲 普通ノ場合 株式ノ消却ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス



株式ヲ消却スルトキハ資本ハ減少スルヲ以テ資本減少ノ規定ニ從フハ言ヲ俟タス故ニ第一五一條第二項ノ本文ハ其但書ヲ引キ出ス誘句ト見ルヘシ

乙 利益ヲ以テスル場合 定款ノ定ムル所ニ從ヒ株主ニ配當スヘキ利益ヲ以テ消却スル場合ニハ資本減少ノ規定ニ從フヲ要セス故ニ單ニ利益ヲ以テ消却スルコトヲ決議スレハ足り同時ニ消却方法ヲ決議スルニ及ハス會社債權者ニ催告公告又ハ辨濟ヲ爲スヲモ要セス是レ利益ハ株主ニ配當スヘキモノナリ之ヲ利用シテ株式ヲ消却スルモ會社債權者ニ損害ヲ及ボサスト云フニ在リ

然レトモ此規定ハ普通消却ノ場合ト權衡ヲ得ス又此方法ニ依ルトキハ拂込未濟ノ會社ニハ株式ノ消却ヲ禁セサルヘカラス例ヘハ資本百萬圓株數二萬株ノ會社カ半額拂込濟(五十圓株ニ二十五圓拂込)ノ際會社ハ五十萬圓ノ資産ト五十萬圓ノ拂込請求權トヲ有スルヲ以テ百萬圓ノ債權者ハ悉皆辨濟ヲ得ヘシト信シテ貸與シタルニ會社カ二十五萬圓ノ利益ヲ得之ニテ株式ノ半數ヲ消却シテ一萬株トスルトキハ會社ハ最早二十五萬圓ノ拂込請求債權ヲ有

スルニ止マリ資産ハ凡テ七十五萬圓ト爲リ債權ノ擔保ハ薄弱ト爲レハナリ故ニ利益ヲ以テ消却スル場合ニモ普通ノ場合ト等シク常ニ資本減少ノ規定ニ從ハシムヘシ

株式ノ消却ハ必ス資本ノ減少ヲ伴フ株式ノ消却トハ株式ヲ消滅セシムルコトナリ而シテ我商法ハ株式會社ノ資本ハ之ヲ株式ニ分ツコトヲ要ストシ(一四三)株式ニ分タレサル資本ナキヲ以テ株式ヲ消却スレハ其丈ケ資本ハ減少シ行クナリ株式ノ半ハヲ消却スルトキハ資本ハ半減シ悉ク消却スルトキハ資本ハ皆無ト爲リテ會社ハ消滅ス余ハ之ヲ明白ナル正解ト信スレトモ獨逸ニハ株式ノ消却ハ資本ノ減少ニ非スト云フ者アリテ我國ニモ之ニ同意スル者多キヲ以テ一言辯明セン

我商法ノ解釋トシテ株式ノ消却ハ資本ヲ減少セスト云フ者ハ法文ハ「株式ハ資本減少ノ規定ニ從フニ非サレハ之ヲ消却スルコトヲ得スト」スルヲ以テ株式ノ消却ハ資本ノ減少ニ非サルヲ知ル若シ株式ノ消却ハ當然資本ノ減少ナリトスレハ殊更ニ此ノ如キ明文ヲ設ケストモ可ナレハナリト云ヘリ此文理解釋ニハ



一理アルモ此法文ハ蛇足ニシテ唯但書ヲ引キ出ス誘句ニ過キサルコトハ前ニ述ヘタリ又此ノ如キ法文ノミヨリシテ株式ニ分タレサル資本アリト斷言スルハ大膽ニ過ク又曰ク普通ノ場合ニ於ケル株式消却ハ必ス資本ノ減少ト爲ルモ配當スヘキ利益ヲ以テスル消却ハ然ラス何トナレハ普通ノ場合ニハ資本減少ノ規定ニ從ハシムルモ利益ヲ以テスル場合ニハ之ヲ從ハシメサレハナリト誤ナリ利益ヲ以テスル株式消却ノ場合ニ資本減少ノ規定ニ從フヲ要セストシタルハ催告公告辨濟等ノコトヲ爲サスシテ株式ヲ消却スルコトヲ得トシタルニ過キスシテ此場合ノ消却ヲ資本減少ト見ルカ否カヲ決シタルニ非ス却テ此法文ハ株式ノ消却ヲ資本ノ減少ト見タル證ナリト云フヲ得ヘシ資本ノ減少ニ非サレハ何等ノ明文ヲ待タスシテ資本減少ノ規定ニ從フヲ要セサルコト明カナレハナリト云ヒ得ルヲ以テナリ然レトモ余ハ些々タル文字ヨリシテ本問ヲ決セントスルニ非ス株式ヲ消却シテ而カモ資本ハ減少セスト云フトキハ株式ニ分タレサル資本アルコトト爲ルヲ以テ不可ナリト云フナリ又消却セラレタル株式ハ會社ニ存シテ株式ノ數ハ依然タリ唯株主ノ數ハ減スルノミト云フ説モ

誤ナリ

株式ノ消却ハ資本ヲ減少セスト云フ者ハ之ヲ減少スルトキハ會社ノ債權者ヲ害スヘシト云ヘリ資本金百萬圓ニシテ資産ハ之ニ伴フヲ通常トスルヲ以テ百萬圓ノ貸金ヲ爲シタル後ニ資本ハ半減セラレ貸借表ノ借ノ部ニ入ルモノハ半減シ隨テ貸ノ部ハ超過シテ配當シ得ル利益ト爲リ配當セラレテ債權者ハ損失ヲ蒙ムルヘシ故ニ從來ノ額ヲ借ノ部ニ記載スヘシト云ヘリ又或者ハ株式ハ減少セルニ資本ハ依然タリト云フハ不當ナリ資本ハ實際ニ減少ス然レトモ會社債權者ヲ保護スル爲メ貸借表ノ借ノ部ニ記入スル資本額ヲ其儘ニ存スヘシト云ヘリ何レモ正當ノ解釋ニ非ス債權者ヲ保護スルニハ自ラ途アルヘク若シ其途ナシトスレハ法律ハ不完全ナルヲ以テ改正スヘキノミ不完全ナル點ヲ強イテ匡正セント欲シテ株式會社ノ本體ヲ害スル解釋ヲ爲スヘカラス

株式ヲ消却スレハ株式ハ消滅シ株式カ消滅スレハ其株式ニ分タレタル資本ハ消滅スト云フハ最モ自然ニ協フ解釋ニシテ且ツ最モ平易ナリ獨逸ニテモスタウプリングジモン等ハ余ト同説ニシテ就中明瞭ナルハスタウブナリ氏ハ資本



ハ減少ス故ニ翌年ノ貸借表ニハ其減シタル殘額ヲ借ノ部ニ記入スヘシ斯クスルモ債權者ヲ害スルコトナシ會社ニハ總テ債權債務ヲ差引シタル後ニ非サレハ分配シ得ル利益ヲ生スルコトナク利益ヲ分配シ居ル際ハ既ニ債權者ノ擔保ハ他ニ鞏固ニ存セル場合ナリト云ヘリ

### 第七節 解散

株式會社ノ解散ニ關シテハ多ク合名會社ノ規定ヲ準用ス  
會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス(三二二)

- 一 存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 會社ノ目的タル事業ノ成效又ハ其成效ノ不能
- 三 會社ノ合併
- 四 會社ノ破産
- 五 裁判所ノ命令
- 六 株主總會ノ決議

### 七 株主カ七人未滿ニ減シタルコト

右ノ七事由ハ合名會社解散ノ七事由ニ相當シ其中第一號乃至第五號ハ合名會社ニ於ケルト全ク同一ナリ而シテ合名會社ニ在リテハ總社員ノ同意トセルヲ株式會社ニテハ總株主ノ同意ト爲シ得サルヲ以テ株主總會ノ決議トシ又合名會社ニ在リテハ社員カ一人ト爲リタルトキトセルハ株式會社ニ適セストシテ株主カ七人未滿ニ減シタルトキトシタリ他ノ國ニハ尙資産ノ減少カ一定ノ度ヲ超ユルトキハ會社ハ解散ストスルモ我國ハ會社ハ其資本ノ半額ヲ失ヒタルトキハ取締役ヲシテ總會ヲ召集シテ報告セシメ又會社財産ヲ以テ會社債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ破産宣告ヲ請求セシムルコトニ止メ資本減少ノ一事ヲ以テ解散ヲ惹起セシメス

右ノ事由中合名會社ニ關シテ説明シタルモノハ其儘茲ニ應用ス

株主カ七人未滿ニ減シタル場合ニ會社ヲ解散セシムルハ株式會社ニハ或定數以上ノ株主ヲ存スルヲ可ト認メタルニ由リ七人トシタルハ發起人ノ數ヲ七人トシタルニ照應ス無記名株ヲ發行シタル場合ニハ株主ノ數ハ會社ノ知ラサル



間ニ七人未滿ニ減少シ會社ハ自然ニ消滅スル場合アリ得ンモ想像ニ止マル  
株主總會ノ決議トハ所謂解散決議ナリ會社ハ單ニ解散スルノミノ目的ニテ決  
議スルコトアリ他ノ會社ト合併スル目的ヲ有シテ決議スルコトアリ假ニ前者  
ヲ狹義ノ解散決議略シテ解散決議ト云ヒ後者ヲ合併決議ト云ハン

解散決議ハ特別決議タルヲ要ス然レトモ相對ノ特別決議ニテ可ナリ法律ニ定  
款ノ變更ニハ特別決議ヲ要ス第一回ノ總會ニテ之ヲ得サルトキハ假決議ノ方  
法ニ依リテ決議ヲ得ルモ可ナリ但事業ヲ變更スル場合ニハ假決議ノ方法ヲ適  
用セストシ解散ノ場合ニ此規定ヲ適用シ(二二二)而シテ解散ハ事業ノ變更ニ非  
サルヲ以テ假決議ノ方法ニテ可ナル事ト爲ルナリ解散ハ重大事件ナリトノ一  
理由ニテ絕對ノ特別決議ヲ要スルモノト解スルヲ得ス又解散ハ事業ノ變更ノ  
最大ナルモノト云フモ曲解ノ嫌アリ且事業ノ變更ニハ絕對決議ヲ要スルモ解  
散ニハ之ヲ要ササル理由モアリ蓋シ物産業ナルカ故ニ株主ト爲リタルナリ銀  
行業ヲ爲スト云フコトニハ決シテ贊成シ難シ寧ロ會社ヲ解散スルニ如カスト  
云フコトアレハナリ故ニ法律ヲ正解シ解散決議ハ相對決議ヲ以テ足ルト云フ

ヘシ

合併決議ニ在リテハ場合ヲ別チテ解セサルヘカラス若シ合併後ニ存スル會社  
ノ事業ニシテ解散會社ノ事業ト同種ナリトセハ合併ハ事業ノ變更ヲ來タササ  
ルヲ以テ相對決議ニテ可ナルモ異種ナリトセハ事業ノ變更ト爲ルヲ以テ絕對  
決議ヲ要ス

株式會社ハ如何ナル他ノ會社ト合併スルモ可ナリ合名會社ト合併スルモ合資  
會社ト合併スルモ可ナリ然レトモ實際ニハ多ク他ノ株式會社ト合併スルナラ  
ン又同種ノ營業ヲ目的トスルモノト合併スルト異種ノモノト合併スルトハ隨  
意ナルモ多クハ同種ノモノト合併スルナラン何レノ場合ニ於テモ解散會社ノ  
株式ヲ其儘ニ存續會社ノ株式ト爲スコトヲ得レハ合併ハ容易ナルモ此ノ如キ  
コトハ稀ニシテ通常ハ解散會社ノ二株ヲ以テ存續會社ノ一株ト交換スルカ五  
株ニ對シテ三株ノ割合ヲ以テ交換スルヲ要スルカ如キニ至リ隨テ株式ノ併合  
若クハ端株消滅ノ必要ヲ生ス併合ノ必要ヲ生シタルトキハ會社ハ株主ヲシテ  
株券ヲ提供セシメ提供セサル者ヲシテ失權セシメ又提供シタルモ併合ニ適セ



ナル株券ハ消滅セシメ何レモ金錢ニ代ヘテ之ヲ從前株主ニ交付ス又株式併合ノ問題ヲ生セスシテ端株其他ノ消滅株ヲ生スルトキハ之ニ對シテ金錢ヲ與フ  
(三二五)

株式ヲ併合スルトキハ併合前ノ株式ハ素ヨリ消滅シ又不提供及ヒ不適合ノ株式モ消滅ス株式ヲ併合セスシテ解散會社ノ一株ニ對シ存續會社ノ一株ヲ與フル場合ニモ解散會社ノ株式ハ消滅ス從テ其上ニ質權ヲ有スル者ハ不利益ヲ受クヘキヲ以テ之ヲ防ク爲メ商法ニ特別ノ明文ヲ置キ從前ノ株式ヲ目的トスル質權ハ株主カ受クヘキ株式及ヒ金錢ノ上ニ存在スルコトトシタリ

會社ハ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り債權者ニ異議ヲ催告公告シ異議ヲ述ヘタル者ニハ辨濟スルカ擔保ヲ供シ而シテ合併ヲ爲シタルトキハ之ニ伴フ解散登記變更登記又ハ設立登記ヲ爲スヘシ附言センニ會社ハ合併ノ決議ヲ爲スモ株式ハ依然トシテ讓渡スコトヲ得ルナリ  
會社カ解散シタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主ニ對シテ其通知ヲ發シ且無記名式ノ株券ヲ發行シタル場合ニ於テハ之ヲ公告スルコトヲ要ス又二週間内ニ

本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘシ但破産ニ因リテ解散スル場合ニハ破産法ノ規定ニ據ル(二二四、二二五第七六條ニハ會社カ解散シタルトキハ合併及ヒ破産ノ場合ヲ除外登記ヲ爲スコトヲ要ストシ合併ノ場合ヲモ除外スルモ第八一條ニ會社カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ解散登記ヲ爲スコトヲ要ストセルヲ以テ同シク登記ヲ要スルナリ其普通ノ場合ト異ナル所ハ普通ノ場合ハ二週間ノ起算點ヲ會社解散ノ時トセルヲ合併ノ場合ニハ之ヲ合併ノ時トスルニ在ルモ會社ハ合併ノ時マテハ解散セサルヲ以テ實際ニハ同一ニ歸ス

## 第八節 清算

清算ニ關スル法理ハ合名會社ニ於ケルト大差ナシ會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テ存續スルモノト看做スコト清算人ノ定メ方其職務等ニハ多ク合名會社ノ規定ヲ準用ス(二三四)  
清算人ト爲ル者ニ三種アリ

甲 取締役 會社カ解散シタルトキハ取締役ハ當然其清算人ト爲ル(二二六)合



名會社ニ於ケル社員ト等シク生レナカラノ清算人ナリ之ヲ解任シ得ル者ハ  
株主總會トス

之ヲ普通解散ノ場合トシ合併及ヒ破産ノ場合ニハ特定ノ清算人ヲ生ス法律  
ニ特別ノ規定ヲ置クヲ常トスルモ何等ノ規定ナキトキハ株主總會ノ選任シ  
タル者ヲ之ニ充ツルナリ

乙 會社ノ選任ニ依ル清算人 會社ハ定款ヲ以テ清算人ト爲ルヘキ者ヲ定ム  
ルコトアリ又株主總會ニ於テ清算人ヲ選任スルコトアリ兩者ヲ合セテ選任  
ニ依ル清算人ト云フ會社カ清算人ヲ選任シタルトキハ取締役ハ清算人ト爲  
ラス

此清算人中株主總會ニ於テ選任シタル者ハ株主總會ノ決議ヲ以テ何時ニテ  
モ解任スルコトヲ得重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十  
分一以上ノ株主ノ請求ニ因リテ之ヲ解任スルコトヲ得(二二八)

丙 裁判所ノ選任スル清算人 二様アリ一ハ定款又ハ株主總會ノ決議ヲ以テ  
清算人タル者ヲ定メヌ又清算人ト爲ル取締役ナキ場合ニ裁判所カ利害關係

人ノ請求ニ因リテ選任スル者ニシテ又一ハ會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解  
散シタル場合ニ裁判所カ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ選任スル者ナリ  
此等ノ清算人ヲ解任スルコトヲ得ルモノハ裁判所ナリ

清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ分配

現務ノ結了債權ノ取立債務ノ辨濟ニ關シテハ特ニ言フヘキコトナシ殘餘財産  
ノ分配ニ關シテハ株式會社ニ特別ノ規定アリ曰ク殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂  
込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先  
株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラスト(二二  
九)

之ヲ清算人ノ根本的職務トシ清算人ヲ置クハ畢竟此等ノ行爲ヲ爲サシムルニ  
在リ然レトモ之ニ附隨シテ多クノ職務ヲ生シタリ大體ニ於テ合名會社ニ於ケ



ルト等シキモ株式會社ニ在リテハ多數ノ株主アルヲ常トシ又株主總會、監査役等ノ如キ機關アルヲ以テ之ニ伴ヒテ自ラ多少ノ差ヲ生シ清算人ノ職務ニ煩激ヲ加フ

清算人ハ就職後二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ自己ノ氏名住所ヲ登記スルコトヲ要ス又就職後遲滯ナク會社財産ノ狀況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テ存在シ株主モ維然トシテ存シ定時總會ヲ開クヘキ必要アルヲ以テ清算人ハ之ヲ招集スヘク而シテ清算人ハ財産目錄貸借對照表及ヒ事務報告書ヲ作り定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ之ヲ監査役ニ提出スルコトヲ要ス(二二七、二二七ノ二)其外監査役ニ對シテ訴ヲ起スヘキコトアリ又十分一株主カ監査役ヲ訴フルコトヲ請求シタル場合ニ彼等ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スヘキコトアリ(一八七)

清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承諾ヲ求ムルコトヲ要ス又清算カ結了シタルトキハ遲滯ナク

本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スヘク清算ニ關スル書類ハ清算終了ノ登記後十年間保存スヘシ其保存者ハ裁判所之ヲ選任ス(二三〇、二三三)

清算人ハ其職務ニ應スル職權ヲ有ス即チ現務ノ結了、債權ノ取立等ニ關スル諸行爲ヲ爲ス權限ヲ有スルナリ内部關係ニ在リテハ清算事務ノ執行權ヲ有シ業務ノ執行ハ其過半数ニ依リテ決ス外部關係ニ在リテハ會社代表權ヲ有シ法定ノ權限ナリ清算人ハ各自清算ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スルヲ原則トシ若シ定款又ハ株主總會ノ決議ヲ以テ特定ノ代表者又ハ共同代表者ヲ定ムルトキハ或清算人ニハ代表權ナキコトト爲リ或ハ共同ニ非サレハ代表權ヲ行使シ得サルコトト爲ルナリ清算人ノ權限中ニハ總會ヲ招集スル權モアレハ總會ノ決議無効ヲ訴フル權モアリ就職後遲滯ナク株主總會ヲ招集スルコトアレハ定時ニ招集スルコトアリ臨時總會ヲモ招集スルコトヲ得ルハ言ヲ俟タス株主總會ノ招集手續又ハ其決議方法カ法令又ハ定款ニ反スルトキハ其無効ヲ主張スル爲メ訴ヲ起スコトヲ得トシ此等ノ點ニ於テ解散前ニ於ケル取締役ト等シ又清算人ハ取締役ト等シク報酬ヲ受クルヲ通常トシ若シ定款ニ其額ヲ定メ



サリシトキハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム  
 清算人ハ會社ニ對シテ此ノ如キ關係ヲ有スルヲ以テ之ニ伴ヒ避止的義務ヲ負  
 フ即チ監査役ノ承認ヲ得ルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト取引ヲ  
 爲スコトヲ得ス又重大ナル責任ヲ有シ即チ清算人カ其任務ヲ怠リタルトキハ  
 其清算人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任シ若シ清算人カ法令又ハ定  
 款ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ株主總會ノ決議ニ依リタル場合ト雖モ其清  
 算人ハ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

會社ハ清算人ノ行爲ヲ監督セシムル爲メ監査役ヲ置ク

監査役ハ其職務ヲ行フニ當リ何時ニテモ清算人ニ對シテ事業ノ報告ヲ求ムル  
 コトヲ得ヘク自ラ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得ヘシ又  
 清算人カ株主總會ニ提出セントスル書類ヲ調査シテ株主總會ニ其意見ヲ報告  
 シ株主ヨリ清算人ニ對スル訴ノ請求ヲ受ケ會社ト清算人ノ間ニ訴訟ノ生スル  
 場合ニ會社ヲ代表スル等ノ權義アリ故ニ監査役ハ清算人ト爲ルコトヲ得ス清  
 算人中ニ缺員アルトキハ一時清算人ノ職務ヲ行フコトアルモ其場合ニハ株主

總會ノ承認アルマテハ監査役ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

株式會社モ準清算ヲ爲スコトアリ會社カ事業ニ著手シタル後其設立ヲ無効ト  
 スル判決ノ確定シタル場合ナリ合名會社ニ在リテハ準清算ハ設立無効ノ場合  
 及ヒ設立取消ノ場合ニ之ヲ爲サシムルニ株式會社ニテハ取消ノ場合ニ之ヲ爲  
 サシムルコトヲ規定セサルハ株式會社ノ設立ハ複雑ニシテ後ニ取消サルカ如  
 キコトナシト認メタルニ由ル然レトモ株式會社ニ在リテモ設立ノ取消ハ絶無  
 ト云フヲ得サルヲ以テ此場合ヲモ認ムルヲ可トス(二三二)

設立ノ無効ヲ主張シ得ル者ハ株主取締役及ヒ監査役トシ主張ハ訴ヲ以テノミ  
 爲ス等ハ營業中ニ於ケルト等シ



## 第五章 株式合資會社

株式合資會社ハ株式會社及ヒ合資會社ノミニテハ現今ノ事業界ニ應スルニ足ラストシテ制定シタル一種特別ノ會社ナリ合資會社ニテハ有限責任社員ハ會社ノ財産目錄及ヒ貸借對照表ノ閱覽ヲ求メ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ情況ヲ報告セラルカ如キ二三ノ權利ヲ有スルニ止マリ他ニ著シキ權利ナシ而モ其持分ハ無限責任社員全員ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ讓渡スコトヲ得サルヲ以テ多數ノ者ハ此ノ如キ會社ニ出資スルヲ欲セス又株式會社ニ在リテハ株主ハ株式ヲ自由ニ轉讓シ得ヘク且會社ニ對シテ多クノ權利ヲ有スルヲ以テ可ナルモ世人ハ無限責任社員ナキ會社ヲ信用セサルコトアリ故ニ株式合資會社ヲ制定シ無限責任社員及ヒ株主ヨリ成立セシメ無限責任社員ヲ以テ世人ノ信用ヲ得同時ニ多數ノ株主ヲ得テ出資セシムルナリ之ヲ本會社ノ生スル理論トス然レトモ理論上要用ナル程ニ實際ノ必要ナキハ獨逸ニ於テモ我國ニ於テモ其設立ノ極メテ尠ナキ事實之ヲ證セリ株式ヲ自由ニ轉讓セント欲スル者ハ多ク

ノ權利ヲ有スル株式會社ニ出資シ專制ナル無限責任社員ノ存スル株式合資會社ニ出資セサル可シ又株式合資會社ヲ組織シテ多數株主ヲ募集シ得ル者ハ合資會社ヲ組織シテ多クノ有限責任社員ヲ募集シ得ルヲ以テ亦株式合資會社ヲ欲セサルヘシ故ニ獨逸ニ於テハ一八七九年ノ會社法一八八四年ノ會社法及ヒ一八九七年ノ商法ヲ編纂スル毎ニ其無用ヲ主張シタル者アリキ余モ亦我商法編纂ノ際及ヒ改正ノ際毎ニ其設置ニ反對シタルモ其主張ノ容レラレサリシヲ遺憾トス

株式合資會社ハ獨立特殊ノ會社ナリ或點ニ於テ株式會社ニ類シ他ノ點ニ於テ合資會社ニ類シ沿革ヨリ云フモ實質ヨリ云フモ實ニ此二種ノ混合ニ外ナラス然レトモ商法ニ會社ヲ分チテ四種トシ合名合資株式及ヒ株式合資トシタル以上ハ何レモ獨立特殊ノ會社ニシテ合資會社ハ合名會社ノ一種ニ非サル如ク株式合資會社ハ株式會社又ハ合資會社ノ一種ニ非ス佛國商法ニ初メテ之ヲ規定シタル際ニハ合資會社ノ性質ヲ多ク有シ佛國學者中ニハ今モ之ヲ合資會社ノ一種ト云フ者アリ又佛獨法ニテ株式合資會社ノ無限責任社員及ヒ株主ヲ示ス



語ト合資會社ノ無限責任社員及ヒ有限責任社員ヲ示ス語ト同一ナル點アルモ而モ今ヤ株式合資會社ノ性質ハ漸次株式會社ニ近似スル傾向アリ獨逸ニテハ初メハ合資會社ニ類スト認メタリシモ後ニハ株式會社ニ類スト認メ我國ハ獨逸ノ新主義ヲ採リ尙一步ヲ進メテ社員ニ無限責任社員及ヒ株主ナル名稱ヲ用ヒ原則トシテ株式會社ノ規定ヲ準用スル旨ヲ明言シタリ(二三六)

株式合資會社ハ無限責任社員ト株主トヲ以テ之ヲ組織ス(二三五)茲ニ無限責任社員ト云フハ合名會社ニ於ケル總社員合資會社ニ於ケル無限責任社員ト同一ニシテ會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ其辨濟ノ責ニ任スル者ナリ株主ハ株式會社ニ於ケル株主ト同一ニシテ其引受又ハ讓受ケタル株式ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負ヒ記名無記名ノ株券ヲ存シテ自由ニ其權利ヲ讓渡スルコトヲ得ル者ナリ

會社ヲ組織スル無限責任社員及ヒ株主ハ合資會社及ヒ株式會社ニ於ケル者ト殆ト同一ナリトセハ此等ノ者ノ權利義務ニ關スル規定モ亦此二會社ニ於ケルト殆ト同一ナルヘク隨テ株式合資會社ノ無限責任社員ニハ合資會社ノ規定ヲ

準用シ株主ニハ株式會社ノ規定ヲ準用スト云フモ可ナラン然レトモ此ノ如ク云フノミニテハ未タ此兩社員間ノ關係及ヒ會社ト第三者ノ關係ヲ知り得サルヲ以テ之ニ如何ナル規定ヲ準用スヘキカラ示シ且他ノ會社ニ無キ特別規定ヲ設クル所アリ

株式合資會社ニハ株式會社ニ關スル規定ヲ準用ス之ヲ原則トシ左ノ事項ニ付テハ例外トシテ合資會社ニ關スル規定ヲ準用ス(二三六)

- 一 無限責任社員相互間ノ關係
- 二 無限責任社員ト株主及ヒ第三者トノ關係
- 三 無限責任社員ノ退社

第四トシテ之ニ解散ノ事由ヲ加フルコトヲ得ルハ後ニ明カナラン

株式合資會社ニハ株式株主總會監查役社債等アリテ此等ノモノニハ專ラ株式會社ノ規定ヲ準用スルヲ以テ株式合資會社ニハ原則トシテ株式會社ニ關スル規定ヲ準用スト云ヘルハ至當ナルモ人ト人トノ關係ニハ却テ合資會社ノ規定ヲ準用スル部分多シ株式合資會社ニ於ケル諸關係トハ無限責任社員間ノ關係



株主間ノ關係、社員ト株主ノ關係、社員ト第三者ノ關係及ヒ株主ト第三者ノ關係ナルニ其中重ナル關係ニハ合資會社ノ規定ヲ準用シ、殘ル株主間及ヒ株主第三者間ノ關係ニ付テハ多クノ規定ナケレハナリ

### 設立

株式合資會社ノ發起人ト爲ル者ハ無限責任社員ナリ株式會社ニ在リテハ何人カ發起人ト爲ルモ可ナレトモ株式合資會社ニテハ將來ニ無限責任社員ト爲ル者ニ非サレハ發起人ト爲ルコトヲ得ス、換言スレハ發起人ト爲リテ會社ヲ設立スルトキハ必ス無限責任社員ト爲ラサルヘカラス故ニ會社ノ設立ニ關シテ無限責任社員ト云フモ發起人ト云フモ同一ニ歸スヘシ、商法ニハ無限責任社員ト云ヘルモ余ハ説明ノ便宜ノ爲メニ寧ロ發起人ト稱セン株式會社ノ規定ヲ準用スルニモ便利ナレハ會社ノ成立前ニ無限責任社員アルカ如キ感ヲ避ケ得ル利モアリ

發起人ハ七人以上タルヘシ

發起人ハ定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス(二三七)

一 會社ノ目的、商號、一株ノ金額、本店及ヒ支店ノ所在地、會社ノ公告ヲ爲ス方法

二 株金ノ總額

三 無限責任社員ノ氏名、住所

四 無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及ヒ價格又ハ評價ノ標準

發起人ハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス(二三八)株式會社ニ在リテハ發起人ノミ株式ヲ引受ケ同時ニ會社ヲ設立スルコトヲ得レトモ株式合資會社ニテハ然ラス若シ發起人ノミニテ株式ヲ引受クトスレハ無限責任社員ノミニテ合名會社ヲ設立スルニ如カス然ルヲ殊更ニ此種ノ會社ヲ設立スルハ無限責任社員以外ノ者ヲ株主トセントスルニ在リ故ニ其主意ニ協ハシムル爲メ必ス他ニ募集セシム此主意ヲ貫ク爲メ無限責任社員カ一時自ラ悉ク株式ヲ引受ケ後ニ他人ニ讓渡スコトヲ認メス隨テ株式會社ニハ同時設立及ヒ漸次設立アルモ株式合資會社ニハ漸次設立アルノミ

株式ノ募集ニ應スル者ハ何人タリトモ可ナリ發起人モ亦株式ヲ引受クルコト



ヲ得株式ヲ引受ケントスル者ハ發起人ノ作成シタル株式申込證ニ通ニ其引受  
クヘキ株式ノ數ヲ記載シテ之ニ署名スルコトヲ要ス

株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 目的、商號、一株ノ金額、本店及ヒ支店ノ所在地、會社カ公告ヲ爲ス方法、株金  
ノ總額、無限責任社員ノ氏名住所、無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及  
ヒ價額又ハ評價ノ標準、存立期限又ハ解散ノ事由、株式ノ額面以上ノ發行、發  
起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘキ者ノ氏名、金錢以外ノ財産ヲ  
以テ出資ノ目的ト爲ス者ノ氏名其財産ノ種類、價格及ヒ之ニ對シテ與フル  
株式ノ數、會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用及ヒ發起人カ受クヘキ報酬ノ額、  
定款作成ノ年月日、第一回拂込ノ金額、一定ノ時期マテニ會社カ成立セサル  
トキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ヘキコト

二 發起人カ株式ヲ引受ケタルトキハ其各自カ引受ケタル株式ノ數

株式總數ノ引受アリタルトキハ發起人ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシメ其拂込アリ  
タルトキハ創立總會ヲ招集スヘシ創立總會ニハ發起人以外ノ株式引受人半數

以上ニシテ其株金總額ノ半以上ヲ引受ケタル者出席シ其議決權ノ過半數ヲ以  
テ一切ノ決議ヲ爲ス決議ハ特別決議タルヘシ發起人ハ總會ニ出席シテ其意見  
ヲ述フルコトヲ得ルモ其株式ヲ決議ニ加フルコトヲ得ス故ニ創立總會ニ於ケ  
ル決議ニハ發起人モ發起人ノ引受ケタル株式モナキニ等シ發起人カ不當ノ勢  
カヲ振フコトヲ豫防スルナリ(二四〇)

創立總會ニ於テハ監査役ヲ選任スルコトヲ要ス監査役ハ専ラ普通株主ノ利益  
ヲ保護シ屢々無限責任社員ニ對抗スヘキ者ナルヲ以テ無限責任社員ハ監査役  
ト爲ルコトヲ得ス

選任セラレタル監査役ハ株式總數ノ引受アリタルヤ否ヤ各株ニ第一回ノ拂込  
アリタルヤ否ヤ發起人ノ受クヘキ特別ノ利益及ヒ報酬金錢以外ノ財産ニ對シ  
テ與フル株式ノ數、設立費用等ノ正當ナルヤ否ヤ及ヒ無限責任社員ノ株金以外  
ノ出資ノ種類及ヒ價格又ハ評價ノ標準ヲ調査シテ創立總會ニ報告スルヲ要ス  
(二三九、二四一)株主ハ此報告ニ對シテ異議アルトキハ異議ヲ述ヘ疑アルトキハ  
検査役ヲシテ調査セシムルコトヲ得而シテ創立總會カ終結スルトキハ會社ハ



成立スルモノトス

會社ハ成立スルトキハ其日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス(二四二)登記義務者ハ會社ノ代表者タル無限責任社員ナリ會社ハ總會ノ終結ニ依リテ成立スルヲ以テ最早發起人ト云ハスシテ無限責任社員ト云フヲ可トス

- 一 目的商號、一株ノ金額、會社カ公告ヲ爲ス方法、本店及ヒ支店設立ノ年月日、存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由、各株ニ付キ拂込ミタル株金額、開業前ニ利息ヲ配當スヘキコトヲ定メタルトキハ其利率
- 二 株金ノ總額
- 三 無限責任社員ノ氏名、住所
- 四 無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及ヒ財産ヲ目的トスル出資ノ價格
- 五 會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メタルトキハ其氏名
- 六 監査役ノ氏名、住所

- 七 數人ノ無限責任社員カ共同シ又ハ無限責任社員カ支配人ト共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定

### 會社ノ機關

株式合資會社ノ機關ハ株主總會、無限責任社員及ヒ監査役ナリ

株主總會ノ招集方法、總會ニ定時ノモノト臨時ノモノアルコト、議決權ノ行使方法等ノ大體ハ株式會社ニ於ケルト等シ其異ナル所ハ株式合資會社ノ總會ニ在リテハ無限責任社員ノ引受ケタル株式ハ議決權ニ關シテ算入セス無限責任社員ヲシテ總會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得セシムルモ議決權ニ加ヘス即チ決議ニ關シテ無限責任社員ヲ無視スルニ在リ

合資會社ニ於テ總社員ノ同意ヲ要スル事項ニ付テハ本會社ニ在リテハ無限責任社員ノ一致及ヒ株主總會ノ決議ヲ要ス此決議ハ常ニ特別決議タルヘシ(二四四)

無限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ會社ヲ代表ス社員相互間ノ關係及ヒ社員ト第三者ノ關係ニハ合資會社ノ規定ヲ準用スレトモ社員間ノ關係ハ内部關係



ニシテ當事者ノ隨意ニ定メ得ルコト合資會社ニ於ケルト同一ナリ社員ト第三者ノ關係ニ付キ合資會社ノ規定ヲ準用スルハ主トシテ責任ノ負擔ニ關スル點ニ在リ

會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ニハ株式會社ノ取締役ニ關スル規定ヲ準用スルヲ原則トス然レトモ例外トシテ之ニ異ナル所アリ即チ取締役ハ株主總會ニ於テ選任シ會社トノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從ハシムルモ無限責任社員ニ在リテハ然ラス又取締役ト異ナリテ其數ハ二人ニテモ可ナリ年限ハ幾年ニテモ可ナリ株券ヲ監査役ニ供託セスシテ業務ヲ執行スルコトヲ得株主總會ノ決議ニ依リテ解任セラレス、任務カ終了シタル後ニ仍ホ業務ヲ執行スルカ如キ權利義務ヲ有セス、報酬ノ定ハ株主總會ニ因リテ左右セラレス、如何ナル行爲ヲ爲スニモ株主總會ノ認許ヲ要セス(二四三)是レ株式會社ノ取締役ハ單純ナル株主ノ一人ニ過キササルモ株式合資會社ノ無限責任社員ハ會社ト利害ヲ一ニシ殆ント自己ノ業務ノ如ク之ヲ執行スル者ナレハナリ

監査役ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任又ハ解任ス監査役ハ會社ノ機關トシテ會社全體ノ利益ヲ慮ルト同時ニ特ニ株主ノ利益ヲ慮ル者ナリ株式會社ニ在リテハ取締役ハ總會ノ選任解任スル所ナレトモ株式合資會社ノ無限責任社員ハ總會ノ意見ヲ以テ左右シ得サルヲ以テ或機關ヲシテ特別ノ監督ヲ爲サシムルコトトシ而モ他ニ特別機關ヲ設クルヲ煩トシテ監査役ヲ之ニ充ツルナリ

解散及ヒ清算

株式合資會社ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス(二四六)

- 一 存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
- 三 總社員ノ同意
- 四 會社ノ合併
- 五 社員ノ欠缺



## 六 會社ノ破産

## 七 裁判所ノ命令

## 八 普通株主ノ欠缺

株式合資會社ノ解散ニハ合資會社ノ解散事由ヲ適用シ合資會社ノ解散ニハ合名會社ノ解散事由ヲ適用スルヲ以テ合名會社ノ規定ヲ茲ニ引用シ之ニ他ノ二會社ノ特別規定ヲ參酌シテ右ノ如ク列擧シタリ

合名會社ニ於ケルト異ナル所ハ合名會社ニ在リテハ社員カ一人ト爲リタルトキトセルヲ茲ニハ社員ノ欠缺トシタルニ在リ合名會社ニテハ社員カ一人ト爲リタルトキハ會社ハ解散ストスルモ合資會社ニ在リテハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ストシテ有限責任社員アルトキハ無限責任社員ハ一人ニテモ可トセルヲ以テ之ヲ準用シ株式合資會社ニ株主アルトキハ無限責任社員カ一人ト爲ルモ會社ハ解散セスト解シタリ

普通株主カ欠缺スルトキハ會社ハ解散ス株式合資會社ハ無限責任社員及ヒ株主ノ二要素ヨリ成立スルモノトセハ其一要素ノ欠缺ニ因リテ解散スルハ當然

ナリ或學者ハ株主カ一人ト爲リタルトキハ株主總會ヲ成立シ得サルヲ以テ會社ヲ解散セシムト云フモ然ラス合資會社ニ於テ有限責任社員カ一人タリトモ可ナルト同シク株主ハ一人タリトモ可ナリ株主總會ノ規定ハ多クノ株主アル場合ニ適用スルモノニシテ株主カ一人ナルトキハ總會ヲ招集セスシテ其株主ノ意思ヲ問ヘハ可ナリ

會社カ解散スルトキハ清算ヲ爲スヲ要ス清算人ト爲ル者ハ無限責任社員又ハ無限責任社員ノ選任シタル者及ヒ株主總會ニ於テ選任シタル者ナリ(二四八)社員カ清算人ヲ選任解任スルハ過半数ノ決議ヲ以テシ株主總會カ之ヲ選任解任スルハ特別決議ヲ以テス被選者ハ何人ニテモ可ナリ社員又ハ總會ハ自己ノ選任シタル清算人ヲ自ラ何時ニテモ解任スルコトヲ得

無限責任社員ヨリ出タス清算人ト株主總會ニ於テ選任セル清算人トヲ同數トス社員カ全員清算人ト爲ルトキハ總會ニ於テ之ト同數ノ清算人ヲ選任シ社員カ三人ヲ選任スレハ總會ニ於テモ三人ヲ選任スヘシ社員ノ全員清算人ト爲リ總會ニテ之ト同數ノ清算人ヲ選任シタル後社員ノ或者カ死亡シタルトキハ其



相續人ヲ清算人トスルコトヲ得(二五〇)相續人カ清算人ト爲ラサルトキハ社員側ノ清算人ハ減スルニ止マリ株主總會ハ此減員ニ應シテ自己ノ選任セル者ヲ引退セシムルヲ要セス

清算人カ就職ノ後遲滯ナク會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルヘキコト其他清算事務ノ執行ニ關スル權利義務ハ株式會社ニ於ケルト同一ナリ清算事務カ終リタルトキハ遲滯ナク決算報告書ヲ作りテ總會及ヒ社員全員ノ承認ヲ求ムヘシ株式會社ニテハ株主總會ノ承認ノミニテ足ルモ株式合資會社ニテハ此外ニ社員全員ノ承認ヲ要スル差アリ

### 組織變更

株式合資會社ハ其組織ヲ變更シテ之ヲ株式會社ト爲スコトヲ得(二五二、二四七)株式合資會社ハ無限責任社員及ヒ株主ヨリ成リ株式會社ハ株主ノミヨリ成ルヲ以テ前者カ後者ニ變更スルハ前者ノ無限責任社員ノ消滅スルトキナリ其方法中ニハ從來ノ無限責任社員ヲ變シテ株主ト爲シ以テ會社ヲ株式會社ト爲スコトアリ之ヲ現員變更ト稱ス又從來ノ無限責任社員カ退社シタルニ因リ殘員

悉ク株主ト爲リ從テ會社ヲ株式會社ト爲スコトアリ之ヲ退社變更ト稱ス視員變更ハ會社ノ社員等カ進ンテ爲ス變更ナルモ退社變更ハ株主カ已ムヲ得スシテ爲ス變更ニ近キヲ以テ一ヲ自働的變更他ヲ他働的變更ト云フコトヲ得株式合資會社カ其組織ヲ變更シテ株式會社ト爲スニハ無限責任社員ノ一致及ヒ株主總會ノ特別決議ヲ要ス而シテ其場合ニハ株主總會ハ直チニ株式會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ決議スルコトヲ要ス此等ノ事ヲ決スルハ株主總會ノ決議ノミニテ足リ無限責任社員ノ同意ヲ要セス社員ニシテ株主ナルトキハ普通株主ト等シク其權利ヲ行使シ更ニ將來ノ會社ノ株式ヲ引受クルトキハ其株式ノ數ニ應シテ議決權ヲ行使ス株式會社ノ組織ニ必要ナル事項トハ定款ノ作成株式ノ割當取締役監査役ノ選任等ナリ定款ニハ株式合資會社ノ定款ノ大部分ヲ採用スルコトアルヘク監査役ニハ舊監査役ヲ選任スルコトアルヘシ何レモ新株式會社ノ新定款又ハ新監査役ト爲ルナリ

之ヲ内部ノ關係トシ外部ニ關シテハ專ラ會社ノ債權者ヲ保護スルコトニ勉ム會社カ組織變更ノ決議ヲ爲シタルトキハ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り會社



ノ債権者ニ異議ヲ催告公告シ異議ヲ述ヘタル者ニハ辨濟ヲ爲スカ擔保ヲ供スヘシ然ル後解散及ヒ設立ニ等シキ登記ヲ爲スナリ登記ニハ此催告公告辨濟等ヲ要スルヲ以テ之ヲ爲ササルトキハ組織變更ヲ第三者ニ對抗シ得サル結果ト爲ルナリ

無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ株主ハ株式會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ株式會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ決議スルトヲ要ス此等ノ決議ハ悉ク特別決議タルヘシ株主總會ニ於テ之ヲ決議スルトキハ株式會社ハ成立シタルモノトシ會社ハ解散及ヒ設立ニ等シキ登記ヲ爲スヘシ現員變更ノ場合ト異ナリ會社債権者ニ對シテ特ニ催告公告等ヲ爲ス必要ナシ

株主ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケヌ株式合資會社ト同一ノ事由ニ因リテ解散ストシ而シテ合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ス但有限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任

社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケストセルニ依リ之ヲ準用シテ此ノ如ク解スルナリ法律ハ成ヘク會社ヲ繼續セシメテ事業ヲ續行セシメントスル主意ナルヲ以テ之ニ協フ爲メニモ此クノ如ク解スヘシ(二四六一一八)



## 第六章 外國會社

自然人ニ内國人ト外國人アル如ク會社ニモ内國會社ト外國會社アルナリ昔時ハ何レノ國モ内外人ノ區別ヲ嚴ニシ自國人ニノミ人格ヲ與ヘ外國人ハ之ヲ物件視シタルコトアリ後ニ之ヲ人ト視ルニ至リテモ自國人ヨリモ劣等トシ其享有シ得ル權利ニ差等ヲ附シタリキ現今ニ在リテハ自然人ニ關シテハ之ヲ平等視シ文明國間ニハ私權ノ享有ニ關シテハ殆ント内外人ノ區別ヲ廢シタル情況アルモ法人ニハ然ラス法人ノ思想ノ發達ハ後レ自國ノ法人ヲモ容易ニ認メス外國法人ニ關シテハ一層然リ近來ニ至リ漸ク公法人ヨリ始メテ或種ノ私法人ヲ認ムルニ至リシモ果シテ如何ナル法人ヲ認ムルヤ認メテ之ニ如何ナル權利ヲ與フルカニ關シテ各國ノ法制區々タリ故ニ學者ハ之ヲ統一セント欲シ既ニ一八九一年ノ漢堡會議、一八九七年ノコッペンヘーゲン會議等ニ於テ決議セル所アルモ容易ニ實行セラレサルヘシ

我國ハ外國法人トシテ國國ノ行政區劃及ヒ商事會社ヲ認メ其認メタル法人ニ

ハ日本ニ成立スル同種ノモノト同一ノ私權ヲ享有セシム一切ノ公私法人ヲ認メサリシハ法人ニハ種々アリテ其中ニハ我國體ト相容レサル主義ノモノ、我國ノ公安風儀ニ害アルモノ、我國ニ全然無クシテ如何ナル規定ヲ適用スヘキカヲ知ラサルモノアルヲ以テナリ商事會社ニ限リテ認メタルハ商事會社ハ何レノ國ニ於テモ大同小異ニシテ商業ヲ目的トスルカ營利ヲ目的トスルカ少クトモ其形式ニ於テ商業又ハ營利ヲ目的トスルニ等シキヲ以テナリ

## 内外區別ノ標準

外國會社トハ如何ナルモノナルカノ詳論ハ國際私法、法例、民法等ニ於テ爲スヘキモノトシ茲ニハ簡單ニ之ニ關スル主義ヲ示シ次テ我商法ハ其如何ナルモノヲ探ルカヲ示スニ止ム

會社ノ内外ヲ定ムル主義左ノ如シ

一 設立地主義 會社ヲ設立シタル地ノ内外ヲ以テ決スルモノナリ日本ニ於テ設立シタル會社ハ日本會社ニシテ外國ニ於テ設立シタル會社ハ外國會社ナリトス此主義ノミヲ探ルトキハ日本ニ於テ設立行爲ヲ爲ストキハ外國法



ニ據リテ設立スルモ日本會社ナレハ設立後直チニ外國ニ本店ヲ置キ外國ニテ營業スルモ日本會社ト爲リ恰モ自然人ニ關シテ出生地主義ヲ採ルト等シ

二 準據法主義 會社ハ如何ナル國法ニ準據シテ設立セラレタルカヲ以テ決スルナリ日本法ニ從ヒテ設立シタルモノハ日本會社ニシテ外國法ニ從ヒテ設立シタルモノハ外國會社ナリトス此主義ノミヲ採ルトキハ日本ニ於テ設立スルモ外國法ニ從ヒテ設立スルトキハ外國會社ト爲リ外國ニ於テ設立スルモ日本法ニ從フトキハ日本會社ト爲ルナリ

三 本店地主義 住所地主義ト云フヲ通常トスレトモ住所ニハ本住所及ヒ假住所アリテ疑ヲ生スルコトアリ又會社ニハ住所ト云フヨリモ營業所ト云フヲ適當トシ而シテ營業所ノ主タルモノヲ本店ト稱スルヲ以テ本店地主義ト云フヲ適當トス此主義ハ學者ノ最モ多ク主張スル所ニシテゴールドシュニット、パールタール等ノ主張スル所ナリ前記ノ一八九一年ノ漢堡會議ニ於テモ此主義ヲ採用シ稍之ニ統一セントスル傾向アリ

此主義ノミヲ採ルトキハ本店ヲ日本ニ置クトキハ日本會社ニシテ本店ヲ外國ニ置クトキハ外國會社ナリ而シテ苟クモ本店ハ日本ニ在ルトキハ準據法、營業區域、資本主等ノ如何ヲ問ハスシテ日本會社ト爲ルナリ故ニ或會社カ只或國ノ國籍ヲ得ント欲シテ本店ノミヲ其國ニ置クコトアリ學者ハ之ヲ詐欺行爲トシ住所地ヲ以テ國籍ヲ得ンニハ眞ニ住所ヲ其國ニ置クヲ要ストシ之カ爲ニハ營業ハ其地ニ於テ實行セサルヘカラスト云ヘリ餘リニ營業ニ重キヲ置クトキハ遂ニハ本店地主義ト營業地主義ノ混合ト爲ルヘシ

四 營業地主義 現實ニ營業ヲ爲シ居ル地ヲ以テ會社ノ内外ヲ定ムルモノナリ日本ニテ營業スルトキハ日本會社ト爲リ外國ニテ營業スルトキハ外國會社ト爲ルナリ茲ニ營業地ト云フハ營業ノ首腦地ヨリモ寧ろ營業區域ヲ意味ス營業カ諸國ニ涉リテ行ハルトキハ其重ナル地ヲ以テ定ム此主義ノミヲ採ルトキハ會社ノ國籍ハ頻繁ニ變スルコトアラン

五 資本主義 出資者ノ内外ニ依リテ決スルモノナリ出資者ノ多數カ日本人ナルトキハ日本會社トシ外國人ナルトキハ外國會社トス此主義ニ依ルトキハ持分又ハ株式カ内外人間ニ流通スルニ從ヒ會社カ國籍ヲ變更スル不都



合ヲ生ス

六 資本地主義 資本ノ募集セラレタル地ノ内外ニ依リテ決ス資本ヲ日本ニ  
テ募集シタルトキハ日本會社ト爲リ外國ニテ募集シタルトキハ外國會社ト  
爲ルナリ然レトモ資本募集ノ一事ハ未タ以テ會社ノ内外ヲ決スル程ニ重要  
ナラス且募集トハ出資ノ誘引ナルカ申込ナルカ拂込ナルカノ疑ヲ生シ多ク  
ノ事實問題ヲ惹起スル弊アリ

以上ノ諸主義中我商法ノ採用セルモノノ何タルカハ日本會社ノ何タルカヲ知  
ラハ自ラ明カナルヘシ

日本會社ノ何タルカハ形式解釋ト實質解釋トニ依リテ異ナレリ形式解釋ニ依  
ルトハ商法ノ條文ニヨリ正確ニ日本會社ト解シ得ルモノニシテ實質解釋ニ依  
ルトハ商法ノ規定ヨリシテ日本會社ト同一ノ規定ヲ適用セラレ實ニ於テ日本  
會社ト同一ト解シ得ルモノナリ

形式解釋 日本會社トハ日本ニ於テ設立シタル會社ナリ

實質解釋 日本會社トハ日本ニ於テ設立シタル會社日本ニ本店ヲ設クル會

社及ヒ日本ニ於テ商業ヲ營ムヲ以テ主タル目的トスル會社ナリ

商法第二五八條ニハ「日本ニ本店ヲ設ケ又ハ日本ニ於テ商業ヲ營ムヲ以テ主タ  
ル目的トスル會社ハ外國ニ於テ設立スルモノト雖モ日本ニ於テ設立スル會社  
ト同一ノ規定ニ從フコトヲ要ス」ト云ヘリ會社ヲ分ツニ日本ニ於テ設立シタル  
カ外國ニ於テ設立シタルカヲ以テスルモノニシテ設立地主義ナリ然レトモ日  
本ニ本店ヲ設ケ又ハ日本ニ於テ商業スルニ日本法令ニ從ハシメサルハ不可トシ  
明文ヲ置キテ之ニ日本法令ヲ適用シ其結果日本ニ於テ設立スル會社ト同規定  
ヲ適用スルコトトシタリ故ニ日本ニ於テ設立スル會社ハ當然ノ日本會社ナリ  
日本ニ本店ヲ設ケ又ハ日本ニ於テ商業ヲ營ム會社ハ法律ノ適用ニ依ル日本會  
社ナリ我商法ハ會社ノ區別ニ關シテハ先ツ設立地主義ヲ探リ擴張シテ本店地  
主義及ヒ營業地主義ニ及ホシタルナリ若シ日本ニ於テ設立スル會社ニハ日本  
法ヲ適用スルハ當然ニシテ日本法ヲ適用スルカ故ニ日本會社ナリト云ヘハ同  
時ニ準據法主義ヲ探リタルコトトモ爲ル

日本ハ外國會社ヲ認許ス然レトモ日本ノ公安ヲ害スルモノヲ認許セス日本ハ



外國會社ノ登記ヲ許可ス然レトモ日本ニテ認ムル會社ノ本質ヲ備ヘサルモノハ外國會社ト稱シ來ルモ認メス法人又ハ法人ニ類似スルモノニ非サレハ認メス商業ヲ營ムカ商業ニ類似スルコトヲ業ト爲スニ非サレハ認メサルナリ

### 支店及ヒ代表

外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ登記及ヒ公告ヲ爲スヘシ初メテ支店ヲ設ケタルトキハ勿論後ニ支店ヲ設ケタル場合ニモ悉ク之ヲ登記スヘシ外國會社カ初メテ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ第三者ハ其會社ノ成立ヲ否認スルコトヲ得(二五七)外國會社ハ登記ニ因リテ成立スルニ非ス民法ハ外國ノ商事會社ヲ認許シ登記ヲ待タスシテ成立ストスルモ第三者ニ對抗スルニハ登記ヲ爲ササルヘカラス日本會社ナルトキハ本店ノ所在地ニ登記ヲ爲サシムルモ外國會社ハ日本ニ本店ヲ有セサルヲ以テ之ニ應スル規定ヲ爲スナリ第三者ハ外國會社ノ成立ヲ否認スルコトヲ得ルモ自己ニ利益ナル際ニハ之ヲ認メテ自己ノ權利ヲ主張スルコトヲ得  
以上ハ商法ノ解釋ナリ然レトモ實際ニ此解釋ヲ貫通シ得ルカハ疑ハシ或外國

會社カ日本人ノ爲メニ損害ヲ蒙リ日本裁判所ニ訴訟ヲ提起シタリトセハ如何登記ナシトシテ其會社ノ成立ヲ否認シ得トスレハ可ナレトモ此ノ如キ妨訴抗辯ハ民法ニ於テ外國會社ヲ認ムル主義及ヒ條約ト一致スト云ヒ難シ然レトモ若シ此ノ如キ抗辯ヲ爲シ得ストスレハ外國會社ハ日本ニ於テ登記ヲ爲ササルモ第三者ニ其成立ヲ對抗シ得ルコトト爲リテ商法ノ規定ハ無益ト爲ルヘシ辯シテ外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ登記ヲ爲スマテハ第三者ハ其成立ヲ否認スルコトヲ得ルモ支店ヲ設ケサルトキハ第三者ハ其成立ヲ否認スルコトヲ得ルモ支店ヲ設ケタルモノハ支店ヲ設ケサルモノヨリモ日本人ノ眼中ニ映スルコト薄キモノト爲リテ非ナリ此ノ如ク本問ハ他ノ法令及ヒ條約ニ關係シテ研究スヘキ餘地多シ然レトモ商法ノ規定ハ明白ナリ外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケナカラ之ヲ登記セサルトキハ第三者ハ其成立ヲ否認スルコトヲ得ルナリ

支店ニ於ケル登記事項ハ日本ニ成立スル同種ノモノト同一タルヘシ同種ノモノナキトキハ最モ類似セルモノト同一タルヘシ類似セルモノモナキトキハ登



記ヲ爲スヲ得ス其結果トシテ日本ニ於テ常ニ第三者ヨリ成立ヲ否認セラルナ  
ラン登記事項ニ變更ヲ生スルトキハ之ヲモ登記スヘク其變更カ外國ニ於テ生  
シタルトキハ登記期間ハ其通知ノ到達シタル時ヨリ起算ス

支店ニ關スル事項ハ登記ノ外ニ公告ヲモ爲スヘシ  
外國會社ハ日本ニ於ケル代表者ヲ定ムヘシ其代表者ハ支店ニ居ルモ決シテ支  
店ノミヲ代表スル者ニ非ス外國會社ノ代表者ニシテ其會社ノ營業ニ關スル一  
切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有シ之ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ  
善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス何人ヲ代表者ト爲スカハ專ラ其會社ノ本  
國法ニ從フモ同時ニ必ス日本ニ於テモ代表者ト爲ルニ適スル者ナラサルヘカ  
ラス代表者ハ支店ヲ設立スル際ニ之ヲ定メ支店ヲ登記スルト同時ニ其氏名住  
所ヲ登記シ變更シタルトキハ亦之ニ應スヘキ登記ヲ爲スヘシ登記スヘキ期間  
ハ通知ノ到達シタル時ヨリ起算ス

代表者カ會社ノ義務ニ付キ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタル  
トキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其支店ノ閉鎖ヲ命スルコト

ヲ得(二六〇)日本會社ニ在リテハ會社カ公秩良俗ニ反スル行爲ヲ爲ストキハ解  
散ヲ命スルヲ以テ二個ノ差アリ即チ一方ニハ會社自身ノ行爲ヲ原因トスル如  
ク云ヘルニ他方ニハ代表者ノ行爲ヲ原因トスルコト及ヒ一方ニハ會社ノ解散  
ヲ命スルニ他方ニハ支店ノ閉鎖ヲ命スルニ止マルコトナリ

### 株式及ヒ社債

外國會社カ日本ニ於テ株式ヲ發行スルコトアリ又或者カ外國ニ於テ發行シタ  
ル株式及ヒ社債ヲ日本ニテ移轉スルコトアリ其場合ニハ日本ノ多クノ規定ヲ  
適用ス(二五九)例ハ外國會社カ支店ノ登記ヲ爲シタル後ニ非サレハ株券ヲ發行  
スルコトヲ得ス之ニ反シテ發行シタル株券ハ無効トシ之ニ因リテ損害ヲ蒙リ  
タル者ヲシテ其賠償ヲ請求スルコトヲ得セシム會社ハ記名株及ヒ無記名株ノ  
何レヲモ發行スコトヲ得株金全額ノ拂込アリタルトキハ株主ハ其株券ヲ無記  
名式ト爲スコトヲ請求スルコトヲ得

外國會社ノ株式ハ日本ニ於テ讓渡シ得ルヲ原則トスルモ支店ヲ登記スルマテ  
ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓渡ノ契約ヲ爲スコトヲ得ス又資本ヲ増加シタルトキハ増



加登記ヲ爲スマテハ新株券ヲ發行シ新株式ヲ讓渡シ又ハ其豫約ヲ爲スコトヲ得ス記名株式ノ移轉ハ取得者ノ氏名住所ヲ株主名簿ニ記載シ且其氏名ヲ株券ニ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス外國會社ノ社債ハ日本ニ於テ有效ナリ而シテ社債權者ハ記名式ノモノヲ無記名式トシ無記名式ノモノヲ記名式ト爲スコトヲ得此點ハ株券ヨリモ自由ナリ株券ニ在リテハ第一五五條第一項ノミヲ準用スルモ社債ニハ全條ヲ悉ク準用スレハナリ(二〇七、一五五)然レトモ二者ノ間ニ此差ヲ設クル必要ナキヲ以テ法律ヲ改ムヘシ記名社債ノ移轉ハ取得者ノ氏名住所ヲ社債原簿ニ記載シ且其氏名ヲ債券ニ記載スルニ非サレハ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス日本會社ノ規定ヲ準用スルニ當リテハ外國會社ノ初メテ日本ニ設ケタル支店ヲ本店ト看做ス之ヲ商法ノ規定トスレトモ設置ノ時ノ前後ノミヲ標準トセシテ其重要ノ度ヲモ標準トスヘシ或支店ハ最先ニ設置セラレタルモ重要ノ度ニ於テ漸々減少シ却テ後ナルモノハ重要ト爲リ之ヲ日本ニ於ケル本店ノ如ク看做スヲ可トスルニ至ルコトアレハナリ

全般ニ評スルトキハ我商法ハ外國會社ニ關シテハ單ニ株式及ヒ社債ニ關シテ數條ノ規定ヲ準用スルニ止マルモ之ニテハ不十分ナリ



## 第七章 罰則

會社ノ罰則ト云フトキハ會社ナル法人ヲ處罰スル規則トモ解セラレ又會社ニ關スル人ヲ罰スル規則トモ解セラレモ商法ハ後者ノ意義ニ之ヲ用ユ

會社自身ハ罰則ノ適用ヲ受クルヲ得ルヤノ問題ハ廣ク法人ハ刑罰ノ客體ト爲ルコトヲ得ルヤノ問題ニ關聯シ法人ノ犯罪能力ト題シテ説明セラル本問ニ關シテハ羅馬法以來議論アリテウルビヤンハ市町村ハ不法行爲ヲ爲スコトヲ得スト云ヒ多數者ハ之ヲ疑ハサリキ近世ニ至リフオイヤハハハ法人ハ犯罪能力ナシト云ヒ多數人ハ之ヲ信シタリキ然レトモ法人モ亦法人ニ相當スル犯罪ヲ爲スコトヲ得レハ之ニ應スル刑罰ヲモ科シ得ルナリ法人ハ刑罰ノ客體ト爲ルヲ得ストカ法人ニハ犯罪能力ナシト云フ者ハ犯罪ハ自然人ノ爲ス行爲ニ限リ刑罰ハ人ノ身體ニ加フル苦痛ニ限ルトノ思想ヲ腦中ニ置ク者ナリ又刑法刑事訴訟法等ト名クル法律ニ列舉スル條項ヲ見此二三法律ノ解釋トシテ法人ニハ犯罪能力ナシト云フナリ淺薄ナリ深遠ナル法理論ヲ爲ストキハ自然人カ自然

人ニ相當スル犯罪ヲ爲ス如ク法人ハ法人ニ相當スル犯罪ヲ爲シ之ニ應スル制裁ヲ受ケ得ルナリ我商法ハ法人ハ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シ得ルコトヲ認メ之ニ應スル制裁トシテ解散ヲ規定ス(四八)公ノ秩序ヲ害シ得ル者ハ他ノ犯罪ヲモ爲スコトヲ得ル者ナリ又會社ニハ解散ノ外ニ罰金ナル刑罰ヲモ科スルコトアルヲ以テ會社ハ犯罪及ヒ刑罰ノ主體客體ト爲リ得ルコト明カナリ

我商法カ會社法ニ依テ罰則ト題シテ所謂スル者ハ會社ニ關スル人ナリ外國ノ會社法ニ於テ罰スル者モ亦然リトス而シテ如何ナル者ヲ罰スルカハ國ニ依リテ異ナリテ獨逸ノ如ク合名會社ノ業務執行社員ハ罰シ株式會社ノ株主ハ罰セサルモノアリ殊ニ罰ノ輕重ハ國ニ依リテ大ニ異ナレリ

會社法ニ規定スル罰ノ輕重ニ關スル主義ヲ大別シテ嚴罰主義及ヒ寬大主義トス嚴罰主義ハ會社ノ發起業務ノ執行等ニ關シテ法令ニ違反スル者ニ嚴刑ヲ科シ懲役禁錮罰金等ヲ科スルハ勿論懲役ニ在リテハ三年五年若クハ七年トスルモノナリ會社ニ關スル犯罪多クシテ之ヲ紀律スルニ普通刑法ヲ以テ足ラスト



スル場合ニ生ス寛大主義ハ僅カニ商事罰ヲ科スルニ止マリ眞ニ刑罰ト稱スルモノヲ科セス僅カニ過料ニ止メ而モ其額モ五百圓若クハ千圓ヲ超ヘサルモノナリ

一國ノ法規ヲ定ムルニ當リテ如何ナル刑罰ヲ設クヘキカハ其國ノ情況ニ基カサルヘカラス而シテ同國ニ在リテモ時勢ニ依リテ異ナラサルヘカラス全般ニ云フトキハ現代ハ寧ロ寛ヨリ嚴ニ進ム傾向アルナリ社會ノ風潮殊ニ會社重役ノ惡徳之ヲ然ラシムルモノトス我國ノ現狀亦嚴罰ヲ必要トシ到底舊規定ノ寛大主義ニテハ時弊ヲ救フニ足ラサルヲ以テ改正規定ノ政府案ハ尤モ時勢ニ適應スル嚴重ナル刑罰ヲ定メテ議會ニ提出シタリ然ルニ這ハ衆議院ノ反對ナル所ト爲リ殆ト全削セラレテ僅カニ形骸ヲ存スルモノヲ生シタリ改正規定是ナリ

會社法ハ罰ヲ分チテ二種トス一ハ刑事罰ニシテ狹義ニ於ケル刑罰ナリ又一ハ商事罰ニシテ眞ノ刑罰ニ非スト謂ハルルモノナリ一ヲ科スルカ他ヲ科スルカハ行爲ノ如何ニ依リテ異ナリ又其適用ヲ受クル者ヲ異ニス

### 刑 罰

會社法ハ法令ニ違反スル者ニ科スル刑罰ヲ三種トシ一年以下ノ懲役、一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金トシ情狀ノ輕重ニ從ヒ其中ニ就キ選擇セシム選擇ニシテ併科ニ非ス故ニ懲役ニ加フルニ罰金ヲ以テスルヲ得ス而シテ何レモ刑法ニ正條アル場合ニハ刑法ヲ適用スルニ止メ會社法ニ規定スルモノヲ適用セス亦併科ニ非ス(二六一)

刑罰ノ適用ヲ受クヘキ者ハ株式會社及ヒ株式合資會社ニ關スル者ナリ合名會社及ヒ合資會社ハ人的會社ニシテ人ニ重キヲ置キ社員ノ數モ少ク社員相知リ相戒メ詐害行爲ノ乘スヘキモノ殆トナキヲ以テ普通法ノ刑罰ニテ足ルトシ之ヲ適用セス之ニ反シ株式會社及ヒ株式合資會社ハ財産會社ニシテ財産ニ重キヲ置キ人ニ重キヲ置カス且株主ハ多數アリテ多クハ重役等ヲ知ラス又會社ニ關スル智識ナシ重役等往々此不識ニ乘シテ奸計ヲ逞クスルヲ以テ法律ハ之ニ備フルナリ

刑罰ノ適用ヲ受クヘキ者左ノ如シ



發起人 株式會社及ヒ株式合資會社ニ關シテ生ス

取締役 株式會社ニ存ス

業務執行社員 株式合資會社ニ存ス

監査役 株式會社及ヒ株式合資會社ニ存ス

検査役 株式會社及ヒ株式合資會社ニ關シテ生ス

支配人 株式會社及ヒ株式合資會社ニ關シテ生ス

合併委員 四種ノ會社ニ關シテ生ス(二六二ノ三)

取締役、監査役及ヒ業務執行社員ハ會社ノ一員ニシテ同時ニ其機關ナリ發起人ハ未タ會社ナキ場合ニ存スル者ナルモ會社ヲ設立セントシテ種々ノ行爲ヲ爲シ其實績ニ於テ會社成立後ノ取締役等ニ當ルナリ検査役ハ臨時ニ生シテ會社ノ業務、會社財産ノ情況等ヲ調査スルニ止マルモ往々詐偽共謀ヲ爲シテ株主及ヒ一般社會ヲ詐害スル虞多キヲ以テ刑罰ノ點ニ於テ監査役ト同視ス支配人ニ至リテハ商業使用人ニ過キス使用人ニ刑罰ヲ科スルハ稱ナルモ支配人ハ他ノ使用人ト異ナリテ會社ノ營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有シ諸行爲ヲ

爲ス點ニ於テ取締役ニ等シキ所アリ又屢取締役ヨリモ多クノ不法行爲ヲ爲ス事實ヲ認メ之ヲモ刑罰ノ適用ヲ受クヘキ者トシタリ合併委員トハ合併ニ因リテ會社ヲ設立スル場合ニ定款ノ作成其他設立ニ關スル行爲ヲ爲サシムル爲メ各會社ニ於テ選任スル者ナリ此場合ニ限り合名會社及ヒ合資會社ニ關シテ選任セラレタル者ニモ刑罰ヲ科ス清算人ニハ如何ナル會社ニ在ル者ニモ之ヲ科セサルハ清算ハ營業ト異ナリテ其任ニ當ル者ニハ刑罰ヲ以テ防止スヘキ程ノ惡行ヲ爲ス機ナシト認メタルニ由ルナラン

刑罰ヲ科スヘキ場合左ノ如シ

第一 會社ノ設立若クハ資本ノ増加又ハ其登記ヲ爲シ若クハ之ヲ爲サシムル目的ヲ以テ株式總數ノ引受又ハ資本ニ對スル拂込額ニ付キ裁判所又ハ總會ヲ欺罔シタルトキ

所謂幽靈株ヲ現出セシメ泡沫會社ヲ設立セントスルヲ防クナリ

第二 何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス會社ノ計算ニ於テ不正ニ其株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ



所謂抱株預合等ニ依リテ重役カ不正ノ利益ヲ得又ハ虛勢ヲ張ラントスルヲ防クナリ此規定ニ於テ「不正」ト云ヘル事ノ解釋ニ關シテハ爭ヲ生スルコトアラシ

第三 法令又ハ定款ノ規定ニ違反シテ利益又ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ所謂蝟配當ヲ爲シテ會社ノ基礎ヲ危クスル如キコトヲ防クナリ

第四 會社ノ營業ノ範圍外ニ於テ投機取引ノ爲メニ會社財産ヲ處分シタルトキ

重役投機ノ弊ヲ防ク爲メナリ會社ノ營業ノ範圍外ニ於テ爲スヲ禁シ保險會社ノ重役カ投資ノ爲メニ株式公債等ヲ賣買スルハ素ヨリ適法ナリ

過料

過料ハ狹義ノ刑罪ニ非ス單ニ商事罰ニ過キスシテ之ニ依リテ懈怠者ヲ督促シ商法ノ規定ヲ速カニ遵奉セシムルヲ趣旨トス而シテ刑法商法其他ノ法令ニ依リテ刑ヲ科スヘキトキハ最早之ヲ科セス(二六二、二六二ノ二)

過料ニ處セラルヘキモノハ合名、合資、株式及ヒ株式合資ノ四會社ニ存ス左ノ如

シ

發起人 株式會社及ヒ株式合資會社ニ關シテ生ス

業務執行社員 合名會社、合資會社及ヒ株式合資會社ニ存ス

取締役 株式會社ニ存ス

外國會社ノ代表者 四種ノ會社ニ類スルモノニ存ス

監査役 株式會社及ヒ株式合資會社ニ存ス

清算人 四種ノ會社ニ存ス

合併委員 四種ノ會社ニ關シテ生ス(二六二ノ三)

過料ヲ分チテ二種トシ重キヲ十圓以上千圓以下トシ輕キヲ五圓以上五百圓以下トス

第一 十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スル場合左ノ如シ

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第七八條乃至第八〇條ノ規定ニ違反シテ合併會社財産ノ處分、資本ノ減

少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ



會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り債權者ニ催告公告シ異議ヲ述ヘタル債權者ニハ辨濟ヲ爲スカ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併ヲ債權者ニ對抗スルコトヲ得ストシタリ然レトモ其制裁ノミニテハ薄弱ナリトシテ更ニ違反者ヲ過料ニ處ス

三 検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

四 第一五一條第二項ノ規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ

會社ハ資本減少ノ規定ニ從フカ株主ニ配當スヘキ利益ヲ以テスルニ非サレハ株式ヲ消却スルコトヲ得ス然ルヲ之ニ反シテ消却スルヲ以テ處罰スルナリ

五 第一五五條第一項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルトキ

同項ニハ株金全額ノ拂込アリタルトキハ株主ハ其株券ヲ無記名式ト爲スコトヲ請求スルコトヲ得トセリ即チ株券ハ株金全額拂込ノ後ニ非サレハ無記名式ト爲スコトヲ得サルニ之ニ違反シテ無記名式ト爲シタル場合ノ

制裁ナリト稱スルヲ得ンモ之ニハ一議論アリ

六 第一七四條第二項又ハ民法第八一條ノ規定ニ違反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

商法ニハ會社財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ取締役ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ストシ民法ニハ清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルヲ要ストセリ

七 第一九四條ノ規定ニ違反シ準備金ヲ積立テサルトキ

會社ハ其資本ノ四分一ニ達スルマテハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其利益ノ二十分一以上ヲ積立ツルヲ要シ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其額面ヲ超ユル金額ハ資本ノ四分一ニ達スルマテ準備金ニ組入ルルコトヲ要ストセリ此規定ニ違反スル者ニ制裁ヲ科スルナリ

八 第二〇〇條ノ規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ第二〇五條第一項ノ規



定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ

社債ノ總額ハ拂込株金額ト會社ノ現存財産額トノ中低キモノノ額ヲ超ユルヲ得ストスルニ其以上ヲ募集シタル場合及ヒ債券ハ社債金額ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ストスルニ之ニ反シテ債券ヲ發行シタル場合ノ制裁ナリ

九 第二六〇條ノ規定ニ依ル裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ

外國會社ノ代表者カ業務ニ付キ公秩良俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ其支店ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得之ヲ命シタルニ其命令ニ違反シタルトキハ過料ニ處スルナリ公秩良俗ニ反スル行爲ヲ爲スノミニテハ罰則ノ適用ヲ受ケス

十 會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ引渡ヲ爲ササルトキ

十一 清算ノ結了ヲ遅延セシムル目的ヲ以テ民法第七九條ノ期間ヲ不當ニ定メタルトキ

十二 民法第七九條ノ期間内ニ或債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ第九五條ノ規定

ニ違反シテ會社財産ヲ分配シタルトキ

民法ニハ清算人ハ其就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要スト規定シ商法ニハ清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財産ヲ社員ニ分配スルコトヲ得スト規定セリ之ニ違反シタル場合ノ制裁ナリ

第二 五四以上五百圓以下ノ過料ニ處スル場合左ノ如シ

一 會社編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ忘リタルトキ

二 會社編ニ定メタル公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ忘リ又ハ不正ノ公告又ハ通知ヲ爲シタルトキ

此等ノ場合ニ「忘リタルトキ」ト云ヘルハ爲ササリシトキト異ナルヲ以テ爲ササルニ非ス能ハサル場合及ヒ能ハサルニ非サルモ忘ラサル場合ハ過料ニ處セラレヌ



三 會社編ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメサルトキ

四 會社編ノ規定ニ依ル検査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ

五 第四六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ著手スルコトヲ得ストスルニ之ニ反シテ登記前ニ著手シタル場合ナリ

六 第一二六條第二項、第二〇三條第二項、第二一二條ノ三第一項及ヒ第二三

八條第二項ノ規定ニ違反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラヌ、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

株式會社ノ發起人又ハ株式合資會社ノ無限責任社員カ株式ヲ募集スルニハ株式申込證ヲ作り社債ヲ募集スルニハ社債申込證ヲ作り之ニ會社ノ目的、商號、資本等ヲ記載シ應募者ヲシテ之ニ依リ申込ヲ爲サシムルナリ然レヲ申込證ヲ作ラス或ハ不正ノ記載ヲ爲ストキハ此制裁ヲ科ス

七 第一四七條第一項又ハ第二一七條第三項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行

シタルトキ

會社ハ設立ノ際ニハ設立登記後ニ非サレハ株券ヲ發行スルコトヲ得ストスル規定ニ反スル制裁ナリ

八 株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

九 定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、事務報告書、損益計算書及ヒ準備金竝ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カヌ、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十 第一七四條第一項又ハ第一九八條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ召集セサルトキ

會社カ其資本ノ半額ヲ失ヒタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ヲ召集シテ之ヲ報告スヘキニ總會ヲ召集セサル場合及ヒ資本ノ十分一株主カ會社ノ狀況ヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ請求シ裁判所カ検査役ヲ選



任シテ調査報告セシメタルニ株主總會ヲ招集スル必要ヲ發見シタルヲ以テ監査役ヲシテ之ヲ招集セシメントシタルニ招集セサル場合ノ制裁ナリ

### 第三編 商行為

日本商法ハ商行為ヲ第三編ニ規定セリ佛國ノ一六七三年ノ商令及ヒ現行商法ハ之ヲ第四編商事裁判所ノ管轄事項ノ中ニ規定スレトモ其場所ノ非ナルコトハ佛國學者モ明言セル所ニシテ近世他國ニテ採用スルモノナシ何レモ我國ノ如ク會社編ニ次テ規定スルカ或ハ伊西白等ノ如ク之ヨリモ先キニス  
商法ハ商行為ヲ基本トスルトキハ先ツ商行為ヲ規定シ次テ商行為ヲ業トスル商人ヲ規定スヘク又商人ヲ基本トスルトキハ先ツ商人ヲ規定シ次テ商人ノ爲ス商行為ヲ規定スヘキ理ナルモ必スシモ此理論ニ依ルヲ得ス要ハ見ル者ノ便利ヲ主トスルニ在リ我商法ハ商行為ヲ本トスルモ先ツ一般ノ商人ヲ規定シ次テ法人タル商人ヲ規定シ然ル後商行為ニ及ヒタリ故ニ法典ヲ順次ニ説明スルニハ其順序ニ依ルヘキモ商行為ノ何タルヲ知ラサルトキハ商人會社商業使用人等ヲ解スル能ハサルナリ  
商人ヲ定義シ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行為ヲ爲スヲ業トスル者ト云ヒ會社



ヲ定義シ「會社トハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立シタル社團」ト云ヒ、  
 商法ノ最先ニ來レル法例ニ於テ「公法人ノ商行爲ニ付テハ商法ノ規定ヲ適用ス  
 當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付テハ商法ノ規定ヲ雙方ニ適用ス」ト  
 云フヲ以テ之ヲ知ルニハ商行爲ノ何タルヲ知ルヲ要ス故ニ詳細ハ後ニ規定ス  
 トスルモ兎ニ角商行爲ノ何モノタル丈ハ商法ノ首メニ規定スルモノアリ獨逸  
 商法ノ如シ我國ハ此方法ヲ採ラスシテ商行爲ヲ悉ク第三編ニ譲リタルヲ以テ  
 第三編ヲ知ラサルトキハ第一編及ヒ第二編ノ規定ヲ十分ニ解シ得サルヘシ  
 商行爲ヲ獨立ノ一編ト爲シタルハ商行爲ノ總則トシテ規定スヘキ條文及ヒ賣  
 買交互計算以下ノ特別規定多ケレハナリ若シ此等ノ規定ニシテ特ニ商行爲ニ  
 限ラス民事行爲ニモ共通ナルトキハ民法ニ規定スヘク而シテ悉ク民法ニ入ル  
 トキハ最早商行爲ノ全編ヲ不要トセン假ニ僅少ノモノヲ存置ストスルモ殊更  
 ニ獨立ノ一編ト爲サザラン曾テ商法中ノ獨立ノ章節ヲ爲シタル規定ニシテ今  
 ハ僅カニ斷片ト爲リテ他ノ章節中ニ附置セラルモノ多シ大體ノ傾向ヲ見ルニ  
 商行爲ニ關スル特別法規ハ漸々一般ノ民事行爲ト共通ト爲ル狀態アリ

## 第一章 總則

商行爲編ノ規定ニハ凡テノ商行爲ニ共通ノモノト或商行爲ニ特別ノモノトア  
 リ總則ニ規定セルモノハ前者ニ屬ス其中最モ重ナルハ商行爲ノ何タルコトヲ  
 示スモノナリ次ヲ總テノ商行爲ニ共通ニシテ而モ民事行爲ノ原則ニ異ナルモ  
 ノナリ其規定ハ悉ク商事ニハ信用ト敏活ヲ要スルヨリ出テタルモ社會ノ進歩  
 ニ伴ヒテ多クノ民事ニハ商事ニ劣ラサル信用ト敏活ヲ要スルニ至リ之ニ應ス  
 ヘキ規定ヲ生シテ其規定ハ商事ニモ適用シ得ルヲ以テ兩者ニ適用スルコトト  
 シ隨テ商法ノ條項ヲ削除シ商行爲ノ規定ハ益減少シツツアリ獨逸我國等ニ於  
 ケル新舊ノ民法商法ヲ比較スルトキハ直チニ之ヲ知リ得ヘシ

### 商行爲ノ意義

商行爲ヲ商法ニ定義スルモノアリ定義主義ト云フ列舉スルモノアリ列舉主義  
 ト云フ定義ヲ掲ケ其重ナル例ヲ列舉スルモノアリ折衷主義又ハ例示主義ト云  
 フ此ノ如ク諸主義ノ生スルヲ見テモ商行爲ヲ法律ニ示スコトノ困難ヲ知ルヘ



シ簡明ニ一切ノ商行爲ヲ網羅スル定義アレハ定義スルニ如カサルモ古來諸國ノ法律又ハ學者ノ下シタル定義ニシテ一モ一國商法ニ商行爲トセルモノヲ過不及ナク網羅シ得ルモノナキヲ以テ列舉主義ヲ生スルナリ列舉主義ノ利トスル所ハ如何ナル行爲カ商行爲タルカヲ明示シテ適用ヲ正確ニスルニ在リ又其悉ル所ハ立法者ハ果シテ能ク商行爲ト爲ルヘキ行爲ヲ列舉シ盡クシ得ルカニ在リ假ニ商法編纂當時ニ商行爲トスヘキモノヲ悉ク網羅シタリトスルモ後ニ類似ノモノヲ生シ而モ解釋ニ依リテ列舉中ニ入レ能ハサルトキハ如何トモスルヲ得サルヘシ折衷主義ハ此兩欠缺ヲ補ハン爲メニ生シタリト云フモ長所ヲ合スルヨリ却テ短所ヲ合シタル結果ヲ生シ寧ロ定義主義又ハ列舉主義ヲ採ルニ如カス我商法ハ列舉主義ヲ採用シタリ

商行爲ノ學理上ノ定義ハ左ノ如シ

商行爲トハ營利ノ意思ヲ以テスル財産ノ轉換行爲ナリ  
此定義ハ我商法ニ商行爲ト稱スルモノヲ悉ク包含スルニ非ス商法ニハ毫モ營利ノ意思ナキ手形行爲等ヲモ商行爲トシ仲立取次等ニ關スル行爲ニシテ財産

ノ轉換行爲ト云ヒ難キモノヲモ商行爲トスレハナリ又他方ニハ我商法ニ商行爲トセサル多クノ行爲ヲ此中ニ包含ス商法ニテ商行爲トスルハ法文ニ列舉セル十六個ナルニ此定義中ニハ列舉外ノ多數ノ行爲ヲ入ルレハナリ余ハ此定義ヲ以テ我商法ノ商行爲ヲ悉ク説明セントスルニ非ス我國及ヒ諸外國ノ商法ニテ商行爲トセルモノニ最モ適當ナル學理的ノ定義ヲ下シタルニ過キス

商行爲ハ營利ノ意思ヲ以テスル行爲ナリ無償行爲ハ勿論有償行爲タリトモ單ニ有償ナルニ止マリテ利益ヲ得ル意思ナキトキハ商行爲ト爲ラス吾人カ廢物ヲ賣却スルハ有償行爲ナルモ利益ヲ得ル意思ナキヲ以テ商行爲ト爲ラス然ルニ商人ノ物ヲ賣ルハ利益ヲ得ントシテ賣ルモノナルカ故ニ商行爲ト爲ルナリ營利ノ意思アレハ足リ實際ニ利益ヲ得タルカ否カハ問ハス

商行爲ハ財産ノ轉換行爲ナリ財産ノ轉換行爲トハ法律行爲ニ因リ自ラ中心ト爲リテ或人ノ財産權ヲ他人ニ移轉スルコトナリ最モ多キハ買賣ナリ動産不動産ノ所有權ヲ一人ヨリ他人ニ移轉スルコトナリ商行爲ノ目的ハ貨物ニ止マラスシテ一切ノ財産ナリ所有權ノ外地上權永小作權債權占有權ノ移轉等ヲモ包



含ス債權占有權等ノ移轉ヲモ含ムヲ以テ物ノ寄託ヲ受クルコトモ運送ヲ引受クルコトモ商行爲ト爲ルナリ然レトモ法律行爲ナルヲ要スルヲ以テ單ニ事實上財產權ヲ移轉スルコトハ商行爲ト爲ラス

或學者ハ商行爲ヲ說クニ當リテ物ヲ買受クルハ更ニ他人ニ之ヲ移轉セント欲スルカ爲ナリ賣渡スハ其意思ニテ豫メ取得シ置キタル物ヲ賣渡スナリ故ニ商行爲タルニハ介在行爲タルヲ要ストシテ此外ニ何等カノ原素ヲ要求スルモ既ニ營利ノ目的ヲ以テスル轉換行爲ト云フトキハ其中ニ介在ノ意ヲ含ムヲ以テ前掲ノ定義ニテ可ナリ

諸學者ノ定義ハ余ノ定義ト異レリ或學者ハ商行爲ハ貨物ノ轉換行爲ナリト云ヒ他ノ學者ハ營利ノ目的ヲ以テ資本ヲ利用シテ云々スル行爲ナリト云ヘリ然レトモ商行爲ノ目的ヲ貨物ニ限ルハ狭ク又資本ハ法律上ノ要件ニ非サルヲ以テ何レモ經濟學上ノ定義トシテハ免ニ角法學上ノ定義トシテハ不可ナリ尙法律學者中商行爲トハ商ニ關スル行爲ナリトカ商行爲目的トスル行爲ナリトカ商法ニ規定スル行爲ナリトカ商人ノ爲ス行爲ナリトカ云フ者アルモ何レモ商ノ

何タルカヲ定メサルヲ以テ之ニ依リテ商行爲ノ何タルヲ知リ難シ故ニ或目的ノ爲メニハ有用ノ定義ナランモ吾人ハ茲ニ採用セス

### 商行爲ノ區別

商法カ商行爲ヲ明カニ列舉シ又學者カ行爲ヲ商行爲ト非商行爲ニ分ツハ其如何ニ依リテ法規ノ適用ヲ異ニスレハナリ其例ハ殆ント商法全部ヲ通シテ存スルモ今其或モノヲ示スヘシ

- 一 或行爲カ商行爲ナルトキハ之ニ關スル事項ニハ先ツ商法ヲ適用シ商法ニ規定ナキトキハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用スルモ非商行爲ナルトキハ直チニ民法ヲ適用ス又公法人ノ或行爲ニシテ商行爲ナルトキハ商法ヲ適用スルモ非商行爲ナルトキハ商法ヲ適用セス
- 二 或人ノ業トスル行爲カ商行爲ナルトキハ其者ヲ商人トシ之ニ伴ヒテ種々ノ權利義務ヲ生スルモ非商行爲ナルトキハ其者ヲ商人トセス
- 三 或社團ノ業トスル行爲カ商行爲ナルトキハ其社團ハ當然會社ト爲ルモ非商行爲ナルトキハ民事法人ト爲リ唯營利ノモノハ法ノ特別規定ニ依リテ會



社ト看做サルノミ採鑛汲油捕魚製氷等ヲ目的トスル營利法人ハ其例ナリ  
 四 或行爲カ商行爲ナルトキハ之ニ因リテ生スル債務ノ法定利率ハ六分ナル  
 モ非商行爲ナルトキハ五分ナリ又商行爲ナルトキハ債權ハ五年ノ時効ニ因  
 リテ消滅スルモ非商行爲ナルトキハ十年ノ時効ニ罹ル  
 五 或船舶ノ航海ノ目的カ商行爲ナルトキハ海商法上ノ船舶ト爲リテ當然海  
 商法ヲ適用セラルモ非商行爲ナルトキハ其以外ノ私船トシ特別法規ニ依リ  
 テ海商法ヲ準用セラル

商行爲ヲ區別スル方法ニハ種々アリ商法學者ハ詳細ニ之ヲ示スモ我商法ノ適  
 用ニ多クノ利益ナシ今其重ナルモノヲ舉ケン

第一 固有商行爲ト補助商行爲

此區別ハ沿革上ノ理由ヨリ生シ法律的ヨリモ經濟的ノ區別ナリ商行爲ノ區  
 別ヨリモ寧ロ商業ノ區別ナリ一方ニ賣買及ヒ之ニ類スル行爲ヲ置キテ固有  
 商行爲トシ其他ノモノヲ補助商行爲ト云フナリ初メハ商行爲ハ商事賣買ヲ  
 意味シ取次運送等ハ賣買ヲ補助スルモノトセラレタリ後ニ之ヲモ獨立ノ商

行爲トシ次テ保險銀行等ニ關スル行爲ヲ生シテ同シク獨立ノ商行爲ト爲リ  
 タルモ何レモ畢竟ハ賣買交換等ノ行爲ヲ補助スルニ過キストシテ補助商行  
 爲ト云フナリ

然レトモ賣買ト其他ノ行爲ヲ對照シテ後者ヲ悉ク補助行爲ト云フハ不穩當  
 ナルノミナラス或行爲ニシテ賣買ノ補助行爲ト云ヒ得サルモノアルヲ以テ  
 此區別ハ十分ニ現在ノ商行爲ヲ分ツニ足ラス又假ニ此ノ如ク區別シ得タリ  
 トスルモ商法ノ適用ニ差異ヲ生セス

固有商行爲ヲ主タル商行爲ト云ヒ補助商行爲ヲ從タル商行爲ト云フ者アリ

第二 基本商行爲ト附屬商行爲

此區別ハ或行爲カ獨立シテ商行爲ト爲リ得ルカ或ハ商人ニ附屬スルニ因リ  
 テ商行爲ト爲ルカニ依リテ生ス獨逸商法ニハ商人トハ商業ヲ營ム者ヲ云ヒ  
 商業ヲ營ムトハ常業トシテ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ云フトセルヲ以テ其列舉  
 ノ行爲ハ人ヲ商人トスルモノ即チ基本商行爲ト爲リ之ニ反シ或行爲ハ商人  
 カ其行爲ヲ爲スカ故ニ商行爲ト爲リ同一ノ行爲タリトモ非商人カ爲ストキ



ハ商行爲ト爲ラス即チ商人ニ附屬シテ商行爲ト爲ルヲ以テ附屬商行爲トス  
ルナリ我商法ノ絕對商行爲及ヒ相對商行爲ハ獨逸學者ノ所謂基本商行爲ニ  
當リ附屬商行爲ハ日獨同一ナリ

第三 實體商行爲ト形式商行爲

此區別ハ行爲ノ内容ニ商行爲タル實質ヲ備フルカ或ハ行爲ノ方法ヨリ商行  
爲ト看做スニ過キサルカニ依リテ生ス實體商行爲ハ行爲ノ内容ニ商行爲タ  
ル實質ヲ有シ如何ナル方法ニテ之ヲ爲スモ商行爲ト爲ルモノナリ前掲ノ固  
有商行爲及ヒ基本商行爲ハ殆ント悉ク實體商行爲ト爲リ補助商行爲ニシテ  
之ニ入ルモノモ多シ形式商行爲ハ行爲自身ニ商行爲タル實體ヲ備ヘサルモ  
行爲ノ方法ハ商業的ナルニ依リテ商行爲ト爲ルモノナリ如何ナル方法ヲ商  
業的ト云ヒ得ルカハ人ニ依リテ解釋ヲ異ニスヘシ獨逸學者ハ商業登記簿ニ  
登記ヲ爲シ商業帳簿ヲ作り店舗ヲ備ヘテ行爲ヲ爲ストキハ商業的ニ爲スモ  
ノナリト云ヘリ實體商行爲ノ大多數ハ此方法ニテ爲サルモ形式商行爲ニ非

ス茲ニ形式商行爲ト云フハ行爲ノ内容ニ商行爲タル實質ヲ備ハサルニ其方  
法ハ商業的ナルヨリシテ商行爲ト看做サルモノニ限ル此區別ハ我商法ノ既  
明ニ不用ナリ

第四 一方商行爲ト雙方商行爲

此區別ハ或行爲ハ當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲ナルカ雙方ノ爲メニ商行爲  
ナルカニ因リテ生ス前者ヲ一方商行爲ト云ヒ後者ヲ雙方商行爲ト云フ多ク  
ノ場合ニハ商人ト非商人ノ爲ス行爲ハ一方商行爲ニシテ商人間ニ爲ス行爲  
ハ雙方商行爲ナリ然レトモ非商人カ利益ヲ得テ讓渡サント欲シテ商人ヨリ  
或物品ヲ買受タルコトアレハ商人間ニ贈與ヲ爲スコトアルヲ以テ必スシモ  
常ニ然リト云フヘカラス

若シ一國ノ法令ニシテ當事者一方ノ爲メニ商行爲ナルトキハ商法ヲ其一方  
ニ適用シ相手方ニハ之ヲ適用セストスルトキハ此區別ハ緊要ナルモ我國ハ  
一方商行爲ニ在リテモ雙方ニ商法ヲ適用スルヲ以テ此區別ノ實益ナシ

第五 絕對商行爲ト相對商行爲



此區別ハ我商法ニ採用セルモノナリ我國ハ之ニ附屬商行爲ヲ附加ス絶對相對ノ二者ハ基本商行爲ノ細別ナリ

此ノ如ク商行爲ヲ分類スルモ商法ノ適用ニ關シ多クノ實益ナク又學理ノ説明ニモ其利益大ナラス重ナル區別ニシテ然リトスレハ他ノ區別ハ示スニ足ラス尙ホ前記ノ區別ハ交叉的區別ニシテ商行爲ハ甲ノ如クニモ區別シ得レハ乙ノ如クニモ區別シ得ラル決シテ一ノ區別ハ他ノ區別ヲ排斥スルニ非ス隨テ或行爲ハ固有商行爲ニシテ基本商行爲タリ同時ニ雙方商行爲タルコトアリ他ノ商行爲ハ補助商行爲ニシテ基本商行爲タリ同時ニ一方商行爲タルコトアルナリ

### 我商法ノ商行爲

我商法ハ商行爲ヲ列舉セリ之ヲ分類シテ三種トス絶對商行爲相對商行爲及ヒ附屬商行爲此ナリ眞ノ絶對商行爲ハ孤立シテ商行爲ト爲リ得ル行爲ニシテ商行爲ト爲ルニ何等ノ條件ヲモ要セス何人カ爲スモ如何ナル事情ニ於テ爲スモ何レノ場所ニ於テ爲スモ商行爲ト爲ルモノナリ手形ニ關スル行爲ノ如シ利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル有償取得ハ營利ナル主觀的條件ト有償ナル客觀

的條件ヲ要シ又取引所ニ於テスル取引ハ取引所ナル行爲ノ場所ヲ條件トスルヲ以テ眞ノ絶對商行爲ニ非ス然レトモ此ノ如ク理想的ニ分類スルトキハ却テ混雜ヲ來スヲ以テ他ノ標準ヲ採ラン相對商行爲ニ在リテモ理想的ニ分類スルトキハ第一種相對第二種相對等ト爲ルモ煩ヲ避クル爲メ亦他ノ標準ヲ採ラン

#### 第一 絶對商行爲

茲ニ絶對商行爲ト云フハ商法ニ商行爲トシテ單純ニ列舉シタル行爲ニシテ營業トシテ爲スト否トヲ問ハサルモノナリ左ノ如シ(二六三)

- 一 利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル動産、不動産若クハ有價證券ノ有償取得又ハ其取得シタルモノノ讓渡ヲ目的トスル行爲
- 此ハ商行爲中最モ重ナルモノニシテ前掲學理上ノ定義モ諸學者ノ下ス定義モ多クハ之ヲ注視ス商行爲ハ動産ノ取得又ハ讓渡ナリト云ハスシテ取得又ハ讓渡ヲ目的トスル行爲ナリト云ヒシハ直チニ取得セス或時期ニ取得スル契約ヲモ商行爲トスルヲ示ス爲ナリ

- 二 他人ヨリ取得スヘキ動産又ハ有價證券ノ供給契約及ヒ其履行ノ爲メニ



スル有償取得ヲ目的トスル行爲  
 供給契約ハ將來ニ財産ヲ移轉スヘキ契約ナリ其財産ハ他人ヨリ取得スヘキモノタルヲ本則トヌ本則ト云フハ自己ノ財産ヲ以テ供給契約ヲ履行スルモ必スシモ不履行トセサルヲ意味ス商行爲ノ目的ハ動産又ハ有償證券ニ限ル

三 取引所ニ於テスル取引

文明國ハ何レモ取引所ナル商業機關ヲ認メ我國モ亦取引所法ヲ設ケテ株式米穀商品等ノ取引ヲ爲サシム取引所ニ於テスル取引ノ重ナルモノハ定期取引ナリ定期取引ハ更ニ履行ノ時機ニ依リテ一ヶ月限り、二ヶ月限り、三ヶ月限りノ三種ニ分タレ略シテ當限リ（ワキガキ）、中限リ（ナカガキ）、先キ物ト云フ限月ノ長キハ投機熱ヲ盛ナラシメ經濟上害アリト云フ者ト然ラスト云フ者アリテ今尙論争スル所ナリ定期取引外ニハ延取引及ヒ直取引アリ

四 手形其他ノ商業證券ニ關スル行爲

商業證券ノ何タルカハ有償證券ノ何タルカト共ニ商法ニ明示セサル難問

ナリ商法ハ商業證券ニ關スル行爲ヲ商行爲トストシ手形ヲ其一例トスルニ過キササルヲ以テ法文ヲ根據トシテ商業證券ヲ説明スルニ由ナシ之ヲ定義シテ商業證券ハ商人カ取扱フ證券ナリ、商人カ商業ニ關シテ取扱フ證券ナリ、商人カ賣買ノ目的トシテ取扱フ證券ナリ、商人カ專ラ取扱フ證券ナリト云フ者等アルモ何レモ不十分ナリ又商業證券ハ船荷證券、倉荷證券、貨物引換證券ナリト列舉スル者アレトモ學理的價值ナシ已ムナクンハ商業ヲ本位トシ商業證券ハ專ラ商業ノ目的ト爲リ得ル證券ナリトシ何カ果シテ此目的ト爲ルカヲ實際ノ解釋ニ委センカ  
 商法ハ商行爲ハ商業證券ヲ目的トスル行爲ナリトスルハ狹キニ失ストシテ商業證券ニ關スル行爲トシタリ然レトモ關スルト云フハ極メテ廣キヲ以テ解釋ニ當リテ適當ノ範圍ニ限縮セサルヘカラス

第二 相對商行爲

茲ニ相對商行爲ト云フハ商法ニ列舉シタル行爲ニシテ營業トシテ之ヲ爲ストキ商行爲ト爲ルモノナリ營業トシテ爲ストノ條件ヲ要スルヲ以テ相對ト



爲ル

四八八

相對商行爲ヲ三大部ニ區別スルコトヲ得嚴正ナル區別ニ非サルモ記憶ニ便ナリ(一)專ラ有體物ニ關スル行爲トシテ質貸借、電氣、瓦斯ノ供給、場屋ノ取引及ヒ寄託ヲ入レ(二)專ラ金錢ニ關スル行爲トシテ銀行取引及ヒ保險ヲ入レ(三)專ラ勞務ニ關スル行爲トシテ製造加工、運送、請負、出版印刷、攝影、仲立、取次及ヒ代理ヲ入ル此ノ如ク分類シ得ルモ說明ハ商法ニ列舉スル順序ニ從フ

一 質貸スル意思ヲ以テスル動産若クハ不動産ノ有償取得若クハ質借又ハ其取得若クハ質借シタルモノノ質貸ヲ目的トスル行爲

二 他人ノ爲メニスル製造又ハ加工ニ關スル行爲

直接ニ他人ノ爲メニ製造スルコトヲ要ス直接ニ自己ノ爲メニ製造シ間接ニ他人ノ爲メニスルトキハ本號ノ商行爲ト爲ラス又專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ製造スル者ノ行爲ヲ商行爲トセス小職人等ノ爲メニ此例外ヲ設ク

三 電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲

瓦斯ノ供給ハ有體物ノ給付ナリ電氣ノ供給ハ勞力ノ給付又ハ請負ト見ル

ヲ得ルモ何レニスルモ其供給ニ關スル行爲ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲ト類スルヲ以テ同一ニ規定ス茲ニ供給ト云フ語ト絕對商行爲ニテ供給契約ト云ヘル供給トハ其意義及ヒ範圍ハ稍異ナレリ

四 運送ニ關スル行爲

運送ニ關シテハ商法ニ運送營業ナル特別規定ヲ置キタリ運送ハ多クハ其營業者ノ爲ス行爲ナルモ其以外ニ在リテ而モ營業トシテ運送ニ關スル行爲ヲ爲ストキハ其行爲ハ悉ク商行爲ナリ

五 作業又ハ勞務ノ請負

專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ勞務ニ服スル者ノ行爲ヲ商行爲トセス勞働者ノ爲メニ此例外ヲ設ク故ニ本法ニ勞務ノ請負ト云ヘル勞務ハ自己ノ勞務タルト他人ノ勞務タルトヲ問ハサルモ適用ハ殆ント他人ノ勞務ヲ請負ノ目的トスル場合ト爲ラン

六 出版印刷又ハ撮影ニ關スル行爲

他國法ニハ未タ撮影ヲ入レサルモ我國ハ文運ノ進歩ニ伴ヒテ之ヲ明記シ



タリ

四九〇

七 客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引

場屋ノ取引トハ場屋自體ヲ行爲ノ目的トスルニ非スシテ場屋ヲ設備シ客ヲ來集セシメテ入場料、觀覽料、傍聽料等ヲ取得スル行爲ナリ

八 兩替其他ノ銀行取引

兩替ハ金銀ノ交換ナリ商法ハ之ヲ銀行取引ノ一例トス  
銀行取引ノ何タルコトニ關シテハ裁判所ト學者ノ意見異ナリテ裁判所ハ專ラ銀行條例第一條ニ證券ノ割引ヲ爲シ又ハ爲替事業ヲ爲シ又ハ諸預及ヒ貸付ヲ併セ爲ス者ハ之ヲ銀行トスト云ヘルヨリ解セントシ學者ハ商法ノ銀行取引ヲ獨立ニ解セントセリ其最モ大問題ト爲レルハ金貸業者ノ爲ス金銀貸付ハ銀行取引ナルヤ否ヤニ在リ  
裁判所ハ銀行取引タルニハ預リ及ヒ貸付ヲ併セ爲スヲ要スルニ金貸業者ニシテ自己ノ所有金ヲ貸付タル者ハ此要件ヲ充タササルカ故ニ銀行取引ニ非スト云ヘリ然レトモ商法ノ銀行取引ハ必スシモ銀行條例ニテ銀行ト

名ツクル者ノ爲ス取引ト解スルニ及ハス商法ニ銀行取引ナル文字ヲ特製シタリトシテ獨立ニ解シテ可ナリ而シテ兩替ヲ其一例トセルヨリ推シテ兩替ニ類マル金貸ヲモ銀行取引トシテ可ナリ

### 九 保險

商法ハ特ニ保險營業ト題シテ損害保險及ヒ生命保險ヲ規定シ損害保險ノ中ニテ特ニ火災保險、運送保險及ヒ海上保險ニ關シテ規定ス然レトモ此三營業者ノ爲ス保險以外ノ保險タリトモ營業トシテ爲ストキハ商行爲ト爲ルナリ

### 十 寄託ノ引受

最モ重ナルモノハ倉庫營業者ノ爲ス寄託ノ引受ナリ運送、保險等ニ關シテハ單ニ運送又ハ保險ト云ヒ寄託ノミニ關シテハ殊更ニ寄託ノ引受ト云ヒタルハ奇ナリ

### 十一 仲立又ハ取次ニ關スル行爲

仲立ニハ他人間ノ商行爲ヲ媒介スルモノアリ商法ニ特ニ仲立人ノ爲ス行



爲トシテ規定セルモノ是ナリ然レトモ此外ニモ仲立アリテ之ヲ業トスル  
トキハ其者ノ行爲ハ商行爲ナリ又商法ニ明カニ取次ナル文字ヲ示シテ規  
定セルモノハ運送取扱人ノ取次行爲ナレトモ其他ノ取次行爲モ商行爲ト  
爲ルナリ

十二 商行爲ノ代理ノ引受

仲立及ヒ取次ニ關シテハ如何ナル行爲タルヲ問ハサルモ代理ニ至リテハ  
代理スヘキ行爲ヲ商行爲ニ限リタリ最モ著ルシキモノハ代理商ノ爲ス代  
理ナルモ其外ニモ尙多クアリ

以上十二種ノ行爲ハ營業トシテ爲ストキハ商行爲ナリ但專ラ資金ヲ得ル目  
的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ此限ニ在ラス此但書ハ主  
トシテ前掲ノ(二)他人ノ爲メニスル製造(五)勞務ノ請負ニ適用セラレ即チ營業  
トシテ爲スモ小職人勞働者等ノ行爲ハ商行爲トセサルナリ隨テ最多ノ適用  
ハ此二場合ニアルモ既ニ第二六四條全體ノ但書ト爲レルヲ以テ總テノ場合  
ニ通スト云ハサルヘカラス

相對商行爲ハ十二種ニ列舉セラレトモ其各種中ニ數個ヲ含蓄スルモノア  
ルヲ以テ細密ニ舉クルトキハ其數實ニ數十個ト爲ルヘシ殊ニ製造又ハ加工  
電氣又ハ瓦斯ノ供給運送等ニハ關スル行爲ト云ヘルヲ以テ極メテ汎漠ト爲  
ルナリ或ハ營業トシテ爲ス行爲タル點ヨリ限定セラル所アランモ解釋ノ際  
ニハ注意スヘシ

第三 附屬商行爲

茲ニ附屬商行爲ト云フハ商人カ其營業ノ爲メニスル行爲ナリ(二六五)商人カ  
利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テ動産ヲ買受クルハ絶對商行爲ニシテ附屬商行  
爲ニ非ス又運送人カ運送契約ヲ爲シ電氣商人カ電氣供給ヲ約スルハ相對商  
行爲ニシテ附屬商行爲ニ非ス此等ノ行爲ハ何人カ爲スモ商行爲ニシテ或人  
カ之ヲ爲スカ故ニ彼ヲ商人トスルナリ之ニ反シテ第三種ノモノハ商人カ營  
業ノ爲メニ爲ストキハ商行爲ト爲リ他ノ者カ營業ノ爲メニ爲スモ商行爲ト  
爲ラス商人ノ營業ニ附隨シテ生スルヲ以テ附屬商行爲ト云フナリ  
商人ノ爲ス行爲カ營業ノ爲メナルトキハ商行爲ト爲リ否ラサルトキハ商行



爲ト爲ラス之ニ伴ヒ法律ノ適用ヲ異ニスルヲ以テ或行爲ハ何レニ屬スルカ  
ヲ判斷スル必要大ナリ到底ハ事實問題ナルモ法律ハ一應ノ標準ヲ與ヘ商人  
ノ行爲ハ其營業ノ爲メニスルモノト推定ス即チ或行爲ハ商行爲ト推定セラ  
ルナリ之ヨリ推定商行爲ナル名稱ヲ附スル者アレトモ推定ハ證據ニ關スル  
モノニシテ之ニ依リテ殊更ニ商行爲ノ名稱ヲ作ルハ不可ナリ

商法ニ商行爲ト名クルモノハ之ニテ盡キタリ然レトモ或行爲ハ商法ニ附セザ  
ル名稱ヲ有シテ而モ商行爲ナルコトアリ又或行爲ハ商法ニ示セル行爲ノ二三  
ヲ合シテ商行爲ト爲ルコトアリ例ハ旅館營業者ノ行爲中ニハ利益ヲ得テ讓渡  
ス意思ヲ以テスル動産ノ取得又ハ讓渡アラシテ質貸スル意思ヲ以テスル不動産  
ノ質借又ハ質貸アラシテ或ハ二者ノ合併ト見ルヘキモノアラシ又商行爲ニ非サ  
ルモ商行爲ニ關スル規定ヲ準用スル旨ヲ商法ニ規定セラルルモノアリ營利法  
人ニシテ會社ト見做サルモノノ行爲ノ如シ(二八五ノ二)

尙商法ニテ商行爲トスルモノノ外ニ特別法令ニテ商行爲トシ商法上ノ商行爲  
ト同一ノ適用ヲ受クルモノアリ例ハ社債擔保ノ信託ヲ引受クルカ如シ

商行爲ニ關シテハ多クノ特別規定アリ其中表題ヲ有スルモノハ其題下ニ讓リ  
茲ニハ總則ノ下ニ雜集セルモノヲ分類シテ説明スヘシ何レモ民法ニ對スル特  
別規定ナリ

### 代理

一般ノ代理ニハ民法ノ規定ヲ適用スルコトトシ商行爲ノ代理ニ關シテ特ニ規  
定ス

商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人  
ニ對シテ其效力ヲ生ヌ(二六六)通常ノ場合ニハ代理人ハ本人ノ爲メニスルコト  
ヲ示シテ或行爲ヲ爲シ本人ハ之ニ依リテ權利義務ヲ得ルモ商行爲ニハ迅速ヲ  
要スルヲ以テ代理人ヲシテ本人ノ爲メニスルコトヲ示サスシテ行爲ヲ爲シ而  
モ本人ヲシテ權利義務ヲ得セシムルナリ法文ニハ其行爲ハ本人ニ對シテ效力  
ヲ生ストシ本人ニ義務ノ生スル點ヨリ云フカ如キモ本人ハ其行爲ニ因リテ同  
時ニ權利ヲ取得スルナリ

代理人ノ行爲ニ因リテ本人及ヒ相手方ニ權利義務ヲ生スルハ相手方カ代理行



爲タルコトヲ知ルト否トニ拘ハラサルモ若シ相手方ニシテ其行爲カ本人ノ爲メニスルコトヲ知ラサリシトキハ相手方ハ合セテ代理人ニ對シテモ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得トシ以テ善意ノ第三者ヲ保護ス隨テ代理人カ相手方ヨリ請求セラレタルトキハ債務ヲ履行スヘク而シテ更ニ本人ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ルカ否カハ本人ト代理人ノ關係如何ニ依リテ定マル

商行爲ノ委任代理人ノ權限ハ普通ノ場合ヨリ廣大ニシテ又其代理權ハ普通ノ場合ヨリモ長ク存ス普通ノ場合ニハ部理代理權ハ特定ノ事項ヲ處理シ得ルニ止マリ唯緊要ノ際ニ擴張シ得ルノミナルモ商行爲ノ受任者ハ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内ニ於テハ委任ヲ受ケサル行爲ヲ爲スコトヲ得(二六七)是レ商行爲ハ迅速ヲ要シ又其代理權ノ授與ハ簡易ナルヲ通常トスルヲ以テ之ニ應シタルナリ民事行爲ニ在リテモ漸々此傾向ヲ生シ殊ニ我民法ハ受任者ノ權限ヲ増大シタルモ未タ法文ヲ以テ委任ヲ受サル行爲ヲ爲スコトヲ得ト云フニ至ラサルナリ代理人ハ委任ヲ受ケサル行爲ヲ爲シ得ルモ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内タルヲ要ス隨テ多クハ事情避クヘカラサルカ損害ヲ防止スルニ必要ナルカ指

定セラレタルヨリ一層多クノ利益ヲ得ル場合等ナラン

委任代理人ノ代理權ハ本人ノ死亡ニ因リテ消滅セス(二六八)委任代理權ハ特定人間ニ授受セラレ専ラ相互ノ信用ニ基クテ以テ當事者ノ何レカ一方死亡スルトキハ當然消滅スヘキ理ナルモ商行爲ニ此原則ヲ貫クトキハ商業ヲ遲緩ナラシメ却テ本人ノ不利益ト爲ルヲ以テ例外ヲ設ケタリ本人死亡スルトキハ代理人ハ相續人若クハ之ニ當ル者ノ爲メニ代理スルナリ時トシテハ代理人ハ商業ノ代理ヲ爲スナリ商業ヲ人ノ如ク見ルナリト云フ者アリ比喻トシテハ可ナルモ正確ナル法律論ニ非ス人ナクシテ代理人アリ得ス而シテ人ニハ自然人及ヒ法人ノ外ナキヲ以テ委任者カ死亡シタルトキハ代理人ハ相續人若クハ之ニ當ル者ノ爲メニ代理スルコトト爲リ彼等ハ本人ト爲リテ代理行爲ノ結果ヲ受ク若シ其代理人ヲ不適當ト信スレハ直チニ解任スヘキノミ

代理人ノ死亡ニ因リテ代理權ノ消滅スルコトハ民法ニ於ケルト同シ

契約ノ取結

契約ハ對話者間又ハ隔地者間ニ取締フコトアリ商人カ其營業ニ關シ又ハ之ニ



關セシテ取結フコトアリ商法ハ此等ノ場合ニ付キ特別規定ヲ爲セリ法文ニハ單ニ對話者間又ハ隔地者間ノ契約トシ其契約ノ商行爲ナルコトヲ示ササルモ商行爲編ニ於テ一般契約ノ規定ヲ爲ス理由ナク又一般ノ契約ニハ此ノ如キ規定ヲ適用スヘカラサルヲ以テ商行爲タル契約ノミニ適用スルモノト解スヘシ

商行爲契約ニ關シ對話者間ニ於テ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ直チニ承諾ヲ爲ササルトキハ申込ハ其效力ヲ失ヒ隔地者間ニ於テ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ相當ノ期間内ニ承諾ノ通知ヲ發セサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ(二六九、二七〇)是レ承諾期間ヲ定メヌシテ申込ミタル場合ナリ之ヲ定メタルトキハ其期間ノ終ルマテ申込ハ存在ス此點對話者間ト隔地者間トノ間ニ差ナキニ我商法ハ隔地者間ノ場合ニノミ承諾期間ノ事ヲ云ヒシヲ以テ世人ノ疑ヲ招クナリ之ヲ商行爲契約ノ一般規定トシ商人カ營業ニ關シテ申込ヲ受ケタル場合ハ之ニ異ナレリ

商人カ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルト

キハ遲滞ナク諾否ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス若シ之ヲ發スコトヲ忘リタルトキハ其申込ヲ承諾シタルモノト看做ス(二七一)申込人ヲ保護スルモノニシテ一般商業ノ狀況ニ伴フ規定ナリ或人カ自己ト平常取引ヲ爲ス商人ヨリ其商人ノ營業トスル物品ヲ買入レントシテ申込ヲ爲シ商人カ其申込ヲ受ケナカラ拒絕ノ通知ヲ發セサルトキハ申込人ハ商人カ承諾セリト見ルハ當然ナリ此ノ如キ申込ヲ受ケタル商人ハ諾否ノ通知ヲ發スル本分ヲ有スルニ之ヲ忘リタルトキハ申込ヲ承諾シタルモノト看做サルハ己ムヲ得サルヘシ  
商人カ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ申込ト共ニ受取リタル物品アルトキハ其申込ヲ拒絕シタルトキト雖モ申込人ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルコトヲ要ス(二七二)商人ニ對シ其營業ニ屬スル契約ノ申込ヲ爲スト同時ニ物品ヲ送付スルハ其商人ヲ信賴セルナリ故ニ商人ヲシテ其信賴ニ背カスシテ物品ヲ保管セシム商人カ申込ト共ニ物品ヲ受取リタルトキハ保管ノ責ヲ負フモ必スシモ之ヲ受取ルニ及ハサルヲ以テ申込ノミヲ受ケテ物品ヲ拒絕スルコトヲ得又受取リタル後ニ其物品ノ價額カ其費用ヲ償フニ足ラサルカ或



ハ商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受クヘキトキハ之ヲ保管スルヲ要セス

五〇〇

### 報酬及ヒ利息

商行爲ハ其本質ヨリ云フトキハ營利行爲ナリ商人ハ其資格ニ於テハ營利事業ヲ爲ス者ナリ法律ノ規定ヲ以テ商行爲又ハ商人ノ範圍ヲ擴張スルコトアリトスルモ何レモ之ト同視スヘキカ或ハ之ニ類似スルモノナリ隨テ凡テノ商行爲及ヒ商人ニ關シ報酬及ヒ利息ノ特別規定ヲ生スルハ偶然ニ非ス商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲シタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得(二七四)營業ノ範圍内ニ限リシハ其範圍内ニ於テコソ營利ノ觀念アレ他ノ點ニ在リテハ通常人ト同一ナレハナリ營業ノ範圍内ニ於テ爲ス行爲ニハ法律行爲アリ否ラサル行爲アリ或意味ニ於テハ金錢ノ立替モ此中ニ入ル

商人間ニ於テ金錢ノ消費貸借ヲ爲シタルトキハ貸主ハ法定利息ヲ請求スルコトヲ得(二七五)非商人ハ無償ニテ金錢ヲ貸借スルハ通常ナルモ商人間ニハ利息ヲ請求スルヲ通常トスルヲ以テ此規定ヲ設ク其貸借ハ營業ノ範圍内ナルト否

トヲ問フコトナシ商法ニハ商人カ營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其立替ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得ト云ヘリ立替者ハ商人ナレハ相手方ハ何人タルモ可ナリ唯立替ハ營業ノ範圍内ナルヲ要スルノミ此レ前述ノ報酬請求權ノ一例ニ過キサレニ特ニ明文ニ示シタルハ金錢ノ立替ハ或行爲ヲ爲シタルモノト云ヒ得ルカ疑ハシク假ニ云ヒ得トスルモ原則ノ儘ニテハ報酬ノ額ハ不明ナルヲ以テ法律ニ一定シテ法定利息トシタルナリ商人ハ法定利息以外ニ何物ヲモ請求スルコトヲ得ス商法ニ於テ報酬ヲ與フヘキ場合トシテ明記スルモノハ上述ノ二場合ニ過キス余ハ一步ヲ進メ商行爲ニ關シテ勞務ヲ供シタル者ハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得ル旨ヲモ明記センコトヲ望ム

商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ法定利息ハ六分ナリ(二七六)民法ノ五分ニ比シテ多キハ經濟上及ヒ商業上ノ理由ニ出テ何國ニテモ同様ナリ此利息ノ適用ヲ受クルモノハ商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ限ルヲ以テ前掲ノ商人間ノ消費貸借タリトモ苟クモ非商行爲ナルトキハ之ヨリ生スル債務ノ法定利息ハ五分



### 債權ノ擔保

商行爲ニ因リテ生シタル債權ノ擔保ニシテ本編ニ規定セルモノ三個アリ其中ノ或モノハ凡テノ商行爲債權ヲ擔保シ或モノハ特ニ或種ノ商行爲債權ノミヲ擔保ス而モ之ニテ盡クルニ非スシテ或債權ニハ尙他ノ擔保權ヲ生シ得ルナリ例ハ船舶抵當權ノ如シ三個ノ擔保中一ハ對人擔保ニシテ他ノ二ハ物上擔保ナリ

#### 一 連帶

數人カ商行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス(二七三)其商行爲ハ全員ノ爲メニ商行爲タル場合ハ勿論一人ノ爲メニ商行爲タル場合タリトモ全員ヲ連帶トス是レ商行爲債權ノ辨濟ハ成ルヘク鞏固ニスル必要アルト或者ノ爲メニハ商行爲ニシテ他ノ者ノ爲メニハ否ラサル場合ニ一々區別シ連帶ヲ商行爲者間ニ限ルトキハ債權者ハ屢其甄別ニ苦ムカ故ナリ但數人カ同一行爲ヲ以テ債務ヲ負擔スルヲ要ス一人カ或行爲

ニ因リテ債務ヲ負擔シ他人カ他ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔スル場合ニハ債務者ノ間ニ連帶責任ヲ生セス

債務カ主債務者ノ商行爲ニ因リテ生シタルトキ又ハ保證カ商行爲ナルトキハ其債務ハ主債務者ト保證人ト連帶シテ之ヲ負擔ス亦債權者ヲ保護スル爲メナリ或者カ商行爲ヲ爲シテ債務ヲ負ヒ他ノ者カ之ヲ保證スルコトアリ又或者カ非商行爲ヲ爲シ他ノ者カ之ヲ保證シテ保證ハ商行爲ナルコトアリ後者ノ例ハ少ナキモ漸ク生シツツアリ例ハ銀行ノ爲ス保證ノ如シ而シテ此等ノ債務ハ主債務者ト保證人ト同一行爲ヨリ生スルコトアリ各別行爲ヨリ生スルコトアリ凡テノ場合ニ主從ノ債務者ヲ悉ク連帶トス隨テ保證ハ主債務者ト保證人トノ關係ニ止マリ債權者ニ對シテハ所謂保證人ナル從債務者ナシ數人ノ保證人中保證ハ一人ニノミ商行爲ナル場合ニモ同一行爲ヲ以テ保證ヲ爲ストキハ凡テノ保證人ヲ連帶トシ各別行爲ヲ以テ爲ストキハ他ノ保證人ハ連帶債務ヲ負ハス

#### 二 質權



商法ノ質權ハ民法ノ質權ト其本質ヲ異ニセス然レトモ民法ニ於テ質權設定者ハ法律ニ定メタル方法ニ依ラスシテ質物ヲ處分セシムルコトヲ約スルコトヲ得ストシ又設定行爲又ハ債務辨濟前ノ契約ヲ以テ質權者ニ辨濟トシテ質物ノ所有權ヲ取得セシムルコトヲ得ストシテ流質契約ヲ禁シタルヲ商法ニテ許シタル蓋アリ(二七七)故ニ時トシテハ殊更ニ商法上ノ質權ト稱スル者アルモ特殊ノ質權ト誤解スヘカラス

### 三 留置權

債權者ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ニ關シ民法ニ規定スル留置權ヲ有スル外商法ニ基キ債權ノ辨濟ヲ受クルマテ債務者所有ノ物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得(二八四)債權ノ爲メニ物ヲ留置シテ辨濟ヲ受クルヲ以テ名ケテ留置權ト云ヒ商法上ノ留置權ト稱シテ民法ノ留置權ト對照ス  
 民商ノ留置權ニハ差異アリ民法上ノ留置權ハ債權カ物ニ關シテ生スルヲ要スルモ商法上ノ留置權ニハ債權カ物ニ關シテ生スルヲ要セス物ト債權トノ間ニ「コンネツキシテ」トヲ要セサルナリ又民法上ノ留置權ハ法律ノ規定ニ

因リテ當然生シ當事者ノ意思ヲ以テ豫メ拋棄シ得サルモ商法上ノ留置權ハ當事者カ發生ヲ欲セサルトキハ發生セス故ニ或學者ハ商法上ノ留置權ハ眞ノ留置權ニ非スト云ヘリ然レトモ商法ニ生シタル一種ノ擔保權ナルヲ以テ商法上ノ留置權ト稱スルモ可ナリ此留置權ハ民法ノ留置權ト異ナル外商及ヒ問屋ノ有スル特別留置權トモ異ナレリ  
 商法上ノ留置權ハ(一)商人間ニ(二)其雙方ニ商行爲タル行爲ヨリ生シタル債權カ(三)其辨濟期ニ在ルトキ(四)辨濟ヲ受クルマテ(五)其債務者トノ間ニ於ケル商行爲ニ因リテ自己ノ占有ニ歸シタル(六)債務者所有ノ物又ハ有價證券ヲ留置スル權ナリ此意義ヨリシテ留置權ノ發生スル場合之ヲ行使スルコトヲ得ル場合及ヒ權利ノ及フ目的ノ範圍ヲ推知スヘシ

### 債務ノ履行

商行爲債務ヲ履行スヘキ場所ハ履行當時ニ於ケル債權者ノ營業所トシ營業所ナキトキハ住所トス(二七八)履行ノ場所ヲ債權者ノ住所トスル點ハ民法ト等シク商法ニ特別トスル所ハ營業所ヲ住所ヨリ先キニセルニ在リ本店及ヒ支店アル



トキハ本店ニ於テ履行スヘク支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ其支店ヲ營業所ト看做ス

之ヲ原則トシ若シ行爲ノ性質ニ依リテ他ノ場所カ定マルトキハ其場所ニ於テシ當事者カ或場所ヲ定メタルトキハ其場所ニ於テシ特定物ノ引渡ハ行爲ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テス

商行爲債務ヲ履行スヘキ時期又ハ其履行ヲ請求シ得ル時期ハ大體ニ於テ民法ニ從フコトトシ商法ハ進ンテ法令又ハ慣習ニ依リ取引時間ノ定アルトキハ其取引時間内ニ限リ履行ヲ爲シ又ハ其履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得トセリ殆ント言フ俟タス(二八三)此場合ニハ單ニ債務ト云フヲ以テ商行爲債務ニ限ラサル如ク見ユルモ一般債務ノ履行期ヲ商法ニ規定スル理由ナク又前後ノ規定ヨリ推シテ商行爲債務ニ關スルモノト解スヘシ

### 指圖債權及ヒ無記名債權

債權ニハ指名、指圖及ヒ無記名ノ三種アリ記名持參人債權ハ此中ノ何レニモ入ラス從テ之ヲ加フルトキハ債權ノ種類ハ四種ト爲リ民法ハ悉ク之ヲ認ム商法

亦悉ク之ヲ認メ且各自ニ應スル證券ヲモ認ムレトモ記名持參人證券ノ中ニテ適用ノ最モ多キモノニ無記名證券ト同一ノ效力ヲ附シタルヲ以テ實際ノ適用ニ當リテハ之ヲ無記名債權中ニ入ルモ殆ト不可ナシ舊規定ハ二者ヲ稍著ルシク區別シ記名持參人債權ニハ無記名債權ノ或規定ヲ準用スルニ止マリシテ改正規定ニテ擴張シタルナリ改正規定ハ先ツ手形ニ關シテ規定シ後ニ他ノ證券ニ準用シタリ之ヲ法文ニ辨當スルトキハ「證券ニ債權者ノ氏名又ハ商號ト共ニ其證券ノ所持人カ辨濟ヲ受クルコトヲ得ヘキ旨ヲ記載シタル證券ハ無記名證券ト同一ノ效力ヲ有スト爲ルヘシ(二八二、四四九ノ二)此適用ハ有價證券ニ限リ他ノ證券ニ及ハス又金錢其他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル證券ニ限リ他ノ事物ヲ目的トスル證券ニ及ハス故ニ理論上其範圍狹キモ實際ニ問題ト爲ルハ殆ト此等ノ證券ノミナルヲ以テ實際ノ點ヨリシテハ改正規定ハ凡テノ記名持參人證券ヲ無記名證券ト同視シタリト云フモ可ナリ隨テ後ノ説明ニシテ無記名債權ニ關シテ爲スモノノ中ニハ記名持參人債權モ入ルト知ルヘシ商行爲ニ因リテ生シタル指圖債權及ヒ無記名債權ハ債務者ノ現時ノ營業所ニ



於テ辨濟シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ辨濟ス(二七八)一般ノ債權ハ債權者ノ所ニ於テ辨濟スヘキモ此二種ノ債權ハ證券ノ裏書又ハ交付ノミニテ轉讓シ債務者ニ通知セスシテ其讓渡ヲ債務者ニ對抗シ得ルヲ以テ債務者ハ如何ニ勤勉ナルモ自己ノ債權者ヲ知ルヲ得サレハナリ故ニ民法ニモ此種ノ債權ハ債務者ノ所ニ於テ辨濟セシムルコトトシ決シテ商法ニ特別ニ非ス商法ハ唯債務者ノ所ヲ定メテ現時ノ營業所トシ營業所ナキトキハ住所トシタルノミ第二七八條第二項ニハ單ニ指圖債權ト云フモ前後ノ規定ニ依リテ商行爲債權ナルヲ知リ又辨濟ハ債務者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スヲ要ストシテ義務ノ方面ヨリ規定スレトモ意味ニ於テハ債權者ハ債務者ノ營業所ニ於テ請求スヘシトスルト同一ニシテ即チ其債權ノ取付債權ナルコトヲ知ルナリ

二種ノ債權ハ呈示證券債權ナリ呈示證券債權トハ債權ヲ行使シテ履行ヲ請求スルニハ證券ノ呈示ヲ必要トスルモノナリ所持人カ債權ヲ行使シ債務者ヲシテ遲滯ノ責ニ任セシムルニハ證券ヲ呈示スルコトヲ要ス(二七九)手形ヲ呈示證券ト云フ者ハ多ク此規定ヲ採用スルモ手形ニハ指名式即チ裏書禁止ノモノモ

アルヲ以テ此規定ノミニテハ足ラス

債權者カ履行ヲ請求スルニハ證券ヲ呈スヘキコトハ債務ノ履行ニ付キ期限ノ定アル場合ト否トヲ問ハサルナリ期限ノ定アル場合ニハ其期限ノ到來シタル後ニ履行ヲ請求スヘキノミ

### 有價證券

有價證券ナル語ハ商法ノ處々ニ顯ハレ又學者ノ切リニ論說スル所ナレトモ其發生ハ近來ノ事ニ屬シ隨テ學者ノ研究未タ十分ナラス

我商法ハ別ニ有價證券ト題シテ規定セサルヲ以テ之ヲ説明スヘキ場所ニ迷フ商行爲編ノ首メニ絶對商行爲ヲ列擧スルニ當リテ有價證券ノ取得又ハ讓渡トカ有價證券ノ供給契約及ヒ其取得トカ云ヒ運送寄託等ノ規定ニ有價證券ノ運送又ハ保管ト云フモ何レニモ特別ノ規定ナキヲ以テ不適當トシ茲ニ二三ノ特別規定ヲ得タルヲ以テ指圖債權無記名債權ニ次テ説明スルコトトシタリ

有價證券ニ關シテ法文ノ上ヨリ知リ得ル點ハ有價證券ハ取得讓渡供給契約又ハ留置權ノ目的ト爲ルコト運送及ヒ寄託ノ目的ト爲ルコト動産不動産以外ニ



存スル一種ノ財産ナルコト及ヒ高價品ナルコト等ニ過キス隨テ商法ノ上ヨリ正確ナル定義ヲ下シ難シ其代リニ不完全ノ定義ヲ下スモ必スシモ商法ニ違反ストモ云ヒ難シ或學者ハ有價證券ノ定義ハ到底下シ得スト云ヒテ有價證券タルモノヲ列舉セリ恰モ商行爲ノ完全ナル定義ヲ下シ得ストシ單ニ商行爲ト爲ルモノヲ列舉スルカ如シ而シテ其論者中何ヲ列舉スヘキカニ關シテ説ヲ異ニシ公債、社債、株券ノ如キ團體的證券ニシテ公定相場ノ存シ得ルモノニ限ル者ト此外ニ手形、船荷證券等ノ團體ニ關係ナク又公定相場ノ存シ得サルモノヲモ入ル者トアリ何レニスルモ列舉主義ハ學説トシテ評論スル價值ナシ

學説トシテ有價證券ヲ説明スルニ當リテ數説ヲ生ス

債權説ハ有價證券トハ一種ノ請求權ヲ記載シタル證券ナリト云ヘリ然レトモ此説ハ請求權即チ債權ト證券ノ間ニハ如何ナル關係ヲ要スルカヲ明カニセス且有價證券ハ債權ヲ記載シタル證券ナリト云フトキハ物權ヲ記載シタル證券及ヒ團體關係ヲ示セル證券ハ如何ニスヘキカ明カナラサルヘシ

財産説ハ有價證券ハ財産ナリ讀ミテ字ノ如ク價ヲ有スル財産ナリ故ニ苟クモ

價値ヲ有スル證券タル以上ハ其多少ヲ論セス悉ク有價證券ナリト云ヘリ此説ハ緊縮セハ或ハ良説ト爲ランモ此儘ニテハ不可ナリ有價證券ノ範圍ヲ擴大ナラシメ商法ニ豫想セサル多クノ有價證券ヲ生シテ法律ノ適用ニ困難ヲ感セシムヘシ

流通説ハ有價證券トハ裏書交付又ハ交付ヲ以テ讓渡サル證券ナリ英米法ニ於ケル流通證券ナリト云ヘリ此説ハ英米法ノ説明ニハ或ハ適センモ日獨法ノ有價證券ヲ説クニ適セス又或證券ハ有價證券ナルカ故ニ流通ヲ容易ナラシムルナリ流通ハ容易ナルカ故ニ有價證券トスルニ非ストノ批評ニ對シテ答ヘ難キ所アリ

尙種々ノ説アリテ何レモ幾分ノ眞理ヲ有スルモ一トシテ克ク我商法ニ豫想スル有價證券ヲ説明シ得ルモノナシ又何レモ今ノ學界ニ勢力ナシ今ノ學界ニ勢力アリテ對峙セルモノヲ權行説及ヒ權現説トス此二説トテモ決シテ完全ナルニ非ス商法及ヒ附屬法令ニ規定スル總テノ有價證券ヲ過不及ナク説明スルニ足ラス然レトモ他説ニ比シテハ多クノ事項ヲ説明スルニ足リ且現今學界ニ流



行セルヲ以テ何人モ其梗概ヲ知ルヲ要ス

權行説(私權行使説) 本説ハ獨人ブルンナー氏ノ唱道スル所ニシテ獨人中之ニ和スル者多シ英佛ノ學者ニハ未タ十分ニ批評セラレサルモ我國ニ入り來リテ諸學者ノ採用スル所ト爲リタリ曰ク有價證券トハ一旦或權利ニ關シテ證券ヲ作成シタル以上ハ其權利ヲ行使スルニハ必ス其證券ヲ占有セサルヘカラサル場合ニ存スル證券ナリ略言スレハ權利ノ行使ニ證券ノ占有ヲ要スル處ノ證券ナリ而シテ其占有ヲ要スルハ法令ノ規定ニ依ルヘク當事者ノ意思ニ依ラサルヲ以テ證券ノ範圍自ラ限定ス例ハ手形ハ一旦作成セラレタルトキハ手形上ノ權利ハ手形ヲ占有スルニ非サレハ行使スルヲ得ス支拂ヲ請求スルニハ必ス手形ヲ呈示スルヲ要スルカ如シ株券ハ株式ニハ常ニ必要ト云フヲ得ス株式アルモ株券ナキコトアリ然レトモ株券ヲ作成シタルトキハ無記名株ナルトキハ株主總會ニ出席スルニハ株券ノ交付ヲ要シ記名株ナルトキハ株式ノ質入ヲ爲スニハ株券ノ交付ヲ要スルカ故ニ此等ノ證券ハ有價證券ナリト

權行説ハ有價證券ノ多數ヲ説明スルコトヲ得然レトモ之ニ從フトキハ同種ノ證券ニシテ或場合ニハ有價證券ト爲リ他ノ場合ニハ有價證券ト爲ラサルコトアリ又些少ノ權利ヲ行使スルニ當リテ之ヲ要スル場合ニモ直チニ其證券ヲ有價證券トシ有價證券ノ範圍ヲ廣カラシムル弊アリ故ニ或者ハ有價證券ニ於テ權利ノ行使ト云フハ其權利ノ處分ヲ意味スト云ヒ手形ノ讓渡ニハ手形ノ交付ヲ要スルカ如シト云ヘリ然レトモ之ニ從フトキハ記名株券ハ有價證券ニ非サルモノト爲ル何トナレハ株式ノ讓渡ハ合意ヲ以テ成立シ株券ノ交付ヲ待タスシテ株式ハ讓受人ニ移轉スレハナリ權行説ニ屬スル學者中或者ハ權利ノ行使トハ權利ノ讓渡ニ限ルト云ヒ他ノ者ハ之ヲ狹シトシテ權利ノ一切ノ處分ナリトシ多數ノ學者ハ之ヲモ狹シトシテ處分ハ勿論自ラ權利ヲ保有シテ之ヲ行使スル場合ヲモ含ムト云ヘリ權利處分説ト云ハスシテ權利行使説ト云フ所以ナリ果シテ然ラハ權利ヲ如何ニ行使スルニ關シテ證券ノ占有ヲ要スルモノヲ有價證券トスルカノ問題ニ達着シテ數多ノ見解ニ分カル



權現說(私權化體說) 本說ハ獨人サビニ一氏曾テ無記名證券ヲ説明スルニ當リテ用キタル說ヲ修正シタルモノナリ氏ハ單ニ無記名證券タリ債權證券タルモノニ關シテ說キタルヲ後ノ學者ハ無記名證券債權證券以外ノモノニモ及ホシ一時ハ反對ナキ定說ノ如クナリキ曰ク有價證券トハ法令ノ規定ニ依リテ一旦證券ヲ作成シタルトキハ之ニ表示セラル權利ハ殆ント證券ト合體シ證券自ラ權利ナルカ如ク看做サルモノナリ略言スレハ權利ハ證券ニ化體ス例ハ手形上ノ權利ハ手形ト共ニ生シ手形ト共ニ讓渡サレ手形ト共ニ消滅シ手形ト云フト手形上ノ權利ト云フト殆ント同一ナルヲ以テ手形ハ有價證券ナリ株券ニ在リテモ亦同一ニシテ株券ハ株主權ノ化體ナリ株券ノ讓渡ハ株式ニ關スル一切ノ權利ノ讓渡ト爲リ當事者モ株券ノ讓渡ト云フヲ通常トス故ニ株券ハ有價證券ナリト

此說モ亦完全ニ非サルモ最モ平易ニシテ而モ現在ニ有價證券トスルモノノ大多數ヲ含ミ且有價證券ノ將來ノ變遷及ヒ發達ニ伴ヒテ伸縮スル餘地ヲ存ス初メテ有價證券ノ實體ヲ獨逸ニ生シタル際ニハ有價證券ト稱セスシテクレヂット、バビヤ又ハ「エツフエグテン」ト稱シタリ然ルニ商法ヲ編纂スルニ當リテ「ザエルト、バビヤ」ナル語ヲ生シ我商法ニ直譯シテ有價證券ト云フ此語ハ決シテ偶然ニ生シタルニ非スシテ證券ノ實質ヲ示ス爲メニ作リシモノナリ有價證券ハ價值ヲ有スル證券ナリ證券自體ニ價值アルヲ意味ス證券ニ表示セル權利ニ價值アル意味ニ非ス此意味ニ於テハ殆ント凡テノ證書ハ有價證券ト爲レハナリ有價證券ハ證券自體ニ價值アルモ其價值ハ紙片トシテノ價值ニ非ス證據トシテノ價值ニ非ス之ニ表示セル權利自體ノ價值ナリ紙片ニ權利カ合體シテ生スル價值ナリ證券恰モ權利自身ト同一視セラレ權利ハ證券ニ化體シタルモノト見ルナリ故ニ世人ハ本說ヲ私權化體說ト云ヘリ然レトモ化體ト云フトキハ私權ハ全然化シテ證券ト爲リ證券カ消滅スルトキハ最早何物ヲモ存セサル感ヲ生シ證券ノ滅失スル場合ヲ説明シ難キヲ以テ余ハ私權化現說ト名ケ權利ハ依然トシテ存シ證券ハ滅失スルモ權利ハ消滅セス更ニ新證券ニ因リテ出現スルコトヲ得レトモ證券ノ存スル間ハ其證券ニ化現シテ權利ハ恰モ證券ノ如クナルト云フナリ略シテ權現說ト云フ



權現説ニ對スル批評ハ此説ハ權利ニ有形及ヒ無形ノモノヲ認ムルモノナリ  
 比喩トシテハ可ナルモ正確ノ説明トシテハ十分ナラス又現權ノ程度ハ不明  
 ニシテ有價證券ト爲ルヘキ證券ヲ明確ニ區別スルヲ得スト云フニ在リ答ヘ  
 テ曰ク權利ニ有形ノモノト無形ノモノアリト云フハ評者ノ誤解ナリ有形ノ  
 權利ハ到底アリ得ス吾人ノ主張スル所ハ證券ニ化現シ得ル權利ト化現シ得  
 サル權利トアリテ有價證券ハ證券ニ化現シ得ル權利ニ關シテ生スト云フノ  
 ミ又證券ニ物質以外ノ價值アリトシ證券恰モ權利自身ノ如シト云フハ既ニ  
 正確ノ説明ナリ決シテ比喩ニ止マラサルナリ現權ノ程度ハ不明ナリト云フ  
 ハ評者ノ言ノ如シ如何ナル程度ニ權利カ化現シタルトキハ有價證券ト爲ル  
 カハ程度論ナリ證券ハ證券タル物質以外ニ幾許ノ價值ヲ有スルニ至リテ有  
 價證券ト爲ルカハ明カニ分別シ難キコトアルヘシ然レトモ程度ノ不明ハ權  
 行説ニ關シテモ存シ即チ權利ノ如何ナル行使ニ證券ノ占有ヲ要スルニ至リ  
 テ其證券ハ有價證券ト爲ルカヲ知ル困難アルト同一ナリ何レノ説ニ依ルモ  
 商法及ヒ附屬法令ニ或權利ト之ニ伴フ證券ノ關係ヲ設クルニ至リテ其證券

ハ有價證券ナルヤ否ヤノ問題ヲ生シ多クハ法律ノ規定ニ依リテ其關係ハ或  
 ル程度以上ノモノナルコトカ知ラレ之ニ依リテ其中ノ或モノハ明カニ有價  
 證券ト爲リ他ノモノハ解釋ニ依リテ有價證券ト爲ルナリ

獨逸ノ學者ハ有價證券ノ特色ヲ示シ(一)有價證券ハ記載ノ權利ヲ安全ニ移轉ス  
 ルニ必要ナリ(二)記載ノ權利ヲ擔保ニ供シ又ハ供託スルニ必要ナリ(三)アング  
 ズン<sup>グ</sup>ノ目的ト爲リ他ノ證券ニ無キ特質ヲ有ス(四)紛失盜失等ノ場合ニハ除權  
 判決ニ依ル外記載ノ權利ヲ保存シ又ハ之ヲ行使スルヲ得ス(五)動産ト同一視セ  
 ラル場合ニモ動産ノ「ピンチカチオン」ノ原則ニ從フヲ要セス等ト云ヘリ我實業  
 界ニ於テ有價證券トシテ取扱ヘルモノノ特色ヲ抽象スルニ(一)市場價格ヲ有ス  
 ルモノナリ(二)取引所ニテ取引シ得ルモノナリ(三)團體ヨリ發行シテ一般ニ賣出  
 スモノナリ(四)額面ノ一定セルモノナリ(五)利益又ハ利息ノ生スルモノナリ(六)資  
 本家ノ投資ノ目的ト爲ルモノナリ隨テ株券社債ノ如キモノニ限ラレ商法ノ想  
 像スルモノヨリ狭シ

有價證券ハ其給付ノ目的ヨリシテ種々ニ區別スルコトヲ得一ハ金錢ヲ目的ト



スルモノナリ其最モ重ナルモノヲ手形トスニハ金錢以外ノ物ヲ目的トスルモノナリ倉荷證券船荷證券等ノ如シ三ハ有價證券ヲ目的トスルモノナリ即チ有價證券ヲ目的トスル有價證券ナリ有價證券ハ取引ノ目的ト爲リ一度ニ多數轉々スルコト米鹽ニ等シ此際取引毎ニ凡テノ社債券又ハ株券ヲ轉々スルハ不便ナリトシ證券ヲ以テ之ニ代ヘ恰モ倉荷證券ヲ以テ倉庫中ノ米鹽ヲ轉々スルニ等シクシ從テ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ヲ生スルナリ株式其他ノ有價證券ノ取引ノ盛大ト爲ルニ從ヒ此種ノ有價證券ヲ多ク生スルナラン此三種ノ外ニ株券ノ如キ團體的有價證券アルモ改正規定ハ此三種ノモノニ關シテ多クノ規定ヲ共通ニスヘキ理アリトシ往々一括シタリ前述ノ記名持參人式ノモノニ無記名式ト同一ノ效力ヲ附與スルコトニ關シテ三種ノ證券ヲ一括シタルハ其一例ナリ改正規定ハ更ニ喪失ノ場合ニ於ケル公示催告ノ手續證券ノ返還請求及ヒ裏書ノ方式ニ關シテモ之ヲ一括ス以下專ラ此三種ノ有價證券ヲ說明スヘシ

有價證券ノ所持人カ其證券ヲ喪失シタル場合ニ於テ公示催告ノ申立ヲ爲シタ

ルトキハ債務者ヲシテ其債務ノ目的物ヲ供託セシメ又ハ其證券ノ趣旨ニ從ヒ履行ヲ爲サシムルコトヲ得但履行ヲ爲サシムルニハ債權者カ擔保ヲ供スルヲ要ス(二八一)

所持人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲ストキハ裁判所ハ證券喪失ノ旨ヲ公示シ現在ノ所持人ヲシテ一定ノ期間内ニ届出ヲ爲サシメ届出ヲタルトキハ其者ト喪失者トノ權利ノ優劣ヲ決シ届出ツル者ナキトキハ其證券ヲ無効トシテ更ニ新證券ヲ交付セシムルカ或ハ證券ナクシテ債務ヲ履行セシム債務ノ期限前ナレハ債權者ハ債務者ヲシテ債務ノ目的物ヲ供託セシメ期限後ナレハ自ラ擔保ヲ供シ證券ノ無効宣告ニ先テテ債務ヲ履行セシムルコトヲ得喪失ノ中ニハ紛失及ヒ盜失ヲ含ムモ滅失ヲ含マス(三六六)

有價證券取得者ノ權利ハ安全ナリ何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ證券ヲ取得シタル者ニ對シ其返還ヲ請求スルコトヲ得ス(二八二)各種ノ有價證券ニ適用アルモ無記名債權ニ關シテハ既ニ動産ノ即時取得ノ準用アルヲ以テ此規定ノ實益ノ多クハ指圖證券ニ存ス



有價證券中ノ指圖證券ハ之ヲ裏書スルコトヲ得裏書ハ證券ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後證券ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得所持人ハ自己ヲ其證券ノ被裏書人ト爲スコトヲ得裏書アル證券ノ所持人ハ其裏書カ連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス抹消シタル裏書ハ裏書ノ連續ニ付テハ其記載ナキモノト看做ス何レモ爲替手形ノ規定ノ準用ナリ

### 時 效

商行爲債權ノ消滅時效ハ五年ナリ(二八五)民事債權ノ消滅時效ハ十年ヲ原則トスルモ商事ハ敏活ヲ要スルヲ以テ短縮シタルナリ之ヲ原則トシ各種ノ債權ニハ尙短期ノ時效アリ例ハ手形ノ引受人ニ對スル債權ハ三年船舶債權又ハ運送契約ヨリ生ヌル債權等ハ一年ナルカ如シ其場合ニハ其時效ヲ適用シ又商法以外ノ法令ニ於テ商法ヨリ短キ時效ヲ定ムルトキハ其定ニ從フ

## 第二章 賣 買

賣買ハ商行爲トシテ最も多ク行ハルヲ以テ商法ニモ賣買ニ關スル規定頗ル多カリキ然レトモ社會ノ發達スルニ從ヒ一方ニハ賣買以外ノ行爲ヲ多ク生シ他方ニハ民事上ノ賣買モ敏活迅速ヲ要スル點ニ於テ商事賣買ト同一ト爲リ民法ニ共通ノ規定ヲ置キタルヲ以テ今ヤ賣買ニ關シテ商法ニ多クノ特別規定ヲ要セサルニ至レリ一層一般取引ノ進步スルニ於テハ遂ニ賣買ナル特別ノ表題ヲ商法中ニ見サルニ至ラン

賣買ハ當事者ノ一方カ或財產權ヲ相手方ニ移轉シ相手方カ其代價トシテ之ニ金銭ヲ支拂フ契約ナリトハ民法ニ示セル定義ニシテ商法ニ於テモ同一ナリ賣買ノ效力種類等モ亦同一ニシテ商法ニ規定セルモノハ僅カニ商人間ノ賣買ノ解除賣主ノ供託競賣權及ヒ買主ノ解除減價賠償ノ權利ニ過キス先ツ解除ニ關シテ略説スヘシ

賣買ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ因リ一定ノ日時又ハ一定ノ期間内ニ履行



ヲ爲スニ非サレハ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テ當事者ノ一方カ履行ヲ爲サスシテ其時期ヲ經過シタルトキハ相手方ハ直チニ其履行ヲ請求スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス(二八七)此種ノ契約ニ於テ當事者ノ一方カ適當ノ時期ニ其契約ヲ履行セサルトキハ相手方ハ不履行ヲ理由トシテ契約ヲ解除スルハ通常ナリ然ルニ此ノ如キ場合ニ於テモ尙一々解除ヲ要ストスルトキハ徒ラニ手數ヲ増スヲ以テ法律ニテ相手方ハ直チニ其履行ヲ請求スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做スナリ主トシテ相手方ノ利益ニ規定シタルモノナルモ既ニ法律ノ規定ト爲レルヲ以テ相手方ハ此當然ノ解除ヲ欲セサルトキハ時期ノ經過後直チニ其履行ヲ請求セサルヘカラム

### 賣主ノ供託競賣權

商人間ノ買賣ノ目的ニハ債權漁業權著作權特許權等アルモ最モ多キハ有體物ニシテ而モ多クハ動産ナリ通常商品ト稱セラル  
商人カ物ヲ他ノ商人ニ賣渡シタルトキハ之ヲ引渡ス義務ヲ負フ賣主カ此義務

ヲ履行セント欲シ買主ニ物ヲ提供スルモ買主之ヲ受取ルコトヲ拒ムカ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ニ左ノ權利ヲ生ス(二八六)

(一) 供託權 買主カ物ノ受取ヲ拒ムカ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ直チニ其物ヲ供託スルコトヲ得供託スヘキ場所カ法令又ハ慣習ニ依リテ定マルトキハ其場所トシ定マラサルトキハ相當ノ場所ニ於テスヘク相當ノ場所モナキトキハ此權利ヲ行フコトヲ得サルナリ物ヲ供託シタルトキハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

(二) 競賣權 賣主ニ競賣權ノ生スルハ供託權ノ生スル場合ト同一ナルモ競賣ハ供託ト異ナリテ目的物ノ所有權ヲ移轉スルモノナルヲ以テ此權利ノ行使ニハ或條件ヲ要シ行使後ニハ或手續ヲ要ス即チ普通ノ物ニ在リテハ相當ノ期間ヲ定メテ物ノ處分ヲ買主ニ催告スルコトヲ要シ損敗シ易キ物ナルトキハ催告セスシテ競賣スルコトヲ得ルナリ何レノ場合ニ於テモ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スヘシ競賣ニ因リテ得タル代金ハ自己ノ賣却代金ニ充當シ其殘餘ハ之ヲ供託ス

*Rechtliche Konkurrenz*



賣主ノ供託競賣權ハ賣主カ自己ノ引渡義務ヲ履行スルニ當リテ有スル權利ニシテ獨立ノ本體的權利ヨリモ寧ロ手續上有スル附屬的ノ權利ナリ此種ノ權利ハ物ノ運送人保管者等モ之ヲ有シ商法ハ買買ノ規定ヲ此等ノ場合ニ準用セルヲ以テ實用ノ多キモノナリ

賣主ハ供託競賣ノ權利ヲ有スルノミ義務ヲ負フニ非ス故ニ買主カ目的物ヲ受取ラサル場合ニ賣主ハ其物ヲ供託セサルモ可ナリ物カ損敗シ易キ場合ニ競賣セサルモ可ナリ之カ爲メニ買主ニ損害ヲ生スルモ賣主ニハ商法上ノ責任ナシ民法ニ於ケル過失懈怠ノ責任ヲ負フカ否カハ別問トシ商法ニテハ供託競賣ハ純然タル賣主ノ權利ナリ

### 買主ノ供託競賣義務

商人間ノ賣買ニ於テ賣買ノ目的物ニ瑕疵アルカ又ハ目的物カ不足スルトキハ其狀況ノ如何ニ從ヒテ買主ハ契約ノ解除又ハ代金ノ減少ヲ請求シ若クハ損害賠償ヲ請求シ得ルコト民法ニ於ケルト等シ然レトモ買主カ此權利ヲ行使スルニハ其前提トシテ自ら検査及ヒ通知ノ手續ヲ盡ササルヘカラス(二八八)時トシ

テ之ヲ買主ノ検査及ヒ通知ノ義務ト稱スルコトアレトモ寧ロ自己ノ權利ヲ行使スルニ要スル條件若クハ手續ト云フヲ可トス

其條件ハ買主カ目的物ヲ受取リタルトキ遲滞ナク之ヲ検査シ物ニ瑕疵アルコト又ハ其數量ニ不足アルコトヲ發見シタルトキ直チニ賣主ニ對シテ其通知ヲ發スルヲナリ之ニ依リ賣主ヲシテ物品ヲ検査スルカ不足ヲ補充スルカ或ハ其他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得セシムルナリ或瑕疵ニシテ直チニ發見スルコト能ハサルモノナルトキハ六ヶ月内ニ發見シテ通知セシム取引ノ敏活安全ヲ慮カリテ此ノ如クシタルナリ然レトモ此等ハ凡テ賣主ニ惡意ナキ場合ニシテ若シ賣主ニ惡意アリタルトキハ買主ハ遲滞ナク検査通知セサルモ又ハ六ヶ月内ニ通知セサルモ賣主ニ對シテ請求權ヲ行使スルコトヲ得

買主ハ賣主ノ爲メニ賣買ノ目的物ヲ供託又ハ競賣スル義務ヲ負フ此義務ハ生スルハ(一)目的物ノ瑕疵又ハ不足ヲ原因トシテ契約ヲ解除シタル場合(二)買主ニ引渡サレタル物カ注文品ト異ナル場合(三)引渡サレタル物カ注文ノ數量ヲ超過シタル場合ナリ(二八九、二九〇)



(一) 供託義務 上述ノ三場合ニ於テ買主ハ賣買ノ目的物ヲ保管又ハ供託スルコトヲ要ス目的物ハ或時ハ賣主ノ物ナリ或時ハ買主ノ物ニシテ賣主ニ返還スヘキ物ナリ何レニスルモ猥リニ放置スルトキハ賣主ノ損失ト爲リ且一般經濟ニモ害アルヲ以テ買主ニ此義務ヲ負ハシム買主自ラ保管スルモ可ナレハ供託スルモ可ナリ細密ニ云フトキハ保管又ハ供託ノ義務ナレトモ簡單ノ爲メ供託義務ト略言ス

(二) 競賣義務 上述ノ三場合ニ於テ其物ニ付キ滅失又ハ毀損ノ虞アルトキハ買主ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ競賣シ其代價ヲ保管又ハ供託スルコトヲ要ス競賣義務ハ供託義務ニ關聯シテ生シ供託義務ノ附屬ト説明シ得ルモ便宜ノ爲メニ分離シ同時ニ之ニ依リテ賣主ノ供託權及ヒ競賣權ト併記シタルコトニ照應セシメタリ買主ガ競賣ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク賣主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

供託競賣ハ買主ノ純然タル義務ナリ故ニ買主カ之ヲ爲ササルトキハ損害賠償ノ責ヲ負フ賣主ニハ權利トスルニ買主ニ義務トスルハ供託競賣ヲ生スル事情

ハ二者ニ於テ異ナレハナリ唯賣主ノ場合ニハ損敗シ易キ物ハ直チニ競賣スルコトヲ得トシテ他ヲ云ハス買主ノ場合ニハ滅失又ハ毀損ノ虞アルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ競賣スルコトヲ得トシテ他ヲ云ハサルハ不十分ナリ

買主ニ此等ノ義務ヲ負ハシムルハ賣主ノ利益ヲ慮カリタルモノニシテ供託及ヒ競賣ニ要スル費用ハ賣主ノ負擔トス又賣主及ヒ買主ノ營業所又ハ住所カ同市町村内ニ在ル場合ニハ賣主ヲシテ自ラ物ヲ保管セシメ買主ニ供託競賣ノ義務ヲ負ハシメス



### 第三章 交互計算

交互計算トハ商人間又ハ商人ト商人ニ非サル者トノ間ニ平常取引ヲ爲ス場合ニ於テ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ相殺ヲ爲シ其殘額ノ支拂ヲ爲スヘキ契約ナリ(二九二)

交互計算ハ何國ニテモ商法ニ規定セラレ民法ニ規定セラレサルナリ民事ニ關シテモ一々債權ヲ行使シ債務ヲ履行スルハ煩雜ナルヲ以テ一定ノ期間之ヲ爲ササルコトヲ約シ其實ニ於テ交互計算ニ類スルモノヲ生センモ所謂交互計算ニ非サルナリ商人中最モ多ク交互計算ノ利益ヲ受クル者ハ銀行者ニシテ銀行者間ニ交互計算ヲ爲ストキハ「コレレスボンデント」ト稱シ其數ノ多キハ業務ノ隆盛及ヒ信用ノ多大ナルヲ示ス一端トス

一 交互計算ハ商人間又ハ商人ト非商人ノ間ニ生ス

交互計算ノ當事者ニハ必ス商人アリ雙方トモニ商人ナルカ一方ノミ商人ナリ必ス商人ノ存スルヲ要シタルハ非商人ハ此ノ如キコトヲ爲ス必要ナク偶

アリトスルモ特ニ商法ニ規定スル程ノ必要ナケレハナリ然ラハ非商人カ兩當事者ト爲リテ交互計算ニ等シキ契約ヲ取結ヒタルトキハ如何曰ク商法ノ交互計算ナル名稱ヲ附シ得サルモ其契約ハ有效ニシテ當事者ハ契約ノ拘束ヲ受クヘシ

或學者ハ交互計算ノ性質上非商人間ニ爲ス此ノ如キ契約ハ無効ナリ交互計算ハ請求シ得ル債權ヲ請求シ得ストスルカ故ニ法律ニ規定スル外ハ之ヲ爲スヲ得サルヘシト云ヘトモ交互計算ハ決シテ或債權ヲ請求シ得サルモノト爲スニ非スシテ其請求ノ時期ヲ延長スルニ過キス故ニ何人モ之ヲ爲シ得ルナリ然レトモ商法ハ交互計算ノ定義ニ於テ當事者ノ一方ハ必ス商人タルヲ要セルヲ以テ若シ兩當事者トモニ非商人ナルトキハ其間ノ契約ハ所謂交互計算ニ非ス交互計算ノ規定ヲ當然ニ適用スルニ非スシテ契約法ノ適用ヲ受クルナリ

二 交互計算ハ平常取引ヲ爲ス場合ニ生ス

平常ノ取引トハ繼續的ノ取引ヲ云フ取引ノ情態ヲ示スモノニシテ取引ヲ爲



ス時ヲ示スニ非ス故ニ交互計算ハ從來取引シタリシ者ノ間ニ生スルコトアレハ將來ニ取引ヲ爲サントスル者ノ間ニ生スルコトアリ平常ナル文字ノ爲メニ解釋ヲ觀ルナキヲ要ス又繼續的取引ヲ爲ス意思ヲ以テスレハ可ナリ實際ニハ僅カニ一度取引ヲ爲スモ交互計算ハ履行セラレタルナリ

商人ノ平常爲ス取引ハ商行爲ナラン法文ニハ商人カ平常商取引ヲ爲ス場合ト云ハサルヲ以テ平常非商行爲ヲ爲ス場合ニモ交互計算ヲ爲シ得ル理ナルモ商人カ平常取引ヲ爲シ而モ殊更ニ非商行爲ノミニ關シテ交互計算ヲ爲スコトナカラシヲ以テ少クトモ實際ヨリ見テ交互計算ハ常ニ商行爲ナリト云ヒテ可ナラン

三 交互計算ハ一定期間ノ取引ヨリ生スル債權債務ニ關ス

債權債務ハ其各自ノ履行期ニ之ヲ履行スルハ通常ナルモ之ヲ煩雜トシテ交互計算ナル便法ヲ發明シタルモノナルヲ以テ交互計算ニハ一定ノ期間ヲ要素トスルハ當然ナリ其期間ハ當事者ノ定ムル所ニ委スルモ極メテ短期トスルトキハ交互計算ヲ取結ヒタル實益ナカラシ又過當ニ長期トスルトキハ却

テ計算ノ困難ヲ感スヘシ故ニ多クハ六ヶ月トシ次テ一ケ年三ヶ月等トス當事者カ其期間ヲ定メサルトキハ法律ニテ之ヲ六ヶ月トス(二九三)

一定ノ期間ハ交互計算ノ要素ナレトモ之カ爲メニ當事者ハ必ス其全期間拘束セラルニ非ス交互計算ハ多クノ債權ヲ其履行期ニ請求セサルモノナルヲ以テ當事者間ニ多大ノ信用アルヲ要ス隨テ一朝信用ヲ失スルトキハ交互計算ノ基礎ヲ覆ヘシタルモノトシ各當事者ヲシテ何時ニテモ交互計算ヲ解除スルコトヲ得セシム(二九六)若シ當事者ニシテ何時ニテモ計算ヲ解除シ得トセハ計算ノ期間ヲ一定スルハ無意味ナリト思惟スル者アラシモ決シテ然ラズ解除セサル場合ニハ其期間繼續スルナリ又解除スルマテハ其期間ハ一部繼續シタルナリ無期限ノ債權債務カ個々ニ分立シタルモノトハ異ナレリ獨人コザック氏ハ此點ヲ正論セリ

交互計算ハ相手方ノ破産又ハ禁治産ニ因リテ當然解除又ハ終了スルコトナシ

四 交互計算ハ債權債務ニ付キ相殺ヲ爲スモノナリ



交互計算ハ相殺ナリ之ヲ爲サントスル契約ハ相殺ヲ爲サントスル契約ナリ  
 交互計算ノ本質ニ關シテハ種々ノ説アルヲ以テ其重ナルモノヲ示サン  
 更改説ニ曰ク交互計算ハ多クノ債權債務ヲ消滅セシメ之ニ代ハルヘキ殘額  
 債權ヲ生セシムルモノニシテ更改ナリト然レトモ我國法ノ更改トハ債務ノ  
 要素ヲ變更シテ舊債權ヲ消滅セシメ新債權ヲ發生セシムルモノニシテ其場  
 合ノ債務ノ要素ハ目的及ヒ當事者ナリ然ルニ交互計算ニ在リテハ當事者ハ  
 初メヨリ終リマテ變更セス又計算ニ組入レタル債權債務ト殘額トシテ存ス  
 ル債權債務トハ同一ノ目的ヲ有スルヲ以テ交互計算ハ更改ニ非ス佛國學者  
 中之ヲ更改トスル者多キハ佛國ノ債務ノ要素ニハ原因<sup>カウザ</sup>ヲモ含マシムルヲ以  
 テナリ

交互計算ヲ更改トスルトキハ舊債權ハ悉ク消滅シテ殘額ハ新債權ト爲リ隨  
 テ各債權ニ附著シタリシ擔保ハ主債權ノ消滅ト共ニ消滅シ消滅セシメサラ  
 ント欲セハ特別ノ明文ヲ置クカ商法上ノ更改ニハ舊債權ハ消滅セスト云ハ  
 サルヘカラス

無名契約説ニ曰ク交互計算ハ商法ニ特發シタル特種ノ契約ナリ民法ニ規定  
 スル更改又ハ相殺ニテ足ルトキハ殊更ニ商法ニ規定セサルヘク假ニ特別ノ  
 規定ヲ置クトスルモ更改又ハ相殺ノ名稱ヲ以テスルコト恰モ賣買ニ於ケル  
 如クスルナラン然ルヲ殊更ニ交互計算ナル名稱ヲ設ケタルハ之ヲ特殊ノ契  
 約トスル主意ナリ尙規定ノ内容ヲ見ルニ民法ニ生シ得サルヘキ特別モアリ  
 ト此説ニハ一理アリ殊ニ商法ニ特發セルモノヲ強ヒテ民法ノ有名契約中ニ  
 入ルヲ要セスト云フ大體論ハ余ノ同意スル所ナリ然レトモ民法ノ相殺ニテ  
 説明シ得ルモノヲ強ヒテ無名契約トスルヲ要セサルヘシ  
 相殺説 相殺説ニモ純然タル相殺説及ヒ相殺豫約説アルモ大同小異ナルヲ  
 以テ相殺説ノ下ニ合一ス曰ク交互計算ハ相殺ナリ債權債務ヲ相殺シテ其殘  
 額ヲ支拂フコトヲ約スルモノナリ當事者カ各自一個ノ債權ト債務ヲ有スル  
 トキハ之ヲ相殺シテ殘額ヲ支拂フコト明カナリ左レト債權債務ノ數多シト  
 テ爲メニ相殺ノ性質ヲ變スルコトナシ各個ノ債權債務ノ辨濟期カ異ナル場  
 合ニ一方ノ期限ヲ短縮シテ他方ノ期限ト同一ナラシムルモ相殺ノ性質ヲ害



セヌ之ヲ數個ノ債權債務ニ及ホシ更ニ進ンテ一定期間ニ生スル總テノ債權債務ニ及ホシテ交互計算トスルナリ交互計算ハ法律ニ規定セル最高ノ相殺ナリ殊ニ商法自ラ交互計算ハ相殺ヲ爲スモノト明言ストセハ之ヲ相殺ト云フテ可ナリ商法ニハ民法ノ相殺ニ無キ規定アルモ決シテ相殺ノ本質ヲ害スル規定ニ非ス却テ益相殺タル實ヲ示スモノナリ

交互計算ニ入ル債權債務ハ相殺ヲ爲シ得ヘキモノタルヲ要ス其目的ハ同種ニシテ直接ニ相互ニ加減シ得ルモノナルヲ要スルナリ或國ノ法律ニハ此債權債務ノ目的ハ金錢ニ限ルト云ヘリ我國ニテハ交互計算ハ殘額ノ支拂ヲ爲ス契約ナリト云フヲ以テ殆ント之ト等シク解スルヲ得ヘク實際ニハ斯ク解スルモ可ナランモ支拂ノ文字ノミヨリ推シテ債權ノ目的ヲ金錢ニ限定スルハ稍大膽ニ過ク債權ノ目的ハ金錢ナル場合ニハ計算ニ組入レタル日ヨリ利息ヲ附スルコトヲ得

計算ニ組入レタル債權債務ハ計算閉鎖ノ時マテ動カサルヲ原則トシ吾人ハ成ルヘク例外ナカラシムコトヲ欲スレモ商法ハ一ノ例外ヲ設ケ商業證券ヨリ生シタル債權債務ニ在リテハ證券ノ債務者カ辨濟ヲ爲サザリシトキハ當事者ハ其債務ニ關スル項目ヲ交互計算ヨリ除去スルコトヲ得トセリ(二九二)例ハ一方カ相手方ヨリ千圓ノ約束手形ヲ得テ千圓ノ債務トシタルニ約束手形ノ振出人カ支拂ヲ爲サザルトキハ其手形ハ無價ト爲リ其者ハ相手方ヨリ何モノヲモ得サルコトト爲ルヲ以テ千圓ノ債務ノ記載ヲ除去スルコトヲ得ル如シ

此規定ハ十分ニ正確ナラス千圓ノ約束手形ヲ得タル者カ振出人ヨリ辨濟ヲ得サル際譲渡人ニ對シテ千圓ノ償還請求權ヲ有スルニ止マルトセハ新ニ千圓ノ債權ヲ組入ルヨリモ先キノ千圓ノ債務ヲ除去スルヲ可トセンモ此場合ニ讓受人ノ有スル權利ハ千圓ヨリ多キ償還金額ノ請求權ナルヲ以テ千圓ノ債務ヲ除去シタルノミニテハ損失ヲ蒙ムレハナリ故ニ先キノ債務ヲ其儘ニ存シ自己ノ償還請求金額ヲ新タニ債權ニ組入レシムヘシ又今ハ千圓ノ手形ヲ無償ニテ取得シタル場合ヲ想像シタルヲ以テ簡單ナリシモ割引シテ取得シタルトキハ如何茲ニ手形ヨリ生シタル債權債務ト云フハ如何ナル範圍ナ



ルカ、手形ノ債務者ト稱シテ約束手形ノ振出人爲替手形ノ引受人、兩手形ノ裏書人ノ辨濟セサル場合ヲ入レナカラ殆ント同一ノ情況ニアル支拂人ノ辨濟セサル場合ヲ云ハサルハ如何等ノ問題ヲモ生ス余ハ此例外ヲ削除シ悉ク當事者ノ定ムル所ニ委センコトヲ望ム

相殺ヲ爲スニハ計算ヲ要ス計算ハ口頭容態書面ノ何レニ依ルモ可ナリ然レトモ計算書ヲ以テスルヲ通常トス各當事者ハ計算ヲ閉鎖シテ債權債務ノ各項目ヲ書類ニ記載シ相手方ノ閱覽ニ供シ相手方ハ之ニ異議アルトキハ其異議ヲ述ヘ異議ナキトキハ承認スルナリ一タヒ承認シタルトキハ最早其各項目ニ付キ異議ヲ述フルヲ得ス但錯誤又ハ脱漏アリタルトキハ此限ニ在ラス(二九四)當事者ハ屢計算書ニ此留保ヲ記載シテ「サルピスエロリブス、エツトオミツシオニブス」トスルモ今ハ蛇足ト爲レリ

##### 五 交互計算ハ殘額ノ支拂ヲ爲スモノナリ

殘額ハ「ザルドー」ト稱シ總債權ヨリ總債務ヲ減シタル差額ナリ債權額ノ多キ當事者ハ殘額債權者ト爲リ相手方ハ其債務者ト爲ル殘額ニ付テハ債權者ハ

計算閉鎖ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得(二九五)

殘額債權ハ不可分ナリ一旦計算ヲ閉鎖シ計算書ヲ承認シタルトキハ債權債務ノ各項目ニ付異議ヲ述フルコトヲ得ス且殘額債權トシテ法定利息ヲ生スルヲ以テ一個ノ包括債權ナルコト明カナリ隨テ從前ノ各債權ニ分離シ得サルヲ當然トス是レ交互計算ヲ「ギロコント」即チ繼續取引ト別ツ所以ナリ然レトモ殘額債權ハ新債權ニ非ス多クノ舊債權カ消滅シ之ニ代ハリテ生シタルモノニ非スシテ從來ノ債權ハ殘額ノ形式ヲ以テ現出スルノミ殘額トハ一ノ債權額ヨリ他ノ債權額ヲ減シテ殘リタルモノヲ意味ス或者ハ債權債務ハ計算ニ組入ルト同時ニ埋没シテ消滅スト云フモ商法ハ各債權ニ利息ヲ付スルコトヲ認ムルヨリシテモ計算期間中ハ各債權ノ存スルコト明カナリ而シテ決算ハ或債權ヲ消滅セシメ他ノ債權ヲ發生セシムルカナキヲ以テ殘額債權トシテ存スルモノハ從來存スル債權ナリ隨テ其債權ニ附着シタル擔保ハ殘額債權ニモ附着シ擔保ノ性質トシテ不可分ニ存ス

債權者ハ殘額債權ノ辨濟ヲ請求スルコトアリ或ハ其儘ニ存シテ新計算ノ債



權トスルコトアリ新計算ノ債權トスルトキハ一ノ獨立債權ト爲ルヘシ少ナ  
クトモ當事者ノ意思解釋ヨリシテ此ノ如ク解スルヲ適當トス

### 第四章 匿名組合

匿名組合ハ當事者ノ一方カ相手方ノ營業ノ爲メニ出資ヲ爲シ其營業ヨリ生ス  
ル利益ヲ分配スヘキ契約ナリ(二九七)

匿名組合ハ其名稱當事者ノ二人アルコト及ヒ營業ヨリ生スル利益ヲ分配スル  
點ニ於テ組合ニ類スルモ必スシモ民法ノ組合ノ一例ト云フヲ得ス民法ノ組合  
ニハ當事者ハ悉ク出資ヲ爲スヲ要スルモ匿名組合ニハ當事者ノ一方ノミ出資  
スレハ可ナリ又民法ノ組合ハ共同ノ事業ヲ營ムヲ要スルモ匿名組合ハ當事者  
一方ノミ營業スレハナリ外國ニ在リテハ匿名組合ハ大ニ合資會社ニ類スル所  
アリ例ハ獨逸ノ「ステレ、ゲゼルシャフト」佛蘭西ノ「ソシエテ、ダシツト」ノ如シ故ニ  
獨逸ノ學者ハ匿名組合ト合資會社トハ相伴ヒテ發達スト云ヒ獨逸商法ハ匿名  
組合ヲ合資會社ノ次ニ規定セリ我國ハ之ヲ商行爲編ニ規定スレトモ社員ノ出  
資業務ノ執行等ニ關シテ合資會社ノ規定ヲ匿名組合ニ準用スルコト多シ匿名  
組合契約ノ當事者ノ一方ヲ匿名員ト云ヒ他ノ一方ヲ營業者ト云フ



匿名組合ハ匿名員カ營業者ノ營業ノ爲メニ出資ヲ爲ス契約ナリ匿名員ノミ出資ヲ爲セハ足り營業者ハ出資スルヲ要セズ營業者ハ業務ヲ執行スルヲ以テ業務ヲ出資トスト云フヲ得ンモ此ノ如クシテマテモ共同ニ出資スト説ク必要ナシ匿名組合ノ起原本質ニ遡ルトキハ却テ一方ハ出資シ一方ハ出資セスシテ業務ヲ執行スルヲ要ストシタル形蹟アリ蓋シ此契約ハ或者ハ資力ヲ有スルモ技術信用ナク他ノ者ハ技術信用アルモ資力ナキ場合ニ生スルモノナレハナリ匿名組合ハ營業ヨリ生スル利益ヲ分配スル契約ナリ營業ハ共同ノ營業ニ非スシテ營業者ノミノ營業ナリ匿名員ハ唯之ヨリ生スル利益ヲ得ルノミ契約ニハ利益ノ分配ヲ約スレハ足り損失ノ分擔ヲ約スルヲ要セサルヲ以テ共同ノ點ハ薄弱ニシテ兩當事者ハ共同ノ事業ヲ營ムト云フモ不適當ナル程ナリ故ニ組合ノ名アレハトテ決シテ民法ノ組合ノ一種ト速斷スヘカラス

匿名組合ノ當事者ハ二人ナリ一層正確ニ云ヘハ匿名組合ニハ兩當事者アルノミ匿名員及ヒ營業者是レナリ多クノ資本家カ匿名員トシテ同一ノ營業者ニ出資シ又多クノ營業者カ同一ノ匿名員ヨリ出資ヲ受クルコトアルモ單ニ多クノ

匿名組合ハ一人ニ集合シタルニ止マリ一個ノ契約ヲ以テ多數人ヲ同時ニ羈束シタルニ非ス又多クノ營業者ハ共同責任又ハ連帶ノ關係ニ於テ或營業ヲ爲シ其營業ノ爲メニ同一資本家ヨリ出資ヲ得ルトキハ一個ノ匿名組合ヲ以テ多數人ヲ羈束スルカ如クナルモ然ラス匿名組合ノ外ニ或契約ノ存スルモノナリ匿名組合ハ決シテ單獨ニテ同時ニ多クノ當事者ヲ羈束スルヲ得ス但シ此説ニハ反對スル者モアリ

匿名組合ノ本質ヨリシテ匿名員ハ第三者ト直接ノ關係ヲ有セス營業者ノ行爲ニ付キ毫モ第三者ニ對シテ權利義務ヲ有セス營業者ガ營業上ノ損害ヲ蒙ムリタル場合ニ匿名員ハ其一部ヲ負擔スルモ第三者トノ間ニ關係ヲ生スルニ非ス匿名組合ハ畢竟營業者ト匿名員ノ人的關係ニ過キス

匿名員カ匿名員タル本質ヲ具備スル間ハ營業ヨリ生スル利益ノ分配ヲ受クルニ止マルモ一タヒ匿名員タル本質ヲ破フルトキハ之ニ伴フ責任ヲ負フ即チ匿名員カ其氏若クハ氏名ヲ營業者ノ商號ニ用ヒ又ハ其商號ヲ營業者ノ商號トシテ用ユルコトヲ許諾シタルトキハ其使用以後ニ生シタル債務ニ付テハ營業者



ト連帶シテ責ニ任ヌ(二九九)匿名員カ其氏名ヲ營業者ノ商號中ニ用ユルトキハ  
 第三者ハ匿名員ハ營業ニ于カル者ト信シ匿名ノ實ナキニ至レハナリ至當ノ規  
 定ナレトモ少シク不足スル所アリ現在ノ儘ニテハ匿名員カ其名又ハ商號ヲ營  
 業者ノ商號中ニ用キ又ハ其氏又ハ氏名ヲ營業者ノ商號トシテ用ユルコトヲ許  
 諾スルモ連帶ノ責ヲ負ハスト解シ得レハナリ

當事者ノ權利義務

匿名員ハ營業ヨリ生ヌル利益ノ配當ヲ受クル權利ヲ有ス此權利ハ匿名組合ノ  
 要素ヲ成スヲ以テ匿名員ハ豫メ拋棄スルヲ得ス利益ノ配當ナルカ故ニ出資カ  
 損失ニ因リテ減シタルトキハ其填補ノ後ニ非サレハ請求シ得サルハ明カナリ  
 (三〇〇)匿名員ハ營業ヲ監督スル權利ヲ有ス即チ營業年度ノ終ニ於テ營業ノ財  
 産目錄及ヒ貸借對照表ノ閱覽ヲ求メ且營業及ヒ營業財産ノ狀況ヲ検査スルコ  
 トヲ得ヘク重要ナル事由アルトキハ裁判所ニ請求シテ何時ニテモ之ヲ検査ス  
 ルコトヲ得ルナリ匿名員ハ組合終了ノ場合ニ出資ノ價額ノ返還ヲ受クル權利  
 ヲ有ス(三〇三)若シ出資カ損失ニ因リテ減シタルトキハ其殘額ノ返還ヲ受クル

ヲ通常トスルモ損失ノ分擔ハ匿名組合ノ要素ニ非サルヲ以テ特約ヲ以テ損失  
 ヲ分擔セスト定ムルコトヲ得ルナリ匿名員ハ業務ヲ執行スル權利ヲ有セス  
 匿名員ハ出資ヲ爲スコトヲ要ス此義務ハ利益ノ配當ヲ受クル權利ニ對當シ又  
 匿名組合ノ要素ヲ成スモノナリ出資ハ金錢其他ノ財産ヲ目的トスルモノニ限  
 リ勞力信用等ヲ出資ト爲シ得サルハ合資會社ノ有限責任社員ニ等シ匿名員ノ  
 出資ハ營業者ノ財産ニ歸ス(二九八)匿名組合ナル法人ナキヲ以テ出資ハ組合財  
 産ト爲ラサルハ勿論組合財産ト稱シテ組合員ノ共有財産ト爲ルコトモナシ出  
 資ハ營業者ノ營業ノ爲メニ爲スモノナルヲ以テ若シ營業者カ他ノ目的ニ之ヲ  
 使用シタルトキハ匿名員ハ異議ヲ唱フルコトヲ得匿名員ニハ出資ノ外ニ義務  
 ナシ  
 營業者ノ權利ハ匿名員ヲシテ契約シタル出資ヲ爲サシムルニ在リテ義務ハ之  
 ヲ營業ニ利用シ其營業ヨリ生シタル利益ヲ分配スルニ在リ匿名組合ハ雙務契  
 約ニシテ匿名員ノ權義ハ其反面ニ於テ營業者ノ義權ナリ  
 以上ノ如クナルヲ以テ匿名組合ニ於ケル出資ハ金錢ノ貸附ト類セリ然レトモ



決シテ同一ニ非ス其差ハ(一)出資ハ營業不成績ノ場合ニ利益ヲ得サルモ貸金ハ營業ノ如何ニ拘ハラヌ一定ノ利息ヲ受ク(二)出資ハ利益ヲ生シタル場合ニハ無限ニ其配當ヲ得ルモ貸金ハ常ニ元利ヲ得ルニ止マル(三)出資者ハ營業及ヒ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得ルモ貸金者ニハ此權利ナシ(四)出資ハ必ス營業ノ爲メニスルモ貸金ハ用途ヲ限ラヌ又通常出資者ハ損失ヲ分擔スルモ貸金者ハ之ヲ分擔セサル等ニ在リ

### 匿名組合ノ終了

匿名組合ハ契約一般ノ原則ニ從ヒテ消滅スル外左ノ事由ニ因リテ終了ス(三〇二三〇一)

- 一 組合ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
  - 二 營業者ノ死亡又ハ禁治産
  - 三 營業者又ハ匿名員ノ破産
- 匿名員ハ死亡スルモ禁治産ト爲ルモ組合ヲ終了セシメスシテ可ナリ匿名員ハ出資ヲ爲スノミニテ自ラ業務ヲ執行セス又自己ヲ第三者ニ表示セサレハ

ナリ

### 四 當事者ノ解除

契約ヲ以テ匿名組合ノ存續期間ヲ定メタル場合ニ於テモ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各當事者ハ何時ニテモ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得存續期間ヲ定メサリシトキ又ハ或當事者ノ終身間存續スヘキコトヲ定メタルトキハ各當事者ハ營業年度ノ終ニ於テ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但六ヶ月前ニ其豫告ヲ爲スコトヲ要ス

匿名組合カ終了スルトキハ營業者ハ出資ノ價額ヲ返還スヘキコト前ニ述ヘタリ營業者ノ破産ニ因リテ組合カ終了スルトキハ匿名員ハ破産法ノ規定ニ從ヒテ其返還ヲ受クヘク別ニ優先權ヲ有セス



## 第五章 仲立營業

仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ナリ(三〇五)  
 仲立ハ既ニ希臘羅馬ニモ存シ第十六世紀ニハ伊太利ノ商市ニ發達シタリゴ  
 ルドシミニユツト氏ハ仲立ハ亞刺比亞ニモ發達シ現在ノ仲立ニ關スル文字ニシ  
 テ亞刺比亞ヨリ借來セルモノ多シト云ヘリ

仲立ハ業トシテ爲スコトアリ個々ニ爲スコトアリ又媒介セラル行爲ニハ商行  
 爲アリ非商行爲アリ媒介者カ之ヲ業トセサルトキハ民法上ノ行爲ニシテ獨逸  
 民法ハ之ヲ勞務契約トシテ規定ス(獨六五〇—六五五)我民法ハ之ヲ特別ノ有名  
 契約トセス其實質ヨリシテ或モノヲ勞務契約或モノヲ請負契約或モノヲ無名  
 契約トス

媒介者カ之ヲ業トスルトキハ媒介行爲ハ商行爲ト爲リ即チ仲立ハ營業トシテ  
 爲ストキハ之ヲ商行爲トスト云ヘルモノニ當ル(二六四十一號)仲立ニハ其媒介  
 セラル行爲ノ商行爲タルト否トヲ問ハサルヲ以テ家事使用人ノ雇傭ノ媒介ヲ

業トスル者ノ媒介モ仲立ナリ然レトモ此仲立ニ關シテハ特別ノ規定ナク又之  
 ヲ業トスル商人ニ特別ノ名稱ヲ與ヘス唯媒介セラル行爲カ商行爲ナル場合ニ  
 限リテ媒介者ヲ仲立人ト名クルノミ

仲立人ハ商行爲ノ媒介ヲ業トスル者ナリ決シテ仲立ヲ爲ス人若クハ仲立ヲ營  
 業トスル商人ヲ總稱スルニ非スシテ其商人中ノ一種ナリ又仲立人ノ中ニハ一  
 定ノ場所ニ於テ特定ノ方式ニ從ヒテ媒介ヲ爲ス者アリ取引所仲立人ノ如シ尙  
 或商品ニ限リテ媒介スル者モアレトモ此ノ如キハ商法ノ規定スル所ニ非ス  
 商法ニ仲立ヲ規定スルニ當リ營業ヲ基トシテ客觀的ニ爲スコトアリ商人ヲ基  
 トシテ主觀的ニ爲スコトアリ我商法ハ此二者ヲ合シ表題ヲ仲立營業トシ内容  
 ハ仲立人ヲ主トセリ問屋運送取扱運送及ヒ倉庫ニ關シテモ亦然リ

仲立人ニ關スル立法主義ニ干涉主義及ヒ放任主義アリ干涉主義ハ仲立人ト爲  
 ルニハ一定ノ年齢或期間商業ニ從事シタルコト、聲聞ニ瑕瑾ナキコト、破産者ニ  
 非サルカ破産後ニ復權ヲ得タルコト等ヲ要シ又營業ヲ爲スニ先ク官廳認可  
 ヲ受ケ保證金ヲ供託スル等ノコトヲ必要トス其代ハリニ多クノ特權ヲ付與シ



商品有價證券等ノ相場ヲ定ムルコトヲ得セシメ其帳簿ヲ公ケノ信用アルモノトシ仲立人ヲ公吏ノ如ク見ルナリ放任主義ハ仲立人ヲ普通ノ商人ト同視シ仲立人ト爲ルニ何等ノ資格ヲ要セス營業ヲ爲スニ先ク特ニ何事ヲモ要セス我商法ハ放任主義ナリ

一 仲立人ハ媒介ヲ爲ス者ナリ 媒介ハ兩當事者ヲシテ或行爲ヲ爲サシムル行爲ナリ單ニ或商行爲ヲ爲スニ至ル機會ヲ與フルニ止マラサルヲ以テ市場ヲ設ケテ賣主買主ヲ來集セシムルハ未タ媒介ニ非ス更ニ進ンテ特定ノ賣主買主ヲシテ賣買ヲ爲スニ至ラシムルコトヲ要ス

二 仲立人ハ商行爲ノ媒介ヲ爲ス者ナリ 兩當事者カ媒介セラレテ爲ス行爲ニハ商行爲アリ非商行爲アリ非商行爲中ニハ法律行爲モアレハ法律行爲ト稱シ得サル行爲モアリ商法ニ所謂仲立人ハ商行爲ノ媒介ヲ爲ス者ニ限レリ他人間ノ商行爲ハ兩當事者ニ商行爲ナルアリ一方ニ商行爲ナルアリ其何レニテモ可ナルヲ以テ或商人ノ爲メニ顧客ヲ誘引シテ商品ヲ買受ケシムルトキハ仲立人ト爲ルヘシ

三 仲立人ハ媒介ヲ業トスル者ナリ 個々ニ商行爲ノ媒介ヲ爲ス者ヲ特ニ商法ニ規定スル必要ナシ而シテ仲立人ハ業トシテ媒介ヲ爲スヲ以テ商人ナリ

### 仲立人ノ權利義務

仲立人ノ權利中最モ重ナルモノハ報酬ヲ受クル權利ナリ仲立人ハ當事者雙方ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得トス是レ仲立ハ媒介行爲ニシテ兩當事者ノ爲メニ爲スモノナルヲ以テ兩當事者ヲシテ其報酬ヲ支拂ハシムルハ當然ナレハナリ當事者平分シテ之ヲ負擔ス(三一)仲立人カ報酬ヲ請求シ得ル時機ハ仲立行爲ヲ終了シタル時即チ兩當事者間ノ行爲成立後要領書ヲ作成シテ各當事者ニ交付シタル時若クハ之ニ相當スル時ナリ

仲立人ノ義務ハ左ノ如シ其中ノ或モノハ稍公ケノ性質ヲ帶フ  
一 要領書ノ交付

要領書トハ媒介ニ因リテ當事者間ニ成立シタル行爲ノ要領ヲ記載シタル書類ナリ余ハ記載スヘキ事項ヨリ之ヲ要領書ト稱スルモ獨逸ニテハ作成ノ時期ヨリシテ終結書ト稱セリ要領書ニハ各當事者ノ氏名又ハ商號行爲ノ年月



日及ヒ行爲ノ要領ヲ記載シ仲立人之ニ署名スルコトヲ要ス仲立人ハ行爲ノ成立後遲滯ナク之ヲ作り各當事者ニ交付シ各當事者ニ署名セシメテ其相手方ニ交付スヘシ但當事者カ直チニ履行スヘキ場合ニハ要領書ヲ相手方ニ交付スルコトヲ要セス(三〇八)

仲立人カ要領書ヲ作りテ當事者ニ交付セントスルモ當事者カ之ヲ受領セサルコトナリ又署名セシメントスルモ署名セサルコトアリ是レ要領書ノ記載ニ誤謬アルカ實質ニ不當ノ點アルカ或ハ自ラ履行ヲ拒マントスルカ何レニスルモ重大ノ事ナルヲ以テ仲立人ヲシテ遲滯ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發セシム但此拒絕ハ重大ノ事ナレトモ之ニ依リテ拒絕者ニ直チニ不履行又ハ契約解除ノ意思アルモノト解スヘカラス

要領書ニハ各當事者ノ氏名又ハ商號ヲ記載スルヲ原則トスルモ當事者カ之ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ之ヲ記載スルコトヲ得ス

### 二 帳簿ノ記入

仲立人ハ商業帳簿ヲ備ヘテ日々ノ取引ヲ記載スヘキコト總則ヨリ明カナルモ本章ニハ特ニ或記載事項ヲモ規定シ行爲ノ各當事者ノ氏名又ハ商號行爲ノ年月日及ヒ行爲ノ要領トシタリ(三〇九)尙要領書ヲ作成シテ各當事者ニ交付シタル事實ヲモ記載スヘシ各當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ヲ請求スルコトヲ得

帳簿ニハ各當事者ノ氏名又ハ商號ヲ記入スルヲ原則トスルモ當事者カ之ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ之ヲ記入スルコトヲ得ス

### 三 見本ノ保管

仲立人ハ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取ルコトアリ而シテ實際ニハ見本ヲ以テ取引スル場合ニ見本ト現物ノ異ナルヨリシテ争ヲ生スルコト多キヲ以テ仲立人ヲシテ行爲ノ完了スルマテ其見本ヲ保管セシム見本ニテ賣買セサル場合ニモ委託者カ見本ヲ送付シタルトキハ其理由ノ如何ヲ問ハスシテ之ヲ保管スヘシ(三〇七)茲ニ行爲ノ完了ト云フハ行爲ノ成立及ヒ履行ナリ賣



買ニ在リテハ所有權ノ移轉物ノ引渡及ヒ代價ノ支拂ナリ完了ノ文字ニ果シテ履行ノ意義ヲ含ムカ否カハ稍不明ナルモ法律ニ行爲ノ完了行爲ノ成立ト併記スルヨリシテ完了ハ成立ヨリモ多クヲ意味シ隨テ履行ヲ含ムモノト解ス

仲立人ハ商行爲ノ媒介者ナリ當事者ニ非ス又代理人ニモ非サルヲ以テ行爲ノ履行ヲ爲ス義務モナケレハ之ヲ請求スル權利モナシ法文ノ語ヲ借リテ云フトキハ仲立人ハ當事者ニ對シテ履行ヲ爲ス責ニ任セス又當事者ノ爲メニ給付ヲ受クルコトヲモ得サルナリ(三一、三〇六)之ヲ原則トシ例外トシテ仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ自ラ履行ノ責ニ任シ又別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ當事者ノ爲メニ給付ヲ受クルコトヲ得

## 第六章 問屋營業

問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ナリ(三一三)

問屋ハ希臘羅馬ニ在リト云フ者アリ又以前ニモ在リト云フ者アリ貿易盛大ト爲リ且遠隔地ノ間ニ行ハルニ至リテ一層發達シタリ我國語ノ問屋ハ時トシテ卸賣商ヲ意味スルコトアルモ多クハ商法ニ規定スル如キ取次賣買ヲ爲ス者ナルヲ以テ之ヲ法定ノ名稱トス

問屋ハ他人ノ爲メニ賣買ヲ爲ス者ナリ賣買ハ販賣及ヒ買入ナリ二者ヲ合セ爲スモ可ナレハ販賣又ハ買入ノミヲ爲スモ可ナリ他人ノ爲メニ賣買以外ノ行爲ヲ爲ストキハ問屋ト爲ラス或者ハ無名ノ商人ト爲リ或者ハ準問屋ト爲ル

問屋ハ物品ヲ賣買スル者ナリ隨テ問屋ノ範圍ハ物品ノ如何ニ依リテ定マル或モノカ物品ナルトキハ問屋行爲ノ目的ト爲リ然ラサルトキハ問屋行爲ノ目的ト爲ラス問屋ノ規定ヲ適用セラレサルハ勿論準用セラレコトモナシ是レ問屋



ノ規定ハ賣買以外ノ行為ニ準用スルモ物品以外ノ賣買ニ準セザレハナリ沿革ヲ見ルニ問屋ハ物ノ委託販賣商ナリ販賣トハ「振リ賣リ」ニシテ其目的ハ専ラ貨物器具等ナリシナリ然ルヲ後ニ至リテ一切ノ動産及ヒ動産ト同視スル物ヲモ入ルルコトトシ我商法ノ物品中ニハ普通ノ動産貨幣有價證券等ヲ包含ス運送及ヒ寄託ノ目的タル物品ト同範圍ナリトシ不動産及ヒ有體物ニ體現セサル權利ハ物品ニ非ストシテ除外セラル

問屋ハ自己ノ名ヲ以テ賣買スル者ナリ他人ノ名ヲ以テスルトキハ賣買ニ因リ相手方ニ對シテ權利ヲ得義務ヲ負フ者ハ其他人ニシテ賣買者ハ代理人トシテ之ヲ爲スニ止マルモ問屋ハ自己ノ名ヲ以テ賣買ヲ爲シ其賣買ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得義務ヲ負フヲ以テ相手方ヨリ見ルトキハ問屋ハ賣買ノ當事者ナリ本人ナリ

問屋ハ此ノ如キ特質ヲ有スルヲ以テ二個ノ關係ニ分チテ研究スル必要ヲ生ヌ即チ問屋ト委託者ノ關係及ヒ問屋ト相手方ノ關係ナリ然レトモ問屋ハ相手方ニ對シテハ自ラ賣買上ノ權利ヲ得義務ヲ負フヲ以テ賣買ノ普通ノ關係ト爲リ

別ニ説明スヘキ必要ナシ其此ノ如クシタルトキハ相手方ヲシテ一々裏面ノ當事者ヲ調査セヌ問屋ヲ信シテ賣買シ得セシムル爲メナリ

### 問屋ト委託者トノ關係

問屋ノ問屋タル特殊ノ位地ハ委託者ニ對シテ存ス問屋行為ナル商行爲ハ問屋ト委託者ノ間ニ成立スルモノニシテ問屋行為ヲ定義スルトキハ當事者ノ一方(問屋)カ自己ノ名ヲ以テ相手方(委託者)ノ爲メニ物品ヲ賣買スルコトヲ約シ相手方ハ之ニ對シテ報酬ヲ支拂フ契約ナリ其履行トシテ問屋ハ物品ヲ賣買スヘク委託者ハ報酬ヲ支拂フヘシ賣買ナル行為ハ問屋行為ノ目的ト爲リ問屋カ物品ヲ賣買スルトキハ問屋行為ノ履行ト爲ルナリ世人ハ此二個ノ行為ヲ混同スル爲メ屢錯雜ヲ生ヌ問屋ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ賣買ヲ爲スモ自己ノ名ヲ以テ自己ノ爲メニ問屋行為ヲ爲スナリ而シテ問屋ノ問屋タル點ハ問屋行為ヲ業トスルニ在リ

問屋ト委託者ノ關係ハ委任關係ナリ問屋ハ委託者ノ委任代理人ナリ兩者ノ關係ニハ商法ノ特別規定ノ外委任及ヒ代理ニ關スル規定ヲ準用スルハ問屋ノ委



任代理人タルコトヲ證ス(三一四)而シテ問屋カ委託者ノ爲メニ直接代理ヲ爲スカ間接代理ヲ爲スカヲ說クニ先チテ其意義ヲ確ムルヲ要ス通説ニ依ルトキハ直接代理トハ普通ノ代理ニシテ代理人ノ行爲ニ因リテ本人ト相手方ノミ相互ニ直接ニ權利者義務者ト爲リ代理人ハ毫モ當事者ノ位地ニ立タサルコトナリ此意義ニ於テハ問屋ハ直接代理ヲ爲ス者ニ非ス彼ハ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得義務ヲ負ヒ本人ハ相手方ニ對シテ權利者義務者ト爲ラス本人ノ相手方ニ對スル關係ハ間接ナレハナリ學者カ問屋ハ間接代理ヲ爲スト云フハ此意義ニ於テス

問屋ハ委託者ノ爲メニ間接代理ヲ爲シ委託者ヲシテ相手方ニ對シテ直接ニ權利義務ヲ得セシメサルコト明ラカナリトシ問屋ト委託者ノ關係ニ於テモ尙委託者ハ直チニ權利義務ヲ得サルカニ關シテハ議論分カル或者ハ消極說ヲ採リ此關係ニ於テモ委託者ハ問屋ノ行爲ニ因リテ直チニ權利義務ヲ得ルコトナシ問屋カ一旦之ヲ取得シテ更ニ委託者ニ移轉スル行爲ヲ爲スコトヲ要スト云ヘリ非ナリ問屋ハ委託者ノ代理人ナリ代理トハ一人ノ意思表示カ直接ニ他人ノ

利害ニ於テ效果ヲ生スル法律關係ナリ民法ニ代理人カ其權限内ニ於テ本人ノ爲メニスルコトヲ示シテ爲シタル意思表示ハ直接ニ本人ニ對シテ其效力ヲ生ストシ商法ニ商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人ニ對シテ效力ヲ生スト云ヘルヨリシテモ(民九九商二六六)問屋ノ行爲ニ因リテ委託者ハ直チニ權利義務ヲ取得スルコトヲ知ルヘシ代理ノ本質及ヒ效力ハ問屋カ代理ヲ爲ス場合ニモ存續シ唯相手方ニ對スル關係ニ於テノミ問屋ヲ權利者又ハ義務者トスルノミ故ニ對相手方關係ヲ除キテハ問屋ノ行爲ニ因リテ委託者ハ直チニ權利義務ヲ取得シ問屋ハ最早之ヲ移轉スルコトヲ要セサルナリ物ハ直チニ委託者ノ有ニ歸シ一度モ問屋ノ有ニ歸セサルヲ以テ問屋カ之ヲ消費スルトキハ財産冒認罪又ハ委託物費消罪ト爲ルヘシ而シテ問屋カ破産スル場合ニ問屋ノ債權者ハ物ハ問屋ノ所有物ナリト主張シテ之ニ追及スルヲ得サルナリ此點ノミヲ觀察シ而シテ權利義務カ直接ニ委託者ニ歸屬スル點ヨリ名クルトキハ問屋ハ或意味ニ於ケル直接代理ヲ爲スモノト云フモ可ナランカ



### 問屋ノ權利義務

問屋ト委託者ノ間ニハ委任及ヒ代理ニ關スル規定ヲ準用スルヲ以テ其權利義務ハ之ニ依リテ定マリ問屋ハ報酬立替金及ヒ其利息事務處理ノ費用等ヲ請求スル權利ヲ有シ事務ノ處理其情況ノ報告物品保管等ノ義務ヲ負フ他ノ場合ト共通ノ事項ハ省キ特ニ本章ニ規定スル權利義務及ヒ之ニ關連スルモノヲ説明セン

問屋ニ特殊ノ權利左ノ如シ

一 自ら賣主買主ト爲ル權

問屋ハ他人ノ爲メニ物品ヲ賣買スル者ナリ取次ヲ爲ス者ナリ中間者トシテ兩側ノ當事者ヲ連結セシムル者ナリ隨テ自ら當事者ト爲ルヘカラス民法ニ於テ代理人ハ其代理スヘキ行爲ニ關シテ自ら相手方ト爲ルヲ得スト云ヘルヨリシテ之ヲ知ルヘシ故ニ商法ノ明文ニ示ササルモ問屋ハ賣主買主ト爲リ得サルハ原則ナリ

然レトモ或場合ニ問屋ヲ相手方トスルモ害ナク却テ取引ノ迅速ヲ助ケ委託

者ニ利益アリトシテ其場合ヲ規定シ問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ら買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得トシタリ

(三一七)此場合ノ賣買代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ定ム此ノ如クスルモ相場ハ時々刻々變更シ取引所ノ附スルモノニテモ寄付中又ハ止ノ相場アルヲ以テ問屋ハ其間ヲ利用シ得ル餘地アリ

自ら當事者ト爲ルヲ問屋ノ權利トシ問屋ハ之ヲ行使シテ賣買ヲ爲シタルトキハ實蹟ニ於テ問屋行爲ヲ履行シタルト等シトシテ報酬ヲ請求スルコトヲ得セシム商法ニハ特ニ報酬ヲ請求スル權利ヲ與フルモ實際ニハ賣買代價ヲ増減シテ報酬ニ相當スル金額ヲ得ルコト多シ

二 供託競賣權

問屋カ或物品ヲ買入レテ委託者ニ送付スルモ委託者カ之カ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニハ問屋ハ其物ヲ供託シ催告後ニ之ヲ競賣スルコトヲ得(三一八)供託競賣ノ權利ト稱シ商人間ノ賣買ニ於テ賣主ノ



有スル權利ニ等シ

三 留置權

問屋ハ問屋行爲ヲ爲シタルニ因リテ生シタル債權ニ付キ委託者ノ爲メニ占有スル物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス(三一九)此留置權ハ代理商ノ有スルモノト同一ナリ

問屋ニ特殊ノ義務左ノ如シ

一 自ラ履行スル義務

問屋ハ委託者ニ對シテ保證的ノ義務ヲ有ス即チ相手方カ其債務ヲ履行セサル場合ニ自ラ履行スル責ニ任ス(三一五)是レ委託者ハ問屋ヲ信シ彼ノ取引スル相手方ナルヲ以テ物品ヲ引渡シ或ハ代價ヲ前拂スルコトアレハナリ故ニ法ハ問屋ヲシテ恰モ相手方ノ資力ヲ保證シタルカ如キ位地ニアラシメ之ヲ「デルクレデレ」ノ行爲ト稱シ其代ハリ資力保證料トシテ多クノ報酬ヲ得セシム此義務ハ推定義務ニシテ問屋ハ別段ノ意思表示ヲ以テ之ヲ免カルコトヲ得ヘク又此責ヲ負ハサル慣習アルトキハ其慣習ニ從フ

二 通知ノ義務

問屋ハ問屋行爲ヲ履行シタルトキ換言スレハ委託セラレタル物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク委託者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス代理商ノ通知ノ義務ニ同シ(三一九)

終リニ賣買代價ノ指定ニ關シテ一言セン

委託者カ物品ノ賣買ヲ委託スルニ當リテ其代價ヲ定ムル方法三アリ(一)ハ正確ニ或代價ヲ定メ其ヨリ高價ニモ又廉價ニモ賣買スルコトヲ得ストル場合ナリ此場合ニハ問屋ハ嚴正ニ其指示ニ從ハサルヘカラス販賣ノ委託ヲ受ケタル際指定價ヨリ高ク賣ルトキハ其一個ノ賣買ニ依リテハ委託者ヲシテ多クノ利益ヲ得セシムルモ爲メニ高價ナリトノ世評ヲ受クルコトアリ又指定價ヨリ廉價ニ販賣シテ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ委託者ヲシテ指定額ヲ得セシムルモ賣崩ノ不利益ヲ生スヘシ故ニ問屋ヲシテ其指示ヲ嚴守セシメ之ニ反スルトキハ其販賣ハ委託者ニ對シテ效ナシトス(二)ハ或代價ヲ指示スルモ必スシモ其代價ニテ賣買スヘシトノ意ニ非スシテ其代金ヲ受取レハ可トスルモノナ



リ此場合ニハ問屋カ指定價ヨリ廉價ニテ販賣スルモ自ラ差額ヲ負擔スルトキハ販賣ハ委託者ニ對シテ效カヲ生ス我商法ハ此場合ヲ通常ト見タリ(三一六三)ハ代價ヲ示スモ必スシモ其代價ヲ得ヘシト云フニ非スシテ一應ノ標準ヲ示スニ止マルモノナリ(四)ハ全ク定メスシテ相當ノ價トスルモノナリ  
販賣ニ關シテ説明シタル所ハ買入ニ關シテモ亦同シ

### 準問屋

準問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスルモノナリ(三二〇)

問屋ハ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ナリ然レトモ買入スルニ非スシテ而モ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲スヲ業トスル者アリテ彼此相類スルヲ以テ之ニ問屋ノ規定ヲ準用ス仲立ニハ準仲立ナキニ問屋ニ準問屋ヲ認メタルハ仲立行爲ト問屋行爲ニ差アレハナリ

準問屋ハ極メテ廣シ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ行爲ヲ爲ス者ヲ總稱シ唯其中ヨリ賣買ヲ爲ス者ヲ除外スルノミ他人ノ爲メニスル行爲ニハ商行爲モ非商

行爲モアレトモ多クハ商行爲ニシテ金錢若クハ船舶ノ貸借又ハ保險等ニ多クノ例ヲ見ル

問屋及ヒ準問屋ヲ合スルトキハ他人ノ爲ニ行爲ヲ爲ス者ノ殆ト全體ヲ包含ス然レトモ法文ノ解釋上物品以外ノモノノ賣買ヲ爲ス者ハ除外セラル何トナレハ不動産及ヒ或種類ノ權利ハ物品ニ非サルヲ以テ物品ヲ賣買スル問屋ノ中ニ入ラス而シテ準問屋ハ賣買以外ノ行爲ヲ爲ス者ナルヲ以テ此中ニモ入ラサレハナリ強ヒテ入レントスルニハ物品ノ中ニハ不動産及ヒ總テノ財産權ヲ含ムトスルカ準問屋ニ關シテ賣買ニ非サル行爲ト云フ、物品ノ賣買ニ非サル行爲ナリト解スルヨリ外ナシ



### 第七章 運送取扱營業

運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ナリ(三二二)

運送取扱ハ運送ノ發達ニ伴ヒテ發達シタルモノナリ初メハ運送人自ラ荷送人ヲ搜出シテ直接ニ運送契約ヲ爲シ荷送人モ亦自ラ運送人ノ營業所ニ至リテ運送ヲ委託シタルナリ次テ通常ノ代理人又ハ代理商ニ依リテ之ヲ爲シ後ニ運送ノ益發達スルニ至リテ運送取扱人ヲ生シタルモノトス事物ノ簡易ナリシ際ニハ委任、寄託、雇傭、請負等ノ規定ヲ以テ解決シタリシモ複雑ナル關係ヲ生スルニ至リ特別ノ規定ヲ設ケ獨逸商法ニ特ニスベヂツールノ章ヲ置キタルヲ我國ニ採用シテ運送取扱人ノ章トシタルナリ

運送取扱ハ其本質ニ於テハ問屋行爲ニ等シク運送取扱人ニハ問屋ニ關スル規定ヲ準用スルヲ以テ準問屋ノ一トシテ可ナリ世人ハ運送取扱人ヲ稱シテ回漕問屋ト云フ

運送取扱人ハ他人ノ爲メニ運送人ニ運送ヲ委託スル者ナリ商法ニハ運送取扱人ハ他人ノ爲メニ取次ヲ爲ス者ト云ハサルモ取次トハ他人ノ爲メニスルヲ意味シ運送ノ取次ヲ換言スルトキハ他人ノ爲メニ運送ヲ委託スルコトト爲ルナリ運送ノ目的物ニハ物品ト旅客トアリテ隨テ物品運送及ヒ旅客運送ヲ生スルモ運送取扱ハ物品運送ニ限リ旅客運送ニ及ハス而シテ別ニ準運送取扱ナルモノナキヲ以テ旅客運送ニ關シテハ當然ニ運送取扱ノ規定ヲ準用スルヲ得又問屋ノ規定ヲ準用スヘキノミ

運送取扱人ハ自己ノ名ヲ以テ取次ヲ爲ス者ニシテ運送人ニ對シテハ自ラ權利ヲ得義務ヲ負フナリ故ニ此間ニハ運送ノ規定ヲ其儘ニ適用ス

#### 運送取扱人ノ權利義務

運送取扱人ノ有スル特殊ノ權利義務ハ專ラ委託者ニ對スルコト問屋ノ特殊ノ權利義務ハ委託者ニ對スルニ等シ又運送取扱人ト委託者ノ關係ニハ委任及ヒ代理ノ規定ヲ準用スルコト、運送取扱人ヲ委任代理人ト見ルコト、委託者ヲシテ直チニ權利義務ヲ得セシムルコト等モ問屋ニ於ケルト等シ



取扱關係ハ取扱人ト委託者トノ關係ニシテ其間ニ生スル權利義務ハ相互ニ請求シ得ルヲ本則トス然レトモ法律ノ特別規定ニ依リテ之ヲ變更スルコトアリ例ハ運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送取扱契約ニ因リテ生シタル委託者ノ權利ヲ取得シ荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送取扱人ニ對シ取扱料及ヒ諸費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ如シ(三三〇)此規定ハ運送營業ノ規定ノ準用ナリ

運送取扱人ニ特殊ノ權利左ノ如シ

一 自ラ運送ヲ爲ス權

運送取扱人ハ運送ノ取次ヲ爲ス者ナリ自ラ運送ヲ爲ス者ニ非ス之ヲ取扱人當然ノ性質トス然レトモ法ハ取扱人ヲシテ自ラ運送ヲ爲スコトヲ得セシメ其場合ニ於テハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有セシム(三二七)此ノ如クスルモ委託者ノ利益ヲ害スルコトナク却テ取扱人委託者ノ雙方ニ便ナリト認メタルナリ但委託者カ之ヲ禁シタルトキハ取扱人ニハ此權利ナシ取扱人カ取扱人及ヒ運送人ノニ資格ヲ兼スルトキハ義務及ヒ責任モ二者ノ合シタルモノ

ニシテ權利モ亦二者ノ合シタルモノナリ隨テ運送賃ノ外取扱メ報酬ヲモ請求スルコトヲ得

間屋ニ在リテハ或物及ヒ或時期ニ限リテ自ラ當事者ト爲ルコトヲ許スニ取扱人ニハ原則トシテ凡テノ場合ニ之ヲ許スハ取扱營業ハ間屋營業ノ如ク進歩分業セサルニ因リ又間屋ハ物價ノ高低ヲ以テ商利ヲ博スル度大ナルモ取扱人カ運送賃ヲ以テ之ヲ博スル度小ナリト認メタルニ由ル

取扱人ハ自ラ運送ヲ爲スコトヲ得トシ實際ニ之ヲ爲スト否トハ各場合ニ定マルナリ而シテ委託者ハ其場合ニ應シテ取扱人ニ對スル權利義務ヲ有スルモノトス然レトモ法律ハ委託者ヲ保護スル爲メ一ノ規定ヲ設ケ取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作りタルトキハ自ラ運送ヲ爲スモノト看做セリ

二 報酬請求權

報酬請求權ハ仲立問屋等ニモ共通ノモノニシテ特ニ茲ニ掲クル要ナキ如キモ運送取扱ニ付テハ報酬額ノ定メ方其請求ノ時期等ニ關シテ特別ノ規定アリ